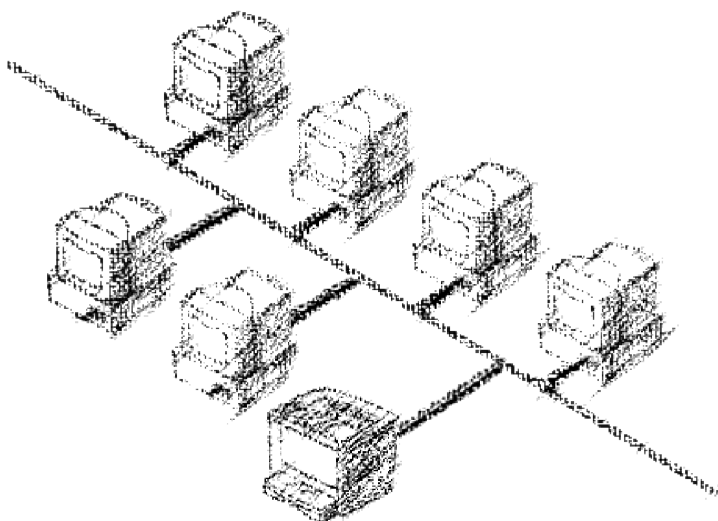
PRIFNW1S
PRIFNW2S/2SAC

マルチプロトコル
Ethernet インターフェイスカード



取扱説明書

EPSON

PRIFNWSML1
4010491
EK2-01

はじめに

このたびは10BASE-T/2対応マルチプロトコルI/FカードPRIFNW1S、100BASE-TX/10BASE-T対応マルチプロトコルI/FカードPRIFNW2S/2SACをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

本I/FカードはNetWare、EtherTalk、Windows95/98、WindowsNT/2000、OS/2に対応したイーサネットカードです。当社プリンタのオプションインターフェイススロットに装着して使用します。

ご使用の前に本書をよくお読みになり、製品の性能を十分に発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。



ご愛用登録カードは必ずご返送ください。ユーザー登録がされていない場合は、製品のサポートを受けられないことがあります。

本製品を安全にお使いいただくために

お買い求めいただきました弊社製品を安全かつ有効にお使いいただくために、製品をご使用の際は、本書ならびに本製品を装着するプリンタの取扱説明書を必ずお読みくださいますようお願いいたします。

PRIFNW2SACをご利用のお客様へ

本製品を安全にお使いいただくため、お使いになるまえに、添付の「本製品を安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

ご注意

(1)　本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2)　本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3)　本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4)　運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5)　本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6)　エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

ESC/PageおよびESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
ノベル、Novell、NetWare、NDSは、米国Novell, Inc.およびノベル株式会社の登録商標です。
NDSは、Novell Directory Servicesの略称です。
Novell Directory Services、Client 32、IPX、IntranetWare、IntranetWare Client、IPX/SPX、NetWare 3、NetWare 4、NetWare 5、NLSP、NLM、SPX、Novell Distributed Print ServicesおよびNDPSは、米国Novell, Inc.の商標です。
Appleの名称、Macintosh、AppleTalk、EtherTalk、漢字Talk、MacOSはAppleComputer、Inc.の登録商標または商標です。
MS-DOS、Microsoft、WindowsおよびWindows NTは米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。
OS/2はIBMの商標です。
This product Includes software developed by the University of California, Berkeley, and Its contributors.
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービス及び技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

PRIFNW1Sについて
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
PRIFNW2S/2SACについて
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

本書のご案内

詳しい目次は次ページにあります。

目次

8 NetWare 印刷

9 OS/2 印刷

10 設定ユーティリティの各機能

11 EpsonNet Direct Print

12 EpsonNet Internet Print

13 Windows2000インターネット印刷

14 付録

マークについて



このマークの部分には注意事項が記載されています。必ずお読みになるようお願いいたします。



このマークの部分には、補足的な説明が記載されています。

表記について

- 本文中にある「I/F カード」は、PRIFNW1S、PRIFNW2S/2SAC を指しています。
- Microsoft®Windows® 95 operating system 日本語版
  Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
  Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
  Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版
  の表記について

  本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、Windows2000、WindowsNT と表記しています。また、Windows95、Windows98、Windows2000、WindowsNT を総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows95/98/NT/2000」のように Windows の表記を省略することがあります。

1 ご使用の前に

この章では、I/F カードおよび同梱のソフトウェアの概要や、I/F カードを使用するための作業の概要について説明します。
I/F カードの装着やソフトウェアのインストールを行う前に、本章をよくお読みください。

付属品の確認

以下のものが揃っているかご確認ください。

全機種共通

- I/F カード
  （ユーティリティソフト：EpsonNet WebAssist 組込済） 1 枚
- PRIFNW1S、PRIFNW2S/2SAC ソフトウェア CD-ROM 1 枚
  内容：
  □ EpsonNet WinAssist □ EpsonNet MacAssist
  □ EpsonNet WebManager □ EpsonNet Direct Print
  □ EpsonNet Internet Print
  □ EPSON プリンタウィンドウ!2
  □ EPSON Print!2
- PRIFNW1S、PRIFNW2S/2SAC 取扱説明書（本書） 1 冊
- EpsonNet WebManager インストールガイド 1 冊
- EPSON プリンタウィンドウ!2 取扱説明書 1 冊
- EPSON Print!2 取扱説明書 1 冊
- お客様ご愛用登録カード 1 枚
- FAX 問い合わせ票 2 枚
- アンケートシート 2 枚
- 保証書 1 枚

PRIFNW1S のみ

- 10BASE-2 用 Y 型コネクタ 1 個

PRIFNW2SAC のみ

- AC アダプタ（AC アダプタ本体、AC ケーブル） 1 個



- **PRIFNW2SAC には、同梱の AC アダプタ（Model:EU-30）以外は使用しないでください。**
- **Ethernet ケーブルは付属していません。PRIFNW1S の場合、カテゴリー 5 のケーブルまたは 10BASE-2 ケーブルを使用してください。PRIFNW2S/2SAC の場合、カテゴリー 5 のシールドケーブルを使用してください。**

I/F カードについて

本 I/F カードの機能は次のとおりです。

- PRIFNW1S は 10BASE-2 用コネクタと 10BASE-T 用コネクタを装備しています。コネクタは自動選択されます。手動での選択はできません。
- PRIFNW2S/2SAC は、10BASE-T/100BASE-TX を自動認識します。
- 各種ネットワーク OS・プロトコルに対応しています。
- IPP（Internet Printing Protocol）に対応しています。
- プリンタ MIB に対応したプリンタへ接続すると、SNMP、プリンタ MIB を使用することができます。
- 下記のプリンタへ I/F カードを装着すると、I/F カードが、プリンタの代わりにプリンタ MIB の応答を行います。この代理応答機能により、ネットワーク上ではこれらのプリンタを SNMP、プリンタ MIB 対応プリンタとして扱うことができます。

  LP-1700/1700S/1800/8200/8300/8300S/8400/8600/9200/9200S/9200SX/9300/9600/8000C
  PM-5000C/9000C/7000C
  MJ-3000C/3000CU/5100C/6000C/8000C/930C
  VP-1850/2200/4200/5200
  EM-900C

ソフトウェアについて

本製品に同梱されているCD-ROMからは、次のソフトウェアがインストールできます。各ソフトウェアの機能は次のとおりです。ソフトウェアの機能をご覧になり、用途にあったソフトウェアをお使いください。

EpsonNet WinAssist

WindowsからI/Fカードを設定するときに使います。
I/FカードのTCP/IP、NetWare、NetBEUI、AppleTalk情報を設定できます。

EpsonNet MacAssist

MacintoshからI/Fカードを設定するときに使います。
I/FカードのTCP/IP、AppleTalk情報を設定できます。

EpsonNet WebAssist

WebブラウザからI/Fカードを設定するときに使います。EpsonNet WinAssistやEpsonNet MacAssistで、I/FカードのIPアドレスを設定してから使います。
I/FカードのNetWare、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI、IPP、SNMPのコミュニティとトラップを設定できます。また、I/Fカードを装着したプリンタの現在の状態が確認できます。

EpsonNet WebManager

Webブラウザから、ネットワーク上のデバイスを管理するときに使います。

EpsonNet Direct Print

WindowsからI/Fカードの装着されたネットワークプリンタに、TCP/IP直接印刷をするときに使います。

EpsonNet Internet Print

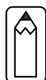
Windows（Windows2000を除く）から、IPPを使って、インターネットに接続されているプリンタに直接印刷をするときに使います。EpsonNet Internet Printでは、直接印刷をするための設定をします。

EPSON プリンタウィンドウ!2

プリンタの状態を監視するときに使います。

EPSON Print!2

Macintosh から EPSON VP シリーズプリンタに印刷をするためのプリンタドライバです。
Macintosh 用プリンタドライバが、EPSON VP シリーズプリンタに同梱されていない場合にのみ使用してください。
プリンタ側に Macintosh 用プリンタドライバが同梱されている場合、そのプリンタドライバを使用してください。

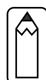


本書では、上記のほかに「Printer Status Page」というソフトウェアについて説明しています。（本書「13 Windows2000 インターネット印刷」）
Printer Status Page は、Windows2000 のネットワークに接続された EPSON 製プリンタの状態を Web ブラウザから確認するソフトウェアで、EPSON 製プリンタの Windows2000 対応プリンタドライバに含まれるソフトウェアです。
本製品には同梱されていませんが、本書では、Printer Status Page の使い方を説明しています。

動作環境

I/F カードの動作環境は次のとおりです。

OS	バージョン	対応プロトコル
Windows95/98	--	・TCP/IP（ユーティリティソフト EpsonNet Direct Print 使用） ・NetBEUI ・IPP
WindowsNT	・3.51 ・4.0	・TCP/IP（LPR）（ユーティリティソフト EpsonNet Direct Print 使用可） ・NetBEUI ・IPP(WindowsNT3.51 を除く)
Windows2000	--	
Macintosh	・漢字Talk7.1/7.5.x ・MacOS 7.6.x/8.x/9.x	・AppleTalk
NetWare	・3.xJ	・バインダリモード
	・4.1xJ ・IntranetWare-J	・NDS モード ・バインダリエミュレーションモード
	・5J	・NDS モード ・キューベースプリントシステム ・NDPS
OS/2 Warp (OS/2Warp Connect、OS/2 Warp Server)	・V3 ・V4	・TCP/IP（Warp 付属の lprportd） ・NetBEUI



- **NetWare5J の NDPS にある[自動ドライバインストール]には対応していません。**
- **WindowsNT は、WindowsNT（Intel 版）にのみ対応しています。**
- **IPP での印刷については、Windows2000 は「13 Windows2000 インターネット印刷」を、他の Windows は「12 EpsonNet Internet Print」を参照してください。**
- **MacOS9 のマルチユーザ環境には対応していません。**

装着できるプリンタ

次のプリンタのオプションインターフェイススロットに装着できます。（2000年2月現在）

PRIFNW1S

- LP-1700/1700S/1800/1900/8200/8300/8300S/8300F/8400/8400F/8400FX/8600/8600F/8600FX/9200/9200S/9200SX/9300/9600/9600S/8000C/8200C
- MJ-3000C/3000CU/5100C/6000C/8000C/930C
- PM-5000C/7000C/9000C
- EM-900C
- VP-1850/2200/4200/5200/6000/6200

PRIFNW2S

- LP-1800/1900/8200/8300/8300S/8300F/8400/8400F/8400FX/8600/8600F/8600FX/9200/9200S/9200SX/9300/9600/9600S/8000C/8200C
- MJ-3000C/3000CU/6000C/8000C
- PM-5000C/7000C/9000C
- EM-900C
- VP-6200

PRIFNW2SAC

- LP-1700/1700S
- MJ-930C/5100C
- VP-1850/2200/4200/5200/6000

作業の進め方

次の手順で、I/F カードの装着からプリンタ設定までを行います。詳しくは、参照ページをご覧ください。

	作業の内容	参照ページ
1	I/F カードをプリンタに取り付ける	**「2 ハードウェアの準備」**



	作業の内容	参照ページ
2	設定ユーティリティをインストールする	**「3 設定ユーティリティのインストール」**



TCP/IP を使って印刷する場合や、EpsonNet WebAssist を使う場合

	作業の内容	参照ページ
3	I/F カードの設定に使う OS へ TCP/IP を組み込んで、I/F カードの IP アドレスを設定する	**「4 TCP/IP の設定」**



4 次の中から印刷に使用する OS を選び、I/F カードを設定する

OS	印刷方法	参照ページ
Windows95/98	EPSON TCP/IP 印刷 NetBEUI 印刷	**「5 Windows95/98 印刷」**
	IPP 印刷	**「12 EpsonNet Internet Print」**
WindowsNT/2000	TCP/IP(LPR)印刷 NetBEUI 印刷	**「6 WindowsNT/2000 印刷」**
	IPP 印刷	**「12 EpsonNet Internet Print」**
	インターネット印刷(Windows2000 のみ)	**「13 Windows2000 インターネット印刷」**
Macintosh	AppleTalk 印刷	**「7 AppleTalk 印刷」**
NetWare	バインダリプリントサーバ印刷 NDS プリントサーバ印刷 リモートプリンタ印刷 NDPS 印刷	**「8 NetWare 印刷」**
OS/2	TCP/IP(lprportd)印刷 NetBEUI 印刷	**「9 OS/2 印刷」**

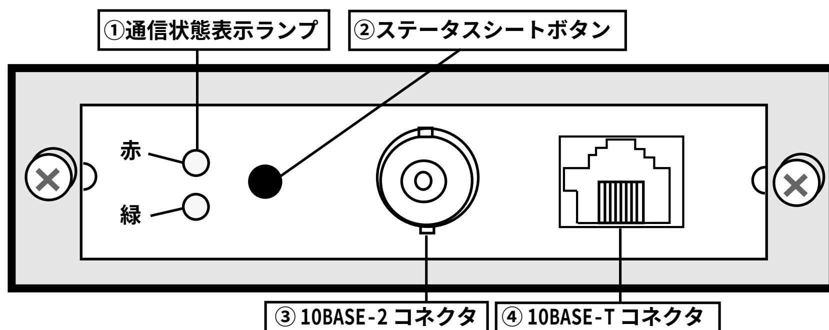
2 ハードウェアの準備

この章ではI/Fカードの各部の名称と、I/Fカードのプリンタへの取り付け方法を説明します。

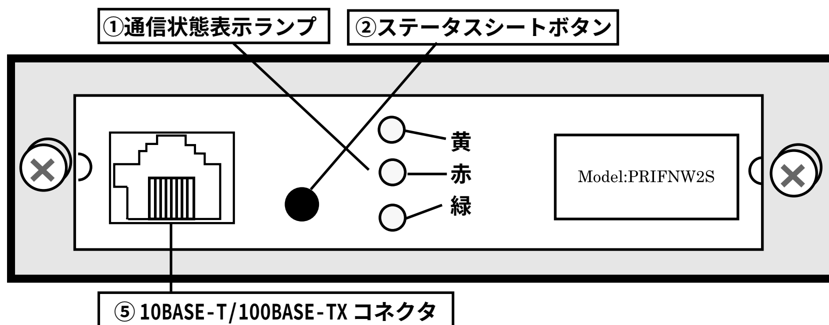
I/Fカードの取り付けは、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルやI/Fケーブルを外してから行ってください。

各部の名称と機能

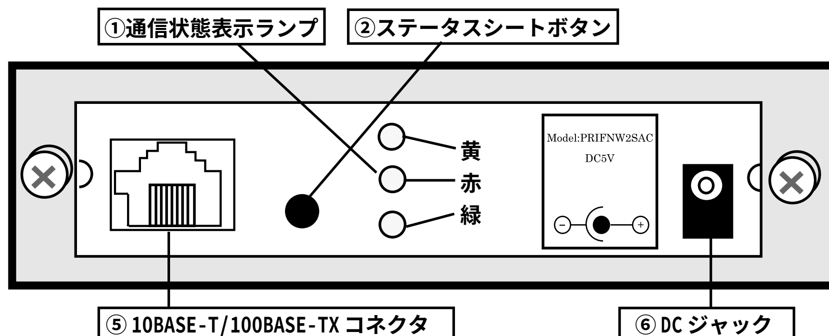
PRIFNW1S



PRIFNW2S



PRIFNW2SAC



①通信状態表示ランプ

I/F カードの状態を表示します。

赤	緑	状態
点滅	点滅	プリンタの初期化中（同時に点滅）
消灯	点灯	正常動作中
消灯	点滅 （ゆっくり）	印刷中
消灯	点滅 （速い）	データ送受信中
点灯	消灯	エラー

PRIFNW2S/2SAC にある黄色のランプは、コネクタの接続状況を表示するものです。
100BASE-TX/10BASE-T の切り替えは、I/F カードが自動的に行います。

黄	状態
点灯	100BASE-TX で接続されている場合
消灯	10BASE-T で接続されている場合

②ステータスシートボタン

このボタンを 3 秒以上押すと、プリンタがステータスシートを 2 ページ印刷します。ステータスシートには I/F カードの現在の設定状況が印刷されます。

また、ステータスシートボタンを押しながらプリンタの電源を入れる（ステータスシートボタンは 5 秒以上押し続ける）と、I/F カードが初期化されて工場出荷時の設定に戻ります。I/F カードを取り付けたときは必ず I/F カードの初期化を行ってください。

次の場合、ステータスシートは印刷できません。

- プリンタが印刷不可状態のとき
- プリンタが印刷中のとき



ボタンを押してもステータスシートが印刷されない場合は、プリンタが印刷可能状態になっているかを確認してください。印刷可能状態にもかかわらず印刷されない場合は、一度プリンタの電源を切ってください。通信状態表示ランプが消えてから再び電源を入れ、ステータスシートボタンを押してください。

③ 10BASE-2 コネクタ(PRIFNW1S)

付属のY型コネクタに10BASE-2ケーブルを接続します。

④ 10BASE-T コネクタ(PRIFNW1S)

10BASE-Tケーブル（ツイストペア）を接続します。

⑤ 10BASE-T/100BASE-TX コネクタ(PRIFNW2S/2SAC)

STPのカテゴリー5ケーブルを接続します。
STPカテゴリー5ケーブルは、10BASE-T、100BASE-TXのどちらにも使えます。

⑥ DC ジャック(PRIFNW2SAC)

付属のACアダプタを接続します。

ハードウェアの準備

I/F カードの、プリンタへの装着方法を説明します。

1

プリンタへの取り付け

I/F カードの取り付けの手順は次のとおりです。I/F カードの取り付け方法はプリンタによって異なりますので、詳細はプリンタの取扱説明書をご覧ください。



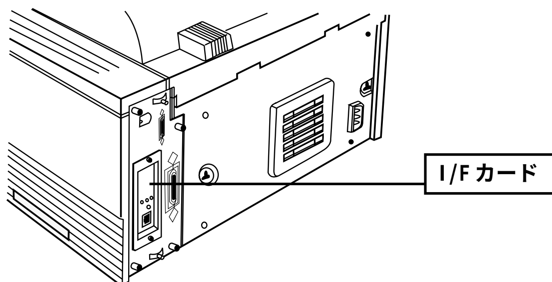
本 I/F カードの取り付け、取り外しをするときは、プリンタの電源を切り、プラグを AC コンセントから抜いてください。AC アダプタがコンセントに接続されたままの操作は、故障の原因になります。

①プリンタの電源を切り、プラグを AC コンセントから抜きます。

②プリンタのオプションインターフェイスカバーを外します。

③ I/F カードをプリンタのオプションインターフェイススロットに装着し、ネジで固定します。

④ PRIFNW2SAC の場合は、AC アダプタのプラグを I/F カードの DC ジャックに差し込んでから、コンセントに接続します。



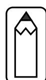
2

I/F カードの初期化

ステータスシートボタンを押しながらプリンタの電源をオンにします。ステータスシートボタンは 5 秒以上押し続けてください。

3　ネットワークケーブルの接続

ネットワークケーブルを接続します。



- **本I/Fカードの IPアドレスは、初期値にプライベートアドレス[192.168.192.168]が設定されています。お使いのネットワーク環境に、これと重複するIPアドレスがないことを確認してください。重複するIPアドレスがある場合は、ネットワーク管理者に確認の上、重複している機器の電源をオフにして、I/FカードのIPアドレスを変更してください。設定の方法は、「4 TCP/IPの設定」をご覧ください。**
- **本製品は、クロスケーブルによるコンピュータとの直接接続には対応していません。10BASE-Tや100BASE-TXの場合、必ずHUBを介して接続してください。**

4　プリンタの設定

プリンタの取扱説明書を参照して、インターフェイスの設定が自動選択に設定されていることを確認します。自動選択以外に設定されている場合は、自動選択に設定してください。（PM-5000Cは、インターフェイス自動選択のみのため、設定の変更は不要です。）

5　ステータスシートの印刷

ステータスシートボタンを3秒以上押し続けます。
ステータスシートが印刷できたらプリンタへの取り付けは完了です。



- **プリンタの電源を切って再び電源を入れる場合や、I/Fカードをプリンタから取り外す場合は、必ず通信状態表示ランプが消えてから処理を行ってください。通信状態表示ランプが消える前に処理を行うと、I/Fカードが正しく機能しないことがあります。また、I/Fカードの故障の原因となります。**
- **I/Fカードのスイッチは、絶対に設定を変更しないでください。正しく動作しなくなる場合があります。**



I/Fカードを取り付けた後、通信動作（イニシャライズ）を開始するまでに30秒以上かかることがあります。

ステータスシート

本製品のステータスシートボタンを押すと、I/F カードの設定が記載されたステータスシートが 2 ページ印刷されます。
ステータスシートには、I/F カードの現在の設定や、MAC アドレスなどの重要な情報が載っています。次ページの印刷例をご覧ください。

ステータスシートの印刷例

```
+------------------------------------------------------------------------------+
|  EPSON  Type B Ethernet I/F Card Status Print(1/2)                            |
+------------------------------------------------------------------------------+
<General Information>
Card Type                      EPSON  10Base-T/100Base-TX Interface Card
Serial Number                  000048xxxxxx
MAC Address                    00:00:48:xx:xx:xx
Hardware                       Ver.
Software                       Ver.

<NetWare>                      Enable
Network Address                XXXXXXXX
Mode                           Standby
Primary Frame Type             Auto
Print Server Name              xx-xxxx-xxxxxx
Polling Interval               5
Primary File Server Name       (NONE)
NDS Tree                       (NONE)
NDS Context                    (NONE)
Primary Print Server Name      (NONE)
Printer Port Number            0

<TCP/IP>
IP Address                     192.168.192.168
Subnet Mask                    255.255.255.255
Default Gateway                255.255.255.255
RARP                           OFF
BOOTP                          OFF
DHCP                           OFF
PING                           ON

<AppleTalk>                    Enable
Printer Name                   xx-xxxx-xxxxxx
Zone Name                      *
Network Number Set             Auto
Network Number                 65534
Node ID                        128
Entity Type #1
.
Entity Type #15

<NetBEUI>                      Enable
NetBIOS Name                   EPxxxxxx
Workgroup Name                 WORKGROUP
Device Name                    EPSON
```

```
+------------------------------------------------------------------------+
|   EPSON  Type B Ethernet I/F Card Status Print(2/2)                     |
+------------------------------------------------------------------------+
<IPP>
IPP URL                      http://xxx.xxx.xxx.xxx:631/EPSON_IPP_Printer
Printer Name                 EPSON_IPP_Printer
Location
<SNMP>
Read Community               public
IP Trap 1                    Disable
IP Trap Address 1            0.0.0.0
IP Trap Community 1
IP Trap 2                    Disable
IP Trap Address 2            0.0.0.0
IP Trap Community 2
IPX Trap 1                   Disable
IPX Trap Address 1           00000000:000000000000
IPX Trap Community 1
IPX Trap 2                   Disable
IPX Trap Address 2           00000000:000000000000
IPX Trap Community 2
```

3 設定ユーティリティのインストール

I/F カードをプリンタに取り付けたら、次に設定ユーティリティ EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist をインストールします。
ユーティリティの機能については、第 4 章以降をご覧ください。
なお、このユーティリティは OS/2 では使用できません。

動作環境

I/F カードの設定をするユーティリティ EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist の動作環境は次のとおりです。
EpsonNet WebAssist は、インストールの必要はありません。I/F カードに IP アドレスを設定することで使用できます。

インストールの条件

EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist をインストールするコンピュータの、ハードディスクの空き容量が 4MB 以上であることを確認してください。

動作環境

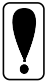
EpsonNet WinAssist		
対応機種	対応 OS	特長
・右の OS が動作する環境 ・IBM PC/AT 互換機、PC9801 シリーズ	・Windows95/98 ・WindowsNT4.0/3.51 Server&Workstation ・Windows2000	I/F カードの TCP/IP、NetWare 、 NetBEUI 、AppleTalk 情報を設定します。
EpsonNet MacAssist		
対応機種	対応 OS	特長
・右の OS が動作する環境 ・Apple 社 Macintosh シリーズ	・漢字 Talk 7.1/7.5.x ・MacOS 7.6.x/8.x/9.x	I/F カードの TCP/IP、AppleTalk 情報を設定します。
EpsonNet WebAssist		
対応機種	対応ブラウザ	特長
・右のブラウザが動作する環境	・Microsoft Internet Explorer4.0 以上 ・Netscape Navigator 3.02 以上 ・Netscape Communicator4.0 以上	I/F カードの NetWare、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI、IPP、SNMP 情報を設定します。



- NetWare サーバがない環境や、NetWare サーバにログインしていない環境では、EpsonNet WinAssist による NetWare の設定はできません。
- EpsonNet WebAssist を使用するには、お使いのコンピュータにあらかじめ TCP/IP が組み込まれている必要があります。TCP/IP の確認は「TCP/IP の組み込み」（26 ページ）を参照してください。
- I/F カードを NetWare で使用しない場合は、EpsonNet WebAssist の NetWare 設定画面にある[NetWare]欄で[Disable]を選択する必要があります。NetWare を使用しない場合に[Enable]を設定しておくと、ダイヤルアップルータを使用したときに、余分な回線使用料のかかるおそれがあります。
  初期値は[Enable]です。設定方法は、「EpsonNet WebAssist」（144 ページ）を参照してください。
- EpsonNet WebAssist で、インターネットエクスプローラ Version4.0 より前のバージョンを使う場合は、動作に次の制限があります。
  ○ EpsonNet WebAssist の[オプション]メニューにある[ホームページの更新]が使えません。
  ○ NT3.51 用では、画面のページ送りが正常にできないことがあります。
- 本製品より前にリリースされている PRIFNW1/2/2AC に付属のユーティリティ（EPSON Net!2）から、本製品を探索、設定することはできません。

設定ユーティリティ	PRIFNW1S/2S/2SAC	PRIFNW1/2/2AC
EpsonNet WinAssist EpsonNet MacAssist EpsonNet WebAssist	○	○
EPSON Net!2 for Windows EPSON Net!2 for Macintosh EPSON Net!2 for Intranet	×	○

EpsonNet WinAssist のインストール



- EpsonNet WinAssist のインストール後に、OS でプロトコルやサービスを追加または削除すると、EpsonNet WinAssist が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、EpsonNet WinAssist を削除してから、インストールし直してください。
- TCP/IP 印刷を行う場合や、EpsonNet WebAssist を使う場合は、「4 TCP/IP の設定」を参照して TCP/IP の組み込みと設定を行ってから、EpsonNet WinAssist をインストールしてください。
- EpsonNet WinAssist の削除方法は、「EpsonNet WinAssist の削除」（137 ページ）を参照してください。
- 本製品を設定するためには、必ず本製品に同梱の EpsonNet WinAssist をインストールしてください。

1 **インストール画面の起動**

同梱のソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。

2 **インストール**

① CD-ROM をセットすると、自動的に[EPSON インストールプログラム]が起動します。[EpsonNet WinAssist のインストール]を選択して、画面右の 次へ をクリックします。

② この後は、画面の指示に従ってインストールします。



FD 版の EpsonNet WinAssist セットアップディスクからインストールする場合は、FD をドライブにセットし、Windows[スタート]メニューの[ファイル名を指定して実行]画面を開き、次の実行コマンドを入力して OK をクリックします。このとき、EpsonNet WinAssist のインストール画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。

例） A:\SETUP（A ドライブに FD をセットした場合）



- **WindowsNT3.51をご利用の場合は､[プログラムマネージャー]を開き[アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックして以下のコマンドを半角で入力し、OK ボタンをクリックします。**
  例）　D:\SETUP（Dドライブに CD-ROM をセットした場合）
- **Windows95/98/NT4.0/2000 をご利用の場合で[EPSON インストールプログラム]が自動的に起動しないときには、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。**
- **WindowsNT3.51 で FD 版の EpsonNet WinAssist セットアップディスクからインストールする場合は、FD をドライブにセットし、プログラムマネージャーの[アイコン]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択し、コマンドラインに次の実行コマンドを入力して OK をクリックします。**
  このとき、EpsonNet WinAssist のインストール画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールしてください。
  例）　A:\SETUP（Aドライブに FD をセットした場合）

これでインストールは終了です。次のケースに該当する方は、続いて EpsonNet WinAssist を使って、I/F カードに IP アドレスを設定します。**「4 TCP/IP の設定」**をご覧ください。

- Windows で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
- WindowsNT/2000 で TCP/IP（LPR Port）印刷をする
- NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
- OS/2 Warp で TCP/IP（lprportd）印刷をする
- EpsonNet WebAssist（I/F カードに組み込まれているユーティリティ）を使用する
- EpsonNet Internet Print で、インターネット直接印刷をする
- Windows2000 で、Printer Status Page を使用する

EpsonNet MacAssistのインストール

本製品を設定するためには、必ず本製品に同梱のEpsonNet MacAssistをインストールしてください。

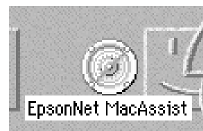
1 インストール画面の起動

同梱のソフトウェアCD-ROM、またはFD版のEpsonNet MacAssistセットアップディスクをドライブにセットします。

2 インストール

① CD-ROMの場合、ディスクのウィンドウが開きますので、[EpsonNet MacAssist]フォルダをダブルクリックして開きます。
ディスクのウィンドウが開かない場合は、ディスクのアイコンをダブルクリックして開いてください。

② EpsonNet MacAssistのアイコンをドラッグし、ハードディスクにコピーします。



これでインストールは終了です。EpsonNet WebAssist（I/Fカードに組み込まれているユーティリティ）を使用するする場合は、続いてEpsonNet MacAssistを使って、I/FカードにIPアドレスを設定します。**「4 TCP/IPの設定」**をご覧ください。

4 TCP/IP の設定

I/F カードを装着したプリンタで TCP/IP 印刷や IPP 印刷をする場合や、I/F カードの設定に EpsonNet WebAssist を使う場合は、この章をご覧になり I/F カードに IP アドレスを設定してください。IP アドレスの設定は EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist または ARP/PING コマンドで行います。

次のケースに該当する方は、本章にある設定を行ってください。

- Windows で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
- WindowsNT/2000 で TCP/IP（LPR Port）印刷をする
- NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
- OS/2 Warp で TCP/IP（lprportd）印刷をする
- EpsonNet WebAssist（I/F カードに組み込まれているユーティリティ）を使用する
- EpsonNet Internet Print で、インターネット直接印刷をする
- Windows2000 で、Printer Status Page を使用する

TCP/IP の組み込み

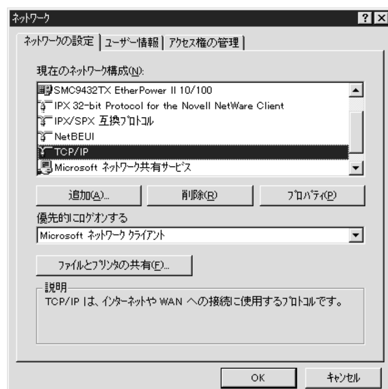
I/F カードに IP アドレスを設定するためには、まずお使いのコンピュータに TCP/IP を組み込みます。

Windows95/98

1

TCP/IP の確認

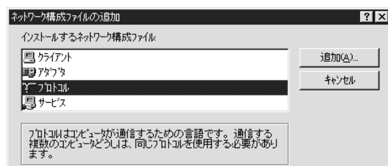
[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[ネットワークの設定]画面の[現在のネットワーク構成]に[TCP/IP]があることを確認します。



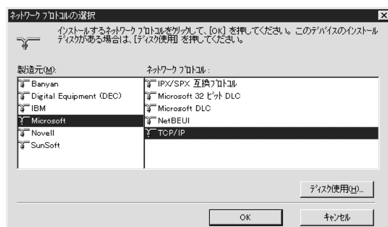
2

TCP/IP の追加

①[TCP/IP]が組み込まれていない場合は、手順 1 の画面で 追加 ボタンをクリックして[プロトコル]を選択し、追加 ボタンをクリックします。



②[ネットワークプロトコルの選択]画面が表示されます。製造元：Microsoft、ネットワークプロトコル：TCP/IP をクリックして追加します。



③追加した TCP/IP をダブルクリックして[TCP/IP のプロパティ]を起動し、IP アドレスなどの必要事項を設定します。設定する IP アドレスについては**「困ったときは」（205 ページ）**を参照してください。

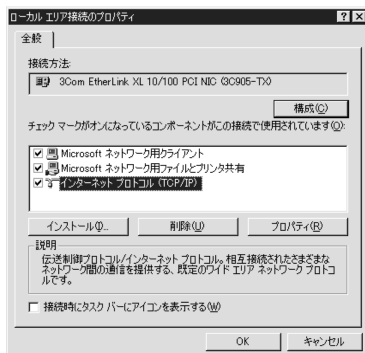


IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

Windows2000

1 TCP/IP の確認

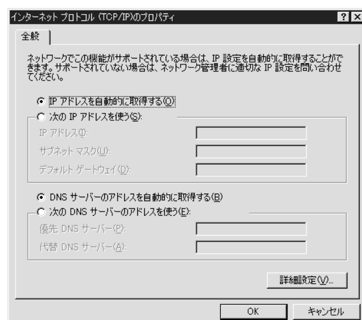
[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをダブルクリックし、[ローカルエリア接続]をダブルクリックします。
[ローカルエリア接続状態]画面の プロパティ をクリックして、[インターネットプロトコル（TCP/IP）]が組み込まれていることを確認します。



2 TCP/IP の追加

①[インターネットプロトコル（TCP/IP）]が組み込まれていない場合は、手順1の画面で インストール ボタンをクリックして、[ネットワークコンポーネントの種類の選択]画面から[プロトコル]を選択し、[インターネットプロトコル（TCP/IP）]を追加します。画面の指示に従ってください。

②インストールが終了したら、[ローカルエリア接続のプロパティ]画面で、[インターネットプロトコル（TCP/IP）]をダブルクリックして、IP アドレスなどの必要事項を設定します。設定する IP アドレスについては**「困ったときは」（205 ページ）**を参照してください。





IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

WindowsNT4.0

1

TCP/IP の確認

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[プロトコル]画面で[TCP/IP プロトコル]が組み込まれていることを確認します。

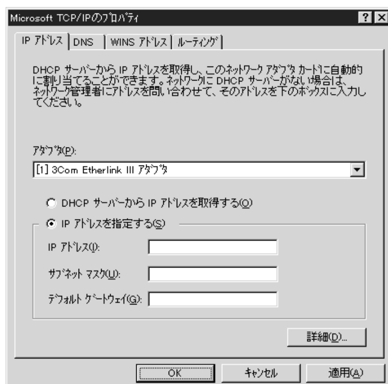


2

TCP/IP の追加

①[TCP/IP プロトコル]が組み込まれていない場合は、手順1の画面で 追加 ボタンをクリックして、[TCP/IP プロトコル]を追加します。画面の指示に従ってください。
また、TCP/IP 印刷を行えるようにする場合は、手順1の画面で[サービス]をクリックして、表示される画面で 追加 ボタンをクリックして[Microsoft TCP/IP 印刷]を追加します。画面の指示に従ってください。

②インストールが終了してからネットワーク画面で 閉じる ボタンをクリックすると、[Microsoft TCP/IP のプロパティ]画面が開いて IP アドレスを設定できます。
設定する IP アドレスについては**「困ったときは」(205 ページ)**を参照してください。





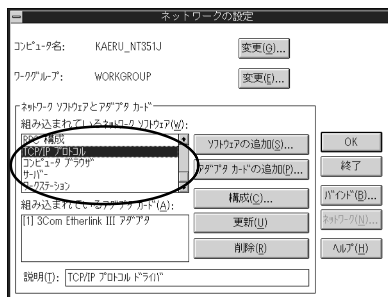
IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

③インストールが完了したら IP アドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

WindowsNT3.51

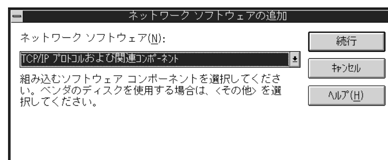
1 **TCP/IP の確認**

[メイン]グループの[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[TCP/IP プロトコル]が組み込まれていることを確認します。

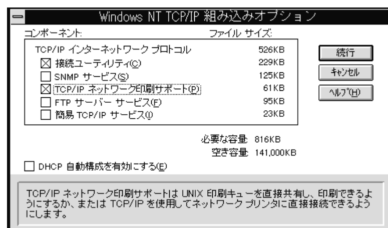


2 **TCP/IP の追加**

①TCP/IP が組み込まれていない場合は、手順１の画面で ソフトウェアの追加 ボタンをクリックして、[TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント]を選択します。



②[Windows NT TCP/IP 組み込みオプション]画面が表示されるので、[接続ユーティリティ]と[TCP/IP ネットワーク印刷サポート]をチェックします。この後は画面の指示に従ってください。



③インストールが終了して、[ネットワークの設定]画面で OK ボタンをクリックすると、[TCP/IP の構成]画面が開き IP アドレスなどの必要事項を設定できます。設定する IP アドレスについては**「困ったときは」（205 ページ）**を参照してください。



IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

④インストールが完了したら IP アドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

Macintosh（Open Transport 使用）

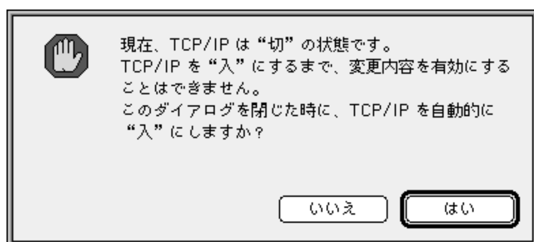
EpsonNet WebAssist を使用する場合、Macintosh にも IP アドレスを設定する必要があります。

1 **AppleTalk の経由先確認**

コントロールパネルで[AppleTalk]アイコンをダブルクリックし、経由先が[Ethernet]に設定されていることを確認します。

2 **アドレスの設定**

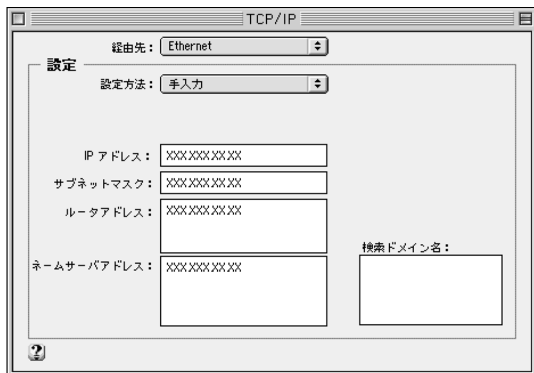
①コントロールパネルの[TCP/IP]をダブルクリックします。このとき次の画面が表示されたら、はい ボタンをクリックしてください。



② IP アドレスなどの必要事項を設定します。
設定する IP アドレスについては、**「困ったときは」（205 ページ）**を参照してください。



IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。



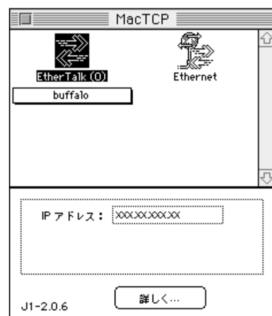
Macintosh（旧ネットワークソフト使用）

1 Ethernet の確認

コントロールパネルの[ネットワーク]を起動して、[EtherTalk]を選択します。

2 IP アドレスの確認

コントロールパネルで[MacTCP]アイコンをダブルクリックし、IP アドレスが設定されていることを確認します。

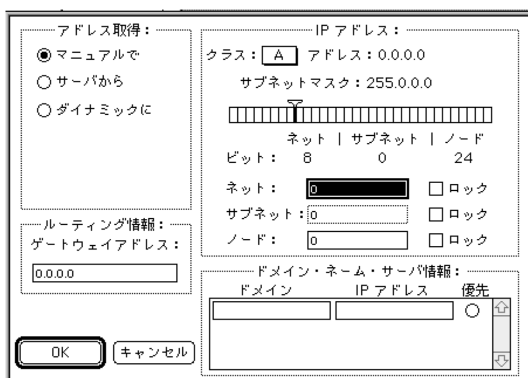


3 アドレスの設定

IPアドレスが設定されていない場合は、詳しく... ボタンをクリックして次の画面で必要事項を設定してから、手順2の画面で IP アドレスを設定してください。設定する IP アドレスについては、**「困ったときは」（205 ページ）**を参照してください。



IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。



TCP/IPの設定

IP アドレスの設定・変更

コンピュータに TCP/IP を組み込んだら、次に I/F カードに IP アドレスを設定します。



- **本 I/F カードの IP アドレスは、初期値に[192.168.192.168]というプライベートアドレスが設定されています。**
  使用環境によっては、IP アドレスがこの値と重複する場合があります。その場合は、重複している機器の電源をオフにした状態で、I/F カードの IP アドレスを変更してください。
  I/F カードの IP アドレスを変更するときは、必ずネットワーク管理者に確認してください。
- **OS/2 では EpsonNet WinAssist が使えません。OS/2 で IP アドレスを設定する場合は、ARP/PING コマンド（36 ページ）を使用してください。**

EpsonNet WinAssist/MacAssist から

ここでは、Windows95 の画面を例に説明します。

1 **プロトコルの確認**

Windows95/98/NT/2000 をお使いの場合は、TCP/IP が組み込まれていることを確認します。
Macintosh をお使いの場合は、AppleTalk が組み込まれていることを確認します。

2 **プリンタの起動**

I/F カードを装着したプリンタの電源をオンにします。

3 **EpsonNet WinAssist/MacAssist の起動**

① Windows95/98/NT4.0/2000 は、[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。
WindowsNT3.51 は、[EpsonNet WinAssist（共通）]グループの[EpsonNet WinAssist]アイコンをダブルクリックして起動します。
Macintosh は、[EpsonNet MacAssist]のアイコンをダブルクリックして起動します。

②リスト画面で、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。





- **設定するI/Fカードは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ステータスシートおよびI/Fカード上のシールで確認できます。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション](127、128ページ)で設定すると、表示されます。**

4 TCP/IPの設定

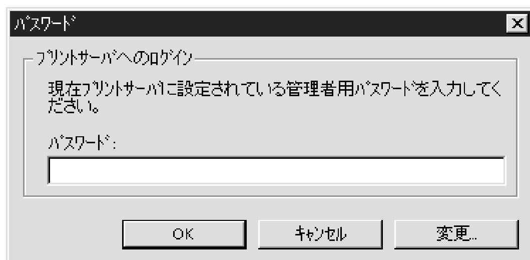
[TCP/IP]タブをクリックして、各項目を設定します。



設定項目	設定内容
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を、自動/DHCP/BOOTP/RARP/手動から選択します。[自動]を選択すると、DHCP/BOOTP/RARP すべてが有効になります。BOOTP/RARP/手動を選択したら、下の[IP アドレス]でアドレスを設定します。 • **DHCP/BOOTP/RARP を使用するにはそれぞれのプロトコル用サーバが必要です。対応サーバのない環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。** • DHCP で IP アドレスを取得する場合、プリンタの電源を入れるたびにプリンタポートの設定を変更する必要があります。TCP/IP 印刷をする場合は、[手動]を選択して IP アドレスを設定することをお薦めします。
PING による設定	この項目は、[IP アドレスの取得方法]が[手動]の場合に有効になります。ARP/PING コマンドは IP アドレスを設定するコマンドです。この項目を有効にすると、ARP/PING コマンドでの IP アドレスの設定が可能になります。 EpsonNet WinAssist から IP アドレスを設定する場合は、ARP/PING コマンドから IP アドレスが変更されないよう、本項目のチェックを外してください。 EpsonNet WebManager を使う場合は、本項目のチェックを外してください。 EpsonNet MacAssist には、この機能はありません。
IP アドレス	I/F カードの IP アドレスを入力します。 **ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。** 設定するアドレスは、**「困ったときは」(205 ページ)**を参照してください。 初期値は[192.168.192.168]です。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は[255.255.255.0]です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は[255.255.255.255]です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

5 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（135、142ページ）**を参照してください。工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら更新は完了です。
このメッセージが表示されるまではI/Fカードに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

これで、I/FカードへのIPアドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- Windows95/98印刷　**「5 Windows95/98印刷」**
- WindowsNT/2000印刷　**「6 WindowsNT/2000印刷」**
- AppleTalk印刷　**「7 AppleTalk印刷」**
- NetWare印刷　**「8 NetWare印刷」**
- OS/2印刷　**「9 OS/2印刷」**
- インターネット直接印刷　**「12 EpsonNet Internet Print」「13Windows2000インターネット印刷」**

ARP/PINGコマンドから

OS/2をお使いの場合はEpsonNet WinAssistが使用できませんので、ARP/PINGコマンドでI/FカードにIPアドレスを設定します。
このコマンドは、Windows95/98/NT/2000にTCP/IPが正常に組み込まれ、設定されている場合にも使用できます。
この方法は、I/Fカードと同じセグメント内のホストでのみ使用できます。



EpsonNet WinAssist/WebAssistをお使いの場合は、次の操作の前に、EpsonNet WinAssist/WebAssistのTCP/IP設定画面で、[PINGによる設定]（33ページまたは151ページ）にチェックが付いている（または[ON]になっている）ことを確認してください。チェックがない場合はARP/PINGコマンドからのIPアドレス設定ができません。

ここでは、I/FカードのIPアドレスを192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合の設定例を説明します。

1 ゲートウェイアドレスの設定

「TCP/IPの組み込み」（26ページ）の説明を参照して、ARP/PINGコマンドからの設定に使うコンピュータに、ゲートウェイアドレスを設定します。

・ゲートウェイになるサーバやルータがある場合、サーバやルータのアドレスを入力します。

・ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータのIPアドレスをゲートウェイアドレスに入力します。

2 プリンタとMS-DOSプロンプトの起動

I/Fカードを装着したプリンタの電源をオンにし、コンピュータで[MS-DOSプロンプト]を起動します。

3 最寄りのコンピュータへのPINGコマンド実行

最寄りの動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあればそれらに対してPINGコマンドを実行します。

書式）　ping_最寄りのコンピュータなどのIPアドレス（_は半角スペース）

例）　IPアドレス192.168.100.101のコンピュータがある場合
C:\>ping_192.168.100.101

PINGコマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます(timeなどの値は変動します)。

4 arp コマンド実行

arp コマンドを実行して、I/F カードに設定したい IP アドレスを、I/F カードの MAC アドレスと関連付けます。



- **IP アドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。**
- **MAC アドレスは、I/F カードのステータスシートおよび I/F カード上のシールで確認できます。**

書式）　arp_-s_I/F カードに設定したい IP アドレス_I/F カードの MAC アドレス（_ は半角スペース）

例）　C:\>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

5 I/F カードへの ping コマンド実行

ping コマンドを実行して、I/F カードの IP アドレスを設定します。

書式）　ping_ 手順 4 で I/F カードに設定した IP アドレス（_ は半角スペース）

例）　C:\>ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。
ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。



ping コマンドでは、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイは変更できません。これらを変更する場合は、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist を使用してください。

6 ステータスシートの印刷

I/F カードのステータスシートに、I/F カードに設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

これで、I/F カードへの IP アドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

・	Windows95/98 印刷	**「5 Windows95/98 印刷」**
・	WindowsNT/2000 印刷	**「6 WindowsNT/2000 印刷」**
・	AppleTalk 印刷	**「7 AppleTalk 印刷」**
・	NetWare 印刷	**「8 NetWare 印刷」**
・	OS/2 印刷	**「9 OS/2 印刷」**
・	インターネット直接印刷	**「12 EpsonNet Internet Print」** **「13Windows2000 インターネット印刷」**

5 Windows95/98 印刷

この章では、I/F カードを装着したプリンタを、Windows95/98 で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP（LPR）印刷
- Microsoft Windows Network(NetBEUI)
  プリンタ共有による印刷に対応します。
- IPP 印刷（**「12 EpsonNet Internet Print」**参照）

TCP/IP 印刷

Windows95/98 は TCP/IP での LPR 印刷システムを持たないため、標準での TCP/IP 印刷はできませんが、本製品付属のユーティリティ、EpsonNet Direct Print を使ってエプソン製プリンタへの TCP/IP（LPR）直接印刷ができます。
「11 EpsonNet Direct Print」を参照してください。

NetBEUI 印刷

クライアントとプロトコルの組み込み

お使いのコンピュータに、NetBEUI での印刷に必要なプロトコルをインストールします。

1　Microsoft ネットワーククライアントの組み込み

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定]画面で 追加 ボタンをクリックします。
[現在のネットワーク構成]に[Microsoft ネットワーククライアント]がある方は追加不要です。

②[クライアント]を選択し、[Microsoft ネットワーククライアント]を追加します。



2　NetBEUI プロトコルの組み込み

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定]画面で 追加 ボタンをクリックします。[現在のネットワーク構成]に[NetBEUI]がある方は追加不要です。

②[プロトコル]を選択し、[NetBEUI]を追加します。



NetBEUIの設定

I/FカードのNetBEUI設定の初期値は次のとおりです。初期値のままで使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssistまたはEpsonNet WebAssistをお使いください。**「10 設定ユーティリティの各機能」**を参照してください。

・ NetBIOS名　:EPxxxxxx
（xxxxxxはI/FカードのMACアドレスの下6桁）
・ ワークグループ名　:Workgroup
・ デバイス名　:EPSON

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、I/F カードを装着したプリンタの設定をします。

1

[プリンタの追加]起動

①[マイコンピュータ]の[プリンタ]ウインドウから［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

②右の画面で[ネットワークプリンタ]を選択します。



2

プリンタの選択

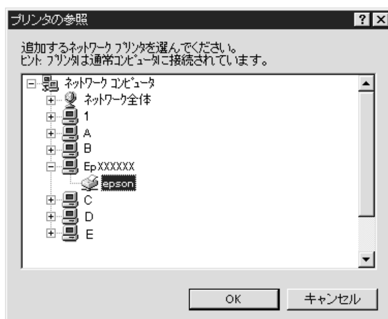
① 参照 ボタンをクリックします。



②表示されるリストから設定するプリンタを選択して、OK ボタンをクリックします。

③参照できない場合は①の画面に戻って、[ネットワークパスまたはキューの名前]欄に次のように入力します。

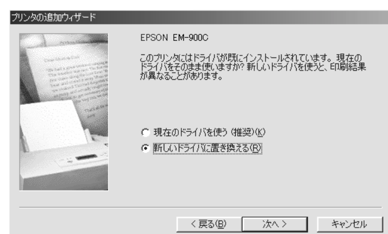
\\(I/F カードの NetBIOS 名)\(I/F カードのデバイス名)





右の画面が表示された場合は、必ず[新しいドライバに置き換える]を選択してください。

この後は画面の指示に従って設定してください。



6 WindowsNT/2000 印刷

この章では、I/F カードを装着したプリンタを、WindowsNT/2000 で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

- WindowsNT3.51、NT4.0、Windows2000
- LPR Port (TCP/IP)
- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP 印刷（LPR 印刷）
（**「11 EpsonNet Direct Print」**参照）
- Microsoft Windows Network（NetBEUI）
プリンタ共有による印刷に対応します。
- IPP 印刷（WindowsNT4.0 は**「12 EpsonNet Internet Print」**を Windows2000 は**「13 Windows2000 インターネット印刷」**を参照）

TCP/IP 印刷

WindowsNT/2000 標準の、TCP/IP の LPR Port 印刷ができます。下記のポートで接続してください。
Windows2000 では、インターネット印刷もできます。下記の手順に従って設定してください。
本製品付属のユーティリティ、EpsonNet Direct Print を使っての、EPSON 製プリンタへの TCP/IP（LPR）直接印刷もできます。**「11 EpsonNet Direct Print」**を参照してください。

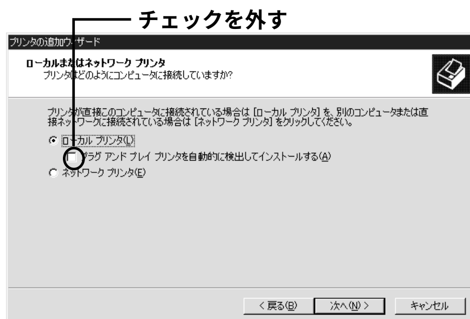
Standard TCP/IP Port での接続（Windows2000）

1　プリンタの起動

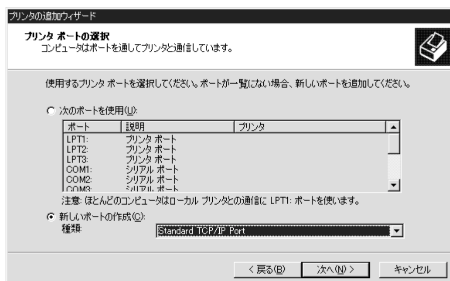
I/F カードを装着したプリンタの電源をオンにします。

2　プリンタを Standard TCP/IP Port で接続

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[プリンタ]ウィンドウで[プリンタの追加]をダブルクリックします。右の画面で[ローカルプリンタ]を選択し、次へ ボタンをクリックします。インターネット印刷のプリンタを設定する場合は、[ネットワークプリンタ]を選択し、手順 3 へ進みます。

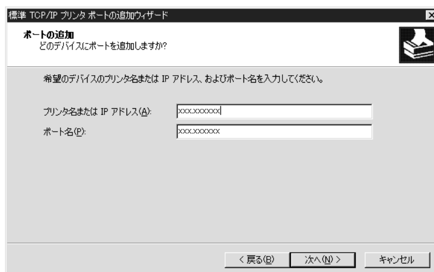


②[新しいポートの作成]を選択し、プルダウンで[Standard TCP/IP Port]を選択して、次へ ボタンをクリックします。

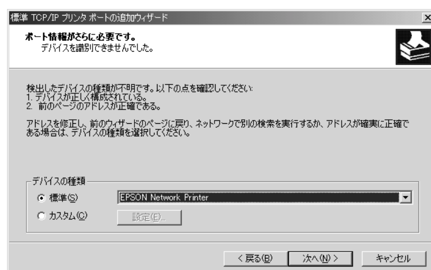


③[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード]が表示されたら、次へ ボタンをクリックします。

④ポートの追加画面で、[プリンタ名またはIPアドレス]欄にI/FカードのIPアドレスを入力し、次へ ボタンをクリックします。
あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。



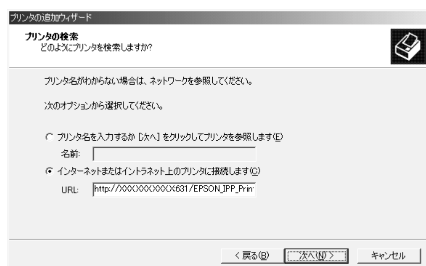
⑤何らかの理由でプリンタが正しく検出されなかった場合は、右の画面が表示されます。この画面が表示されたら、[標準]を選択し、[EPSON Network Printer]を選択します。あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。



3 インターネット印刷用プリンタの設定

手順2の後、右の画面が表示されたら、次の書式で入力します。

書式） http://I/Fカードの IPアドレス:631/EPSON_IPP_Printer



あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。



インターネット印刷の詳細は、Windows2000のマニュアルをご覧ください。

LPR Portでの接続(WindowsNT4.0)

1 **プリンタの起動**

I/Fカードを装着したプリンタの電源をオンにします。

2 **ネットワークサービスの確認**

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]をダブルクリックして、[サービス]画面に[Microsoft TCP/IP印刷]があることを確認します。
[Microsoft TCP/IP印刷]がない場合は、追加 ボタンをクリックして追加します。画面の指示に従ってください。



3 **プリンタをLPR Portで接続**

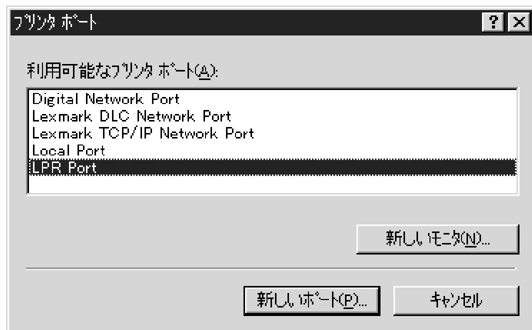
①[マイコンピュータ]の[プリンタ]ウィンドウで[プリンタの追加]をダブルクリックします。
右の画面で[このコンピュータ]を選択し、次へ ボタンをクリックします。



② ポートの追加 ボタンをクリックします。



③[プリンタポート]画面が表示されるので、[LPR Port]を選択し、
新しいポート をクリックします。





[Lexmark TCP/IP Network Port]は使用できません。

④[LPR 互換プリンタの追加]画面が表示されます。I/F カードの IP アドレスとプリンタ名を入力し、 OK ボタンをクリックします。あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。



LPR Portでの接続(WindowsNT3.51)

1 **プリンタの起動**

I/Fカードを装着したプリンタの電源をオンにします。

2 **プリンタドライバのインストール**

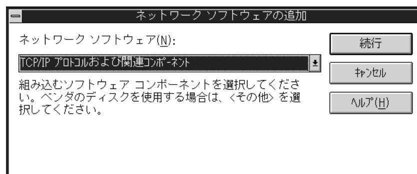
プリンタ本体マニュアルを参照して、プリンタドライバをインストールします。

3 **ネットワークソフトウェアの確認**

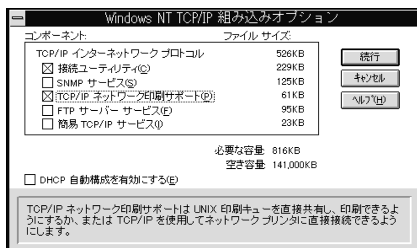
①[メイン]グループの[コントロールパネル]にある[ネットワーク]をダブルクリックして、[Microsoft TCP/IP印刷]が組み込まれている事を確認します。



②[Microsoft TCP/IP印刷]がない場合は、ソフトウェアの追加 ボタンをクリックして[TCP/IPプロトコルおよび関連コンポーネント]を選択します。



③[Windows NT TCP/IP組み込みオプション]画面が表示されるので、[接続ユーティリティ]と[TCP/IPネットワーク印刷サポート]をチェックします。
この後は画面の指示に従ってください。



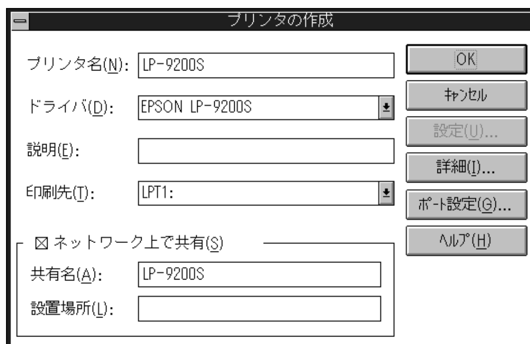
4 プリンタを LPR Port で接続

①プリンタを作成します。

[メイン]グループの[プリントマネージャ]の[プリンタ]メニューから、[プリンタの作成]を選択します。

[プリンタ名]を入力し、[ドライバ]を選択します。プリンタ名はNT上のプリンタ名を入力します。

このプリンタを他のコンピュータと共有する場合は[ネットワークで共有]チェックボックスにチェックマークを入れ、共有名と設置場所を入力します。設置場所は入力しなくてもかまいません。



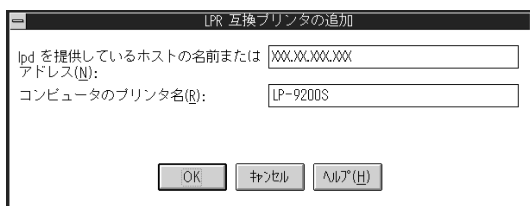
②プリンタを LPR Port で接続します。

①の画面の[印刷先]リストボックスから、[その他]を選択します。

③[印刷先]画面が表示されますので[LPR Port]を選択し、OK ボタンをクリックします。



④[LPR 互換プリンタの追加]画面が表示されますので、I/F カードの IP アドレスとプリンタ名を入力し、OK ボタンをクリックします。



⑤[プリンタの作成]画面で[印刷先]欄が[IP アドレス：プリンタ名]という表示になれば設定は完了です。

プリンタの作成

プリンタ名(N): LP-9200S
ドライバ(D): EPSON LP-9200S
説明(E):
印刷先(T): XXX.XX.XXX.XXX:LP-9200S
☒ ネットワーク上で共有(S)
共有名(A): LP-9200S
設置場所(L):

OK / ｷｬﾝｾﾙ / 設定(U)... / 詳細(I)... / ﾎﾟｰﾄ設定(G)... / ﾍﾙﾌﾟ(H)



[共有名]に設定したプリンタ名は、クライアントがプリンタを利用するときに必要です。共有名をクライアントに知らせてください。

5 スプールディレクトリのアクセス権を変更する

WindowsNT3.51 Server で共有プリンタを作成した場合、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります（ファイルシステム NTFS を選択したとき)。

①ファイルマネージャを起動し、カーソルを \WINNT35\SYSTEM32\SPOOL\PRINTERS に合わせます。

②メニューから[セキュリティアクセス権]を選択します。

③グループ[Everyone]のアクセス権を[追加と読み取り(RWX)(RX)]に変更し、OK ボタンをクリックします。

ディレクトリのアクセス権

ディレクトリ(I): C:¥WINNT35¥system32¥spool¥PRINTERS
所有者(O): Administrators
☐ サブディレクトリのアクセス権を置き換える(E)
☒ 既存ファイルのアクセス権を置き換える(F)
名前(N):

Administrators	フル コントロール
CREATOR OWNER	文書の管理
Everyone	追加と読み取り (RWX) (RX)
Power Users	フル コントロール

アクセス権の種類(T): 追加と読み取り

OK / ｷｬﾝｾﾙ / 追加(A)... / 削除(R) / ﾍﾙﾌﾟ(H)

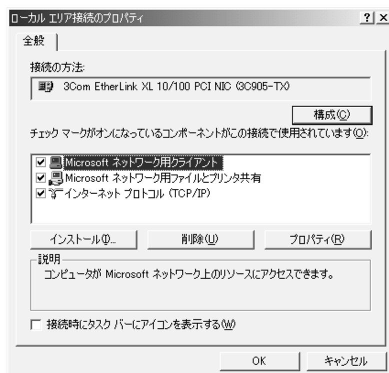
NetBEUI 印刷

NetBEUI プロトコルの組み込み

Windows2000

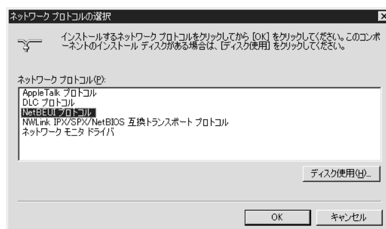
1 **Microsoft ネットワーク用クライアントの確認**

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをダブルクリックし、[ローカルエリア接続のプロパティ]画面で[Microsoft ネットワーク用クライアント]があることを確認します。



2 **NetBEUI プロトコルの組み込み**

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワークとダイヤルアップ接続]アイコンをダブルクリックし、[ローカルエリア接続のプロパティ]画面で インストール ボタンをクリックして[NetBEUI プロトコル]を追加します。[NetBEUI プロトコル]がある場合は追加不要です。



WindowsNT4.0

1 ワークステーションサービスの組み込み

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[サービス]画面で 追加 ボタンをクリックして[ワークステーション]を追加します。
[ワークステーション]がある場合は追加不要です。



2 NetBEUI プロトコルの組み込み

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[ネットワーク]アイコンをダブルクリックし、[プロトコル]画面で 追加 ボタンをクリックして[NetBEUI プロトコル]を追加します。
[NetBEUI プロトコル]がある場合は追加不要です。



WindowsNT3.51

1　ワークステーションの組み込み

①[メイン]グループの[コントロールパネル]にある[ネットワーク]を起動して、[ネットワークの設定]画面の[組み込まれているネットワークソフトウェア]に[ワークステーション]があることを確認します。

②[ワークステーション]がない場合は、ソフトウェアの追加 ボタンをクリックして追加します。



2　NetBEUI プロトコルの組み込み

①[メイン]グループの[コントロールパネル]にある[ネットワーク]を起動して、[ネットワークの設定]画面の[組み込まれているネットワークソフトウェア]に[NetBEUI プロトコル]があることを確認します。

②[NetBEUI プロトコル]がない場合は、ソフトウェアの追加 ボタンをクリックして追加します。



NetBEUIの設定

I/FカードのNetBEUI設定の初期値は次のとおりです。初期値のままで使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssistまたはEpsonNet WebAssistをお使いください。**「10 設定ユーティリティの各機能」**を参照してください。

- NetBIOS名　　　　:EPxxxxxx
  （xxxxxxはI/FカードのMACアドレスの下6桁）
- ワークグループ名　:Workgroup
- デバイス名　　　　:EPSON

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、I/F カードを装着したプリンタの設定をします。

Windows 2000

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある[プリンタ]ウィンドウから、[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。

②[ネットワークプリンタ]を選択します。

③[プリンタの検索]画面で 次へ をクリックし、[共有プリンタ]から設定するプリンタをクリックします。参照できない場合は、[プリンタ]欄にパスを入力します。
\\(I/F カードの NetBIOS 名)\(I/F カードのデバイス名)



④この後は画面の指示に従って設定してください。

WindowsNT4.0

①[マイコンピュータ]の[プリンタ]ウィンドウから、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

②[ネットワークプリンタサーバー]を選択します。

③[共有プリンタ]から、設定するプリンタをクリックします。
参照できない場合は、[プリンタ]欄にパスを入力します。
\\(I/F カードの NetBIOS 名)\(I/F カードのデバイス名)



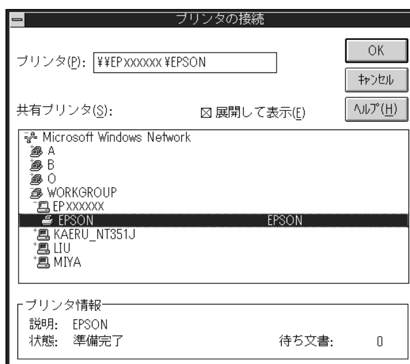
④この後は画面の指示に従って設定してください。

WindowsNT3.51

①[メイン]グループの[プリントマネージャ]にある[プリンタ]メニューから[プリンタの接続]をダブルクリックします。

②[共有プリンタ]から設定するプリンタを選択して OK ボタンをクリックし、接続します。
参照できない場合は[プリンタ]欄にパスを入力します。
\\(I/F カードの NetBIOS 名)\(I/F カードのデバイス名)

③この後は画面の指示に従って設定してください。



NET USE コマンド

WindowsNT/2000をサーバとしてNetBEUIを使って接続する場合は、WindowsNT/2000の仕様上、NET USEコマンドを使うことをお薦めします。設定方法は次のとおりです。

1 **サービスの確認**

[コントロールパネル]の[ネットワークとダイヤルアップ接続]または[ネットワーク]で プロパティ ボタンをクリックして、次のサービスが組み込まれていることを確認します。組み込まれていない場合は、インストール または （ソフトウェアの）追加 ボタンをクリックして追加してください。

- **Windows2000**
  [ローカルエリア接続のプロパティ]で、[Microsoftネットワーク用クライアント]が組み込まれていることを確認します。
- **WindowsNT4.0**
  [サービス]画面で[ワークステーション]または[サーバー]が組み込まれていることを確認します。
- **WindowsNT3.51**
  [組み込まれているネットワークソフトウェア]で[ワークステーション]または[サーバー]が組み込まれていることを確認します。

2 **コマンド実行**

コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。

書式）　NET_USE_プリンタポート:_\\I/Fカードの NetBIOS名\I/Fカードのデバイス名（_は半角スペース）

例）　LPT1に設定する場合
C:\>NET_USE_LPT1:_\\EP93xxxx\EPSON

3 プリンタポートの選択（クライアント）

設定したプリンタを使用する場合は、プリンタポートを手順2で設定したポートにする必要があります。

- **Windows95/98**
  使用するプリンタの[プロパティ]を開き、[詳細]画面で手順2で設定したポートを選択します。
- **Windows2000**
  使用するプリンタの[プロパティ]を開き、[ポート]画面で手順2で設定したポートを選択します。
- **WindowsNT4.0**
  使用するプリンタの[プロパティ]を開き、[ポート]画面で手順2で設定したポートを選択します。
- **WindowsNT3.51**
  [プリントマネージャー]で使用するプリンタを選択し、[プリンタ]メニューの[プリンタ情報]を起動します。[印刷先]リストボックスから、手順2で設定したポートを選択します。

7 AppleTalk印刷

この章では、I/Fカードを装着したプリンタを、Macintoshで使用する際の設定方法を説明します。MacintoshからはEtherTalkを利用して、Macintoshのネットワークでの印刷環境を設定できます。また、WindowsからもTCP/IP、IPXを利用してMacintoshのネットワーク印刷環境を設定できます。

対応するシステムは次のとおりです。

- Macintosh OS
  漢字Talk7.1/7.5.x
  MacOS 7.6.x/8.x/9.x（MacOS9のマルチユーザ環境には対応していません。）
- EtherTalk Phase II
- EPSONプリンタドライバ

使用上の注意

EPSON Print!2について

本製品には、Macintoshから当社VPシリーズプリンタに印刷をするためのプリンタドライバEPSON Print!2が添付されています。EPSON Print!2は、Macintosh用プリンタドライバが付属されていないVPシリーズプリンタをお使いになる場合にのみ、使用してください。プリンタにMacintosh用プリンタドライバが付属している場合は、付属しているプリンタドライバをお使いください。



EPSON Print!2のインストール方法や使用方法については、別冊の「EPSON Print!2取扱説明書」を参照してください。

EPSONネーマーについて

本I/FカードではEPSONネーマーを使用しないでください。
プリンタ名の変更は、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで行ってください。

AppleTalkの設定

AppleTalkの設定は初期値のまま使用できますが、変更もできます。設定には3通りの方法があります。Macintoshから設定する場合はEpsonNet MacAssistから、Windowsから設定する場合はEpsonNet WinAssistから設定してください。

I/FカードのIPアドレスが設定してある場合は、EpsonNet WebAssistから設定することもできます。**「10 設定ユーティリティの各機能」**を参照してください。

8 NetWare 印刷

この章では、I/F カードを装着したプリンタを、NetWare で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

サーバ環境

- NetWare3.1J/3.11J/3.12J/3.2J
- NetWare4.1J/4.11J(NDS/ バインダリエミュレーション)
- IntranetWare-J(NDS/ バインダリエミュレーション)
- NetWare5J（NDS/ キューベースプリントシステム /NDPS）

クライアント環境

- NetWare がサポートしているクライアント環境
- I/F カードを装着したプリンタのプリンタドライバが使えること

使用上の注意

モードについて

I/F カードにはプリントサーバモードとリモートプリンタモード、待機モードがあり、使用するモードは任意に設定できます。通常はプリントサーバモードをお薦めします。NetWare ファイルサーバのユーザ数に余裕がなければリモートプリンタモードでお使いください。

プリントサーバモード(NDS/Bindery Print Server)

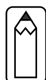
特徴

・ 8 台までのファイルサーバを同時接続可能
・ 直接印刷を制御するので印字速度が速い
・ NetWare のユーザアカウントを使用する
・ プリントキューは最大 32 ジョブまで登録可能

リモートプリンタモード(Remote Printer)

特徴

・ NetWare のユーザアカウントを使用しない
・ リモートプリンタを制御するプリントサーバが必要
・ プリンタの接続は、NetWare3.xJ で最大 16 台、NetWare4.1xJ、IntranetWare-J、NetWare5J では最大 255 台まで可能



リモートプリンタモードでは、プリンタの電源を入れたときに一時的にユーザアカウントを使用します。ユーザアカウントに余裕がない場合は、クライアントがファイルサーバにログインする前にプリンタの電源をオンにしてください。

待機モード（Standby）

工場出荷時はこのモードです。本モードでは NetWare の機能は動作しません。

使用上の注意

テキストファイルの印刷での注意

NetWareのNPRINTコマンドやDOSのリダイレクションを利用してテキストファイルを印刷する場合、クライアントの環境によっては文字化けやキャラクタずれの起きる可能性があります。

PCONSOLEでの制限

プリントサーバモードで使用する場合、PCONSOLEのプリントサーバ状況表示制御のサービスは使用できません。

IPXルーティングプロトコル"NLSP"での注意点

NetWare4.1xJ以降はIPXルーティングプロトコル"NLSP"を設定できますが、本I/Fカードは"NLSP"に対応していません。RIP/SAPにより通信を制御しています。ルーティングプロトコルの選択肢には ①NLSPとRIP/SAP ②RIP/SAP専用がありますが、"NLSPとRIP/SAP"が指定されている状態で、任意にRIP、SAPのバインドをはずした場合、I/Fカードはファイルサーバや NDSとの通信ができなくなりますので、ご注意ください(参照:ユーティリティ INETCFGの、"プロトコル"および"バインド"タスク内)。

バインダリとNDSに関する注意点

- バインダリコンテキスト・パスは、サーバ・コンソールからSET BINDERY CONTEXTコマンドで確認できます。
- バインダリコンテキスト・パスが設定されていない場合や、NDS非対応のクライアントから、別のコンテキストの印刷環境も使用したい場合には、そのコンテキストをバインダリコンテキストに指定する必要があります。AUTOEXEC.NCFファイル内に、SET BINDERY CONTEXTコマンドで設定します。
- 以下のNovellクライアントサービスをご使用の場合、EpsonNet WinAssistからのバインダリプリントサーバモードの設定はできません。バインダリモードでの設定を行う場合にはNovell IntranetWare Clientをお使いいただくか、EpsonNet WebAssistで設定を行ってください。
  Novell Client for Windows95/98 Version 3.00
  Novell Client for WindowsNT Version 4.50

詳しくはNetWare4.1xJ/5Jのマニュアルをご覧ください。

NDSコンテキストの表示・印刷

NDSコンテキストについて、ステータスシートとEpsonNet WebAssistでは、ASCII文字のみを正しく表示できます。NDSコンテキストを２バイト文字で設定した場合、次のように表示・印刷されます(動作には支障ありません)。
ステータスシート："2Byte code are included!"
EpsonNet WebAssist："....Caution...See Help"
正しく表示させるには、EpsonNet WinAssistで文字を変更するか、EpsonNet WebAssistからASCII文字で入力してください。

I/Fカード情報取得時間について

I/Fカードを装着したプリンタの電源を投入してから、NetWareサーバに認識されるまで最大２分の時間がかかります。その間、ステータスシートには正しい情報が反映しませんので、ご注意ください。

フレームタイプについて

IPXをバインドするフレームタイプは、同一ネットワーク内にあるすべてのNetWareサーバ、IPXルータで統一する必要があります。
複数のフレームタイプを同一ネットワークでお使いの場合、すべてのNetWareサーバ、IPXルータにそれらをバインドしてください。

NetWare5Jを使用する場合

NetWare5Jサーバに、IPXプロトコルをインストール（バインド）しておいてください。

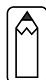
動作モードが異なる場合の注意点

I/Fカードに設定されているモードと異なるモードでログインし、EpsonNet WinAssistでNetWareの設定を行おうとすると、メッセージが表示されます。
現在の設定を変更したくない場合は、キャンセル をクリックして、I/Fカードに設定されているモードでログインし直してください。

バインダリプリントサーバ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ）

NetWare3.xJ/4.1xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（バインダリエミュレーション）で I/F カードをお使いになる場合の設定方法を説明します。

I/F カードを装着したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。



設定を行うコンピュータに、Client32 または IntranetWare Client をインストールしておいてください。次のクライアントは使用しないでください。
Novell Client for Windows95/98 Version3.00
Novell Client for WindowsNT Version4.50

1 NetWare サーバへのログイン

I/F カードを装着したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限をもつユーザ（バインダリ接続）でログインします。
NetWare4.1xJ/IntranetWare-J の場合は、バインダリログインのオプションを選択してログインしてください。

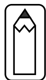
2 EpsonNet WinAssist の起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。



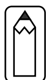
NetWare 印刷



- **設定する I/F カードは、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ステータスシートおよび I/F カード上のシールで確認できます。**
- **I/F カードの IP アドレスが工場出荷時の設定(192.168.192.168)の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントに I/F カードがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（128 ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetWare 設定画面の表示

[NetWare]タブをクリックして、I/F カードの NetWare 情報を設定します。



現在ログインしている NetWare の環境と I/F カードに設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

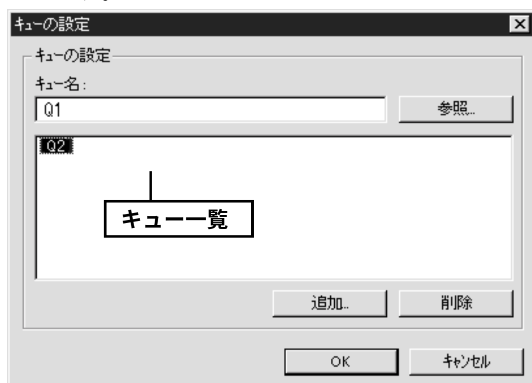
4 基本設定とプリントサーバ設定

画面の右半分は、[基本設定]の[モード]で選択した値により異なります。
[モード]で[プリントサーバ / バインダリ]を選択すると下図の表示になります。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ/バインダリ]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
プリントサーバ	
プライマリファイルサーバ名	プリントサーバがログインするファイルサーバを選択します。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、名前を半角英数 47 文字以内で入力します。
プリントサーバパスワード	通常は設定不要です。 I/F カードがプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバパスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5〜90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントキュー設定	キューの設定をします。次ページを参照してください。 **PCONSOLE や NWADMIN、旧ユーティリティ（EPSON Net!2 for Windows/Intranet）ですでにキューを割り当ててある場合は、ここで再度、キューの割り当てをしてください。**

プリントキュー設定

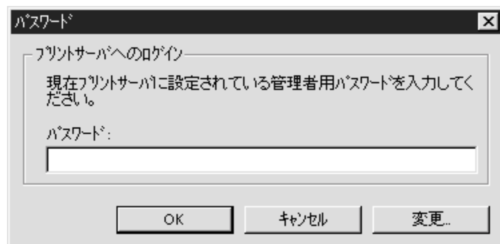
I/F カードへ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、OK をクリックします。



<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>キュー名</td><td colspan="2">I/F カードへ割り当てるプリントキュー名を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">参照</td><td colspan="2">割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、ログインしているファイルサーバ以下をすべて表示します。</td></tr>
<tr><td>キューの選択</td><td>プリントキューを選択して OK をクリックします。</td></tr>
<tr><td>キューの新規作成</td><td>キューを作成するファイルサーバをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成]を選択します。
[キュー名]は半角英数 47 文字以内で入力します。</td></tr>
<tr><td>キューの削除</td><td>プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除]を選択します。</td></tr>
<tr><td>キュー一覧</td><td colspan="2">プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>追加</td><td colspan="2">割り当てるキューを追加します。参照で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
</table>

6 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」(135 ページ)**を参照してください。工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら、更新は完了です。このメッセージが表示されるまでは、I/F カードに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。



EpsonNet WinAssist で設定を保存すると、プリンタオブジェクトは [PRO]の名前で自動的に作成されます。(0:ゼロ)
プリンタ名を変更する場合は、NetWare のユーティリティ PCONSOLE または NWADMIN から行ってください。

NDS プリントサーバ印刷（NetWare4.1xJ/5J）

NetWare4.1xJ/5J/IntranetWare-J のプリントサーバモード（NDS）環境で I/F カードをお使いになる場合の設定方法を説明します。

I/F カードを装着したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。



設定を行うコンピュータに、Client 32、IntranetWare Client、Novell Client のいずれかをインストールしておいてください。

1 NetWare サーバへのログイン

I/F カードを装着したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN 権限のあるユーザでログインします。

2 EpsonNet WinAssist の起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。





- **設定するI/Fカードは、MACアドレスで区別します。MACアドレスは、ステータスシートおよびI/Fカード上のシールで確認できます。**
- **I/FカードのIPアドレスが工場出荷時の設定(192.168.192.168)の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPXグループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにI/Fカードがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（128ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetWare設定画面の表示

[NetWare]タブをクリックして、I/FカードのNetWare情報を設定します。



現在ログインしているNetWareの環境とI/Fカードに設定してあるNetWare環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

4 基本設定とプリントサーバ設定

画面の右半分は、[基本設定]の[モード]で選択した値により異なります。[モード]で[プリントサーバ /NDS]を選択すると下図の表示になります。

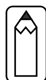
設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ/NDS]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。
NDS **・参照 でプリントサーバのコンテキストを選択します。画面右でプリントサーバの設定をする前に、必ずこの欄を設定してください。** **・EpsonNet WinAssist を使用するコンピュータに Novell クライアントサービスがインストールされていないと、ここでの設定はできません。** **・[ツリー名]と[コンテキスト]に設定できる文字数や文字種の制限についての詳細は、NetWare のマニュアルを参照してください。**	
ツリー名	参照ボタンをクリックして、NDS ツリーを選択します。
コンテキスト	参照ボタンをクリックして、NDS コンテキストを選択します。

設定項目	設定内容
プリントサーバ	
プライマリファイルサーバ名	この欄の設定は不要です。
プリントサーバ名	NDS 欄で指定したコンテキストに所属するプリントサーバがリスト表示されますので、プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、半角英数 47 文字以内で名前を入力します。
プリントサーバパスワード	通常は設定不要です。 I/F カードがプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバパスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5～90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントキュー設定	キューの設定をします。次ページを参照してください。 **PCONSOLE や NWADMIN、旧ユーティリティ（EPSON Net!2 for Windows/Intranet）ですでにキューを割り当ててある場合は、ここで再度、キューの割り当てをしてください。**

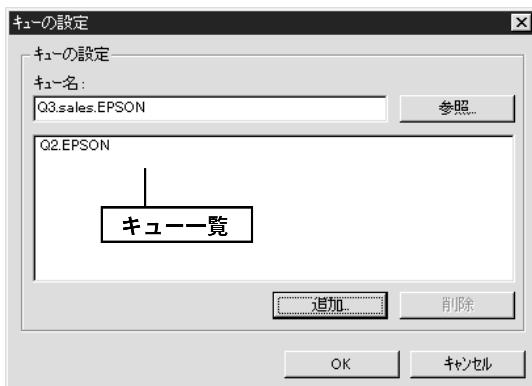
5

プリントキュー設定

I/F カードへ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。



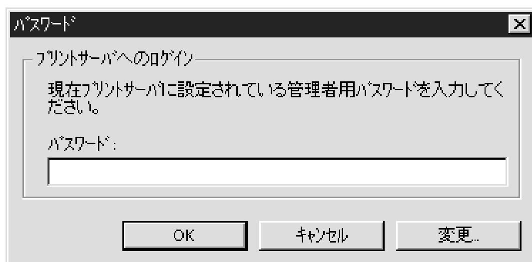
ここでは、[コンテキスト]欄で設定したコンテキストより上のコンテキストに対しても、キューを設定できます。その場合は、キューを設定したコンテキストに対して管理者の権限を持っている必要があります。



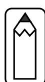
設定項目	設定内容	
キュー名	I/F カードへ割り当てるキューを、[プリントキュー.部門名.組織名]の書式で表示します。	
参照	割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、NDS 欄で設定したツリー以下を表示します。	
	キューの選択	プリントキューを選択して OK をクリックします。
	キューの新規作成	キューを作成するコンテキストをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成]を選択します。 [キュー名]は半角英数 47 文字以内で入力します。[キュー作成サーバ]はキューを作成するサーバを選択します。 キューは、ファイルサーバの SYS ボリューム下に作成されます。キューを SYS ボリューム以外のボリュームに作成したいときは、PCONSOLE または NWADMIN から作成してください。
	キューの削除	プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除]を選択します。
キュー一覧	プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。	
追加	割り当てるキューを追加します。参照で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。	
削除	キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。	

6 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（135 ページ）**を参照してください。工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら、更新は完了です。このメッセージが表示されるまではI/F カードに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。



EpsonNet WinAssist で設定を保存すると、プリンタオブジェクトは次の書式で自動的に作成されます。
プリントサーバ名 _P0（0:ゼロ）
プリンタ名を変更する場合は、NetWare のユーティリティ PCONSOLE または NWADMIN から行ってください。

リモートプリンタ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J）

NetWare3.xJ/4.1xJ/5J/IntranetWare-J のリモートプリンタモードで I/F カードをお使いになる場合の設定方法を説明します。

まず、PCONSOLE または NWADMIN を使ってプリンタ環境を設定します。お使いの NetWare によって、使用するユーティリティと手順が異なります。次のページをご覧ください。

- **NetWare3.xJ**
  「プリンタ環境の設定（PCONSOLE から）」（次ページ）
- **NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）**
  「プリンタ環境の設定（バインダリ）」（84 ページ）
- **NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）**
  「プリンタ環境の設定（NWADMIN から）」（89 ページ）

その後、EpsonNet WinAssist で I/F カードの設定をします。



設定を行うコンピュータに、Client32 または IntranetWare Client をインストールしておいてください。

プリンタ環境の設定（PCONSOLEから）

NetWare3.xJをお使いの方は、次の設定を行ってください。

1 NetWareサーバへのログイン

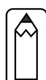
I/Fカードを装着したプリンタの電源をオンにして、設定するNetWareサーバに、クライアントからSUPERVISORと同等の権限を持つユーザでログインします。

2 プリントキューの登録

① PCONSOLEを起動し、[利用可能な項目]から[プリントキュー情報]を選択します。

② Insert キーを押して、[新プリントキュー名]欄にプリントキュー名を入力します。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報



設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

3 キューユーザの登録

[プリントキュー]リストから作成したプリントキューを選択すると[プリントキュー情報]メニューが表示されますので、[キューユーザ]を選択して、[EVERYONE]が登録されていることを確認します。EVERYONEがない場合は、Insert キーを押して、キューユーザリストから[EVERYONE]を選択します。

4 プリントサーバの登録

①[利用可能な項目]から[プリントサーバ情報]を選択します。

② Insert キーを押して、[新プリントサーバ名]欄にプリントサーバ名を入力します。このプリントサーバ名は後で使用するのでメモしておいてください。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

5 プリンタの構成

①[プリントサーバ]リストから作成したプリントサーバを選択すると、[プリントサーバ情報]画面が表示されますので、[プリントサーバ構成]を選択します。

プリントサーバ情報
パスワードの変更
フルネーム
プリントサーバ構成
プリントサーバ ID
プリントサーバオペレータ
プリントサーバユーザ

②[プリントサーバ構成メニュー]画面が表示されますので、[プリンタの構成]を選択します。

③[構成完了プリンタ]の最上段[インストールされていません（プリンタ番号＝0）]を選択します。

構成完了プリンタ	
インストールされていません	0
インストールされていません	1
インストールされていません	2

④次のように設定します。

プリンタ 0 の構成	
名前:Printer-0	任意のプリンタ名を入力
タイプ:リモートパラレル,LPT1	リモートパラレル ,LPT1 を選択
社別識別子:ESCP	任意に入力
IRQ:7	
バッファサイズ（K バイト）:3	
開始用紙:0	必要に応じた用紙の変更可
キューサービスモード	
ボーレート:	
データビット:	
ストップビット:	
パリティ:	
X-On/X-Off 使用有無	

⑤ Esc キーを押して、変更内容を保存します。

6 プリンタとキューの関連付け

①[プリントサーバ構成メニュー]から[プリンタでサービスされているキュー]を選択します。

プリントサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

②[定義済みのプリンタ]リストから、手順 5 で作成したプリンタを選択します。

③ Insert キーを押して、[使用可能キュー]リストから、手順 2 で作成したキューを選択してください。

④[優先順位]を 1 から 10 までの数値で指定します。1 が最優先です。

7 PCONSOLE の終了

Esc キーを押して、PCONSOLE を終了します。このあとは、**「I/F カードの設定」（93 ページ）**へ進んでください。

プリンタ環境の設定（バインダリ）

NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）をお使いの方は、次の設定を行ってください。

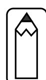


- **必要に応じて、各ユーザにトラスティを割り当ててください。**
- **プリントキュー、プリントサーバは必ずPCONSOLEで設定してください。NWADMINではバインダリキューを作成できません。**

1

NetWareサーバへのログイン

I/Fカードを装着したプリンタの電源をオンにして、設定するNetWareサーバに、クライアントからADMINと同等の権限を持つユーザでログインします。この時、必ずバインダリ接続でログインしてください。



設定に使うクライアントがNDSモードでログインしている場合には、PCONSOLE起動時に F4 キーを押して、バインダリモードにしてから設定を行ってください。

2

プリントキューの登録

①PCONSOLEを起動し、[利用可能な項目]から[プリントキュー]を選択します。

② Insert キーを押して、[新しいプリントキュー名]を入力します。

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更



設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

3

キューユーザの登録

[プリントキュー]リストから作成したプリントキューを選択すると[プリントキュー情報]メニューが表示されますので、[キューユーザ]を選択して、[EVERYONE]が登録されていることを確認します。EVERYONEがない場合は、Insert キーを押して、キューユーザリストから[EVERYONE]を選択します。

4

プリントサーバの登録

①[利用可能な項目]から、[プリントサーバ]を選択します。

② Insert キーを押して、[新しいプリントサーバ名]を入力します。

5 PCONSOLE の終了

PCONSOLE を終了して、NetWare サーバからログアウトします。

6 サーバへのログイン

NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。この時、NDS 接続でログインしてください。

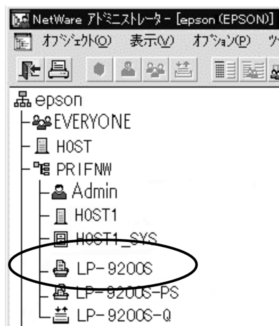
7 プリンタの作成

NWADMIN を起動し、手順 4 で作成したプリントサーバオブジェクトのあるコンテナをクリックして、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリンタ]を選択します。プリンタ名を入力して 作成 ボタンをクリックします。

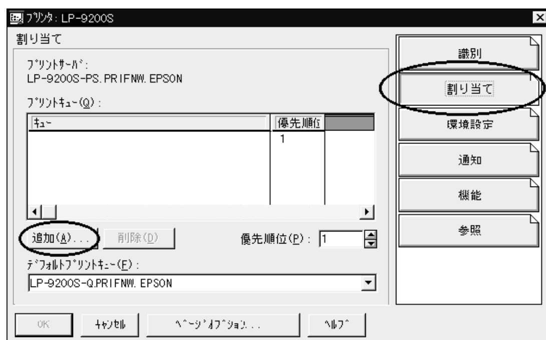


8 プリントキューの割り当て

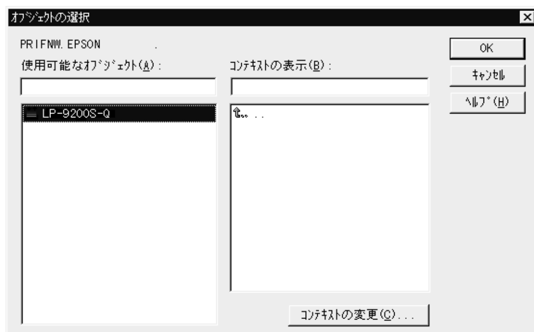
① NetWare アドミニストレータ画面で、手順 7 で作成したプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② 割り当て ボタンをクリックし、追加 ボタンをクリックします。



③プリントキューの一覧が表示されますので、割り当てるキュー（手順2で作成したキュー）を選択し、OK ボタンをクリックします。



9 プリンタタイプの設定

①[プリンタ]画面に戻って 環境設定 ボタンをクリックし、[プリンタタイプ]で[パラレル]を選択して、右の 通信 ボタンをクリックします。



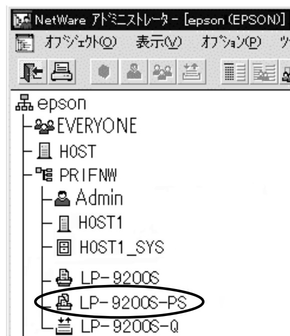
②ポート[LPT1]、割り込み[ポーリング]、接続タイプ[手動ロード]を選択します。



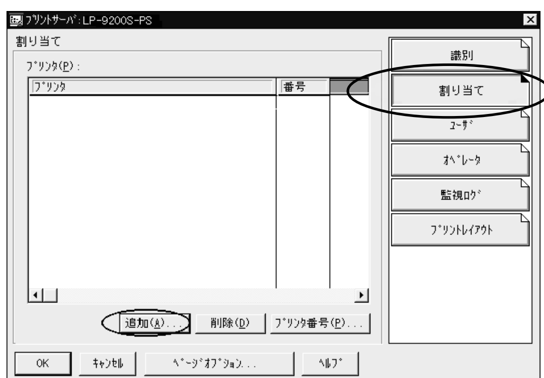
③設定が終了したら OK ボタンをクリックして[パラレル通信]画面を閉じ、[プリンタ]画面で OK ボタンをクリックします。

10 プリンタの割り当て

①NetWareアドミニストレータ画面で、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② 割り当て ボタンをクリックし、追加 ボタンをクリックします。



③プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、手順7で作成したプリンタを選択し、OK ボタンをクリックします。

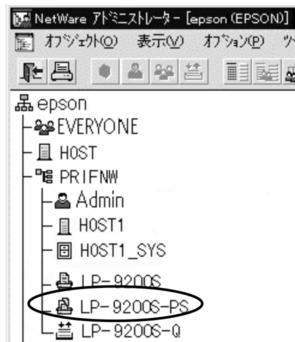


④②の画面に戻って、一覧から割り当てたプリンタを選び プリンタ番号 ボタンをクリックします。プリンタ番号を0～15の範囲で設定し、OK ボタンをクリックします。



11 割り当てたオブジェクトの確認

① NetWareアドミニストレータ画面で、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② プリントレイアウト ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。このあとは、**「I/Fカードの設定」（93ページ）**へ進んでください。



プリンタ環境の設定（NWADMINから）

NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）をお使いの方は、NWADMINから設定できます。

1

NetWareサーバへのログイン

I/Fカードを装着したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対してADMINと同等の権限のあるユーザでログインします。

2

プリンタの作成

NWADMINを起動します。ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリンタ]を選択します。プリンタ名を入力して 作成 ボタンをクリックします。



3

プリントサーバの作成

ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリントサーバ]を選択します。プリントサーバ名を入力して 作成 ボタンをクリックします。



4

プリントキューの作成

①ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[プリントキュー]を選択します。プリントキュー名を入力して 作成 ボタンをクリックします。

②プリントキューオブジェクトのアイコンをダブルクリックし、ユーザを登録します。

プリントキューを置くボリュームを指定（ディレクトリコンテキスト内のボリュームを選択）

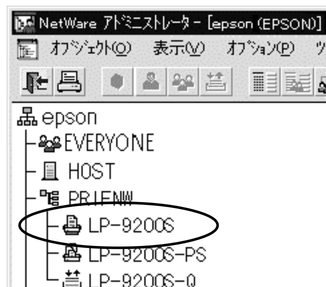




設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

5 プリントキューの割り当て

①NetWareアドミニストレータ画面でプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

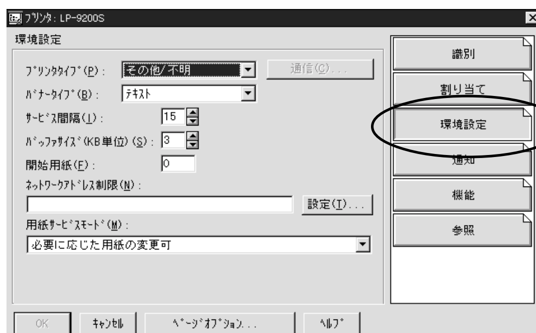


② 割り当て をクリックし、追加 ボタンをクリックします。



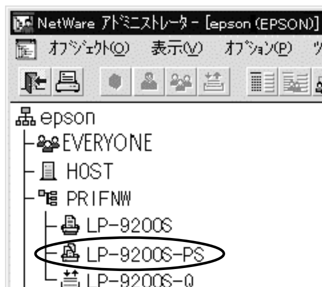
③プリントキューの一覧が表示されるので、手順4で作成したキューを選択し、OK ボタンをクリックします。

④ 環境設定 をクリックして[プリンタタイプ]欄で[その他 / 不明]を選択し、OK ボタンをクリックします。

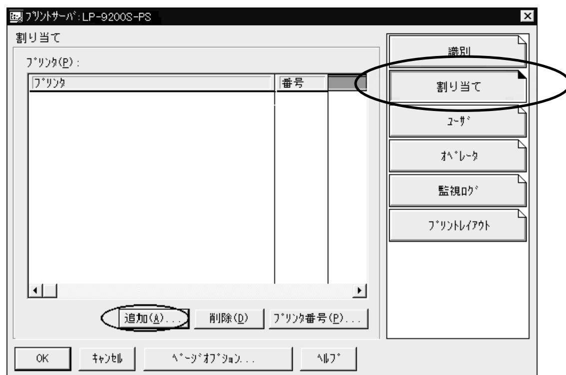


6 プリンタの割り当て

①NetWareアドミニストレータ画面でプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② 割り当て をクリックし、追加 ボタンをクリックします。



③プリンタオブジェクトの一覧が表示されるので、割り当てるプリンタオブジェクトを選択し OK ボタンをクリックします。



④②の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、プリンタ番号 ボタンをクリックします。プリンタ番号を0～254の範囲で設定し、OK ボタンをクリックします。

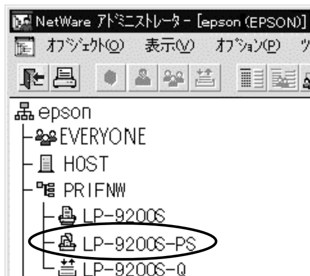


NetWare 印刷

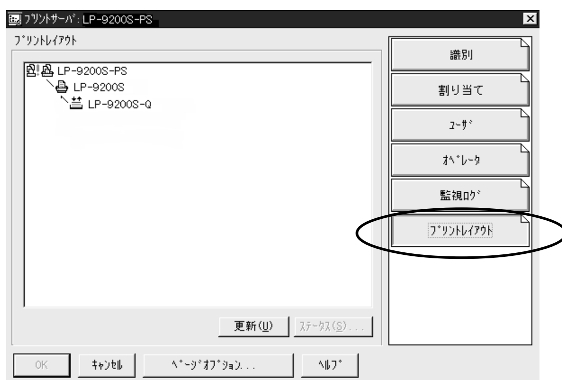
7

割り当てたオブジェクトの確認

①NetWareアドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



② プリントレイアウト ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。続いて、次ページへ進んでください。



詳しくはNetWareのマニュアルをご覧ください。

I/F カードの設定

I/F カードを装着したプリンタの設定は、EpsonNet WinAssist から行います。

1 **NetWare サーバへのログイン**

I/F カードを装着したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR または ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。

2 **プリントサーバのロード**

プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。

>　LOAD_PSERVER_PCONSOLE または NWADMIN で設定したプリントサーバ名（_ は半角スペース）

3 **EpsonNet WinAssist の起動**

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。



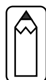
NetWare 印刷



- **設定する I/F カードは、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ステータスシートおよび I/F カード上のシールで確認できます。**
- **IP アドレスが工場出荷時の設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントに I/F カードがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション]（128 ページ）で設定すると、表示されます。**

4 **NetWare 設定画面の表示**

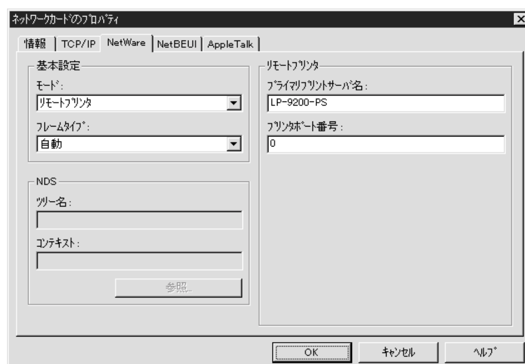
[NetWare] タブをクリックして、I/F カードの NetWare 情報を設定します。



現在ログインしている NetWare の環境と I/F カードに設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

5 基本設定とリモートプリンタ設定

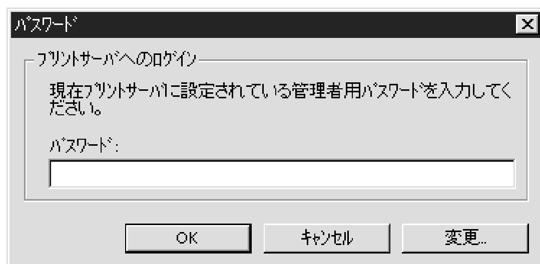
画面の右半分は、[基本設定]の[モード]で選択した値により異なります。
[モード]で[リモートプリンタ]を選択すると下図の表示になります。



設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	PCONSOLE または NWADMIN で作成したプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	PCONSOLE または NWADMIN で設定したリモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

6 設定の保存

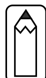
OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（135 ページ）**を参照してください。工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら、更新は完了です。このメッセージが表示されるまではI/Fカードに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

NDPS ゲートウェイ印刷（NetWare5J）

NetWare5J には、NDPS が標準装備されています。ここでは、Novell NDPS ゲートウェイ経由で印刷する方法を説明します。
Novell NDPS ゲートウェイは、IPX 上の rprinter、IP 上の LPR、または従来からある IPX 上のキューベースプリントシステムを使って NDPS で印刷するためのソフトウェアです。



- **NDPS を使うと、ネットワーク上のプリンタや印刷サービスの管理が従来の方法よりも簡単に行えます。**
- **本製品は、NDPS の[自動ドライバインストール]には対応していません。**
- **NDPS 経由で印刷する場合、バナー印刷は行えません。**

設定の流れ

次のような手順で設定します。NDPS についての詳細は、NetWare5J に添付されている NDPS の説明書を参照してください。

NetWare 印刷

接続方法の決定と環境設定

1 接続方法の決定

次の3種類の接続方法から、ご利用の環境にあったものを選びます。

・リモート（IPX上でrprinter）

ゲートウェイ経由で、RPRINTER（リモートプリンタ）モードのプリンタに印刷することができます。NetWareを初めてインストールするときや、現在の印刷環境が削除されても問題ない場合に使用できます。



リモート（IPX上でrprinter）を使うと、従来のキューベースプリントシステムの設定が失われます。

・リモート（IP上でLPR）

ゲートウェイ経由で、I/FカードのIPアドレスを設定したプリンタに印刷できます。

・ジョブをキューに転送

ゲートウェイからキューに印刷ジョブを送って印刷します。従来のキューベースプリントシステムと共存したいときに使用できます。

2 必要なプロトコルのインストール（サーバ）

NetWareサーバに、次のプロトコルをインストールします。接続方法によって、インストールするプロトコルが異なります。

インストール方法はNetWare5Jのマニュアルをご覧ください。

・ リモート（IPX上でrprinter） .... IPX

・ リモート（IP上でLPR）...................... TCP/IP

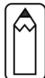
・ ジョブをキューに転送 .... IPX

3 クライアントソフトのインストール（クライアント）

クライアントに、NetWare5J添付のクライアントソフトをインストールします。このとき[標準のインストール]を選択すると、NDPSも自動的にインストールされます。

4 プリンタドライバのインストール（クライアント）

クライアントに、使用するプリンタのプリンタドライバをインストールします。インストール方法はプリンタの取扱説明書をご覧ください。



- **NetWareサーバ経由でプリンタドライバをインストールしないでください。**
- **Novellプリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。**

NDPS マネージャの作成

NetWare5J のツール NWADMIN から、NDPS マネージャを作成します。以下の操作はクライアントから行ってください。

1

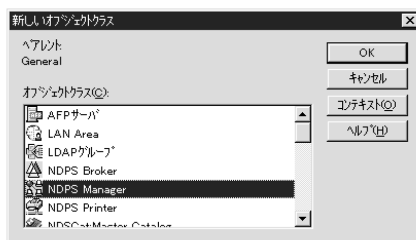
NWADMIN の起動

クライアントから、NetWare アドミニストレータ（NWADMN32.EXE）を起動します。

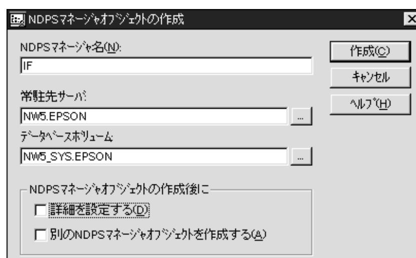
2

NDPS Manager の設定

①ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[NDPS Manager]を選択します。



②[NDPS マネージャ名]､[常駐先サーバ]､[データベースボリューム]を設定したら、[作成]ボタンをクリックして設定を保存します。



3

NDPS マネージャのロード

NetWare サーバで、NDPS マネージャをロードします。サーバコンソールで次のコマンドを入力し、作成した NDPS マネージャを選択してください。

>LOAD_NDPSM（_ は半角スペース）



コマンドを常時使用する場合は、AUTOEXEC.NCF に[LOAD_NDPSM_ 識別名付き NDPS マネージャオブジェクト名]（_ は半角スペース）を記述してください。

NetWare 印刷

NDPS プリンタエージェントの作成

続いて、NWADMIN から NDPS プリンタエージェントを作成します。



ここでの設定と同じことが、サーバコンソールからも行えます。詳しくは NetWare5J のマニュアルを参照してください。

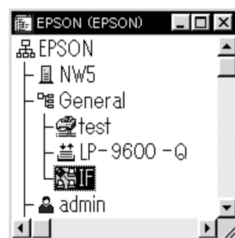
1 **プリンタタイプの決定**

次の 2 種類のプリンタタイプから、使用するタイプを決定します。タイプの詳細は、NetWare5J のマニュアルをご覧ください。

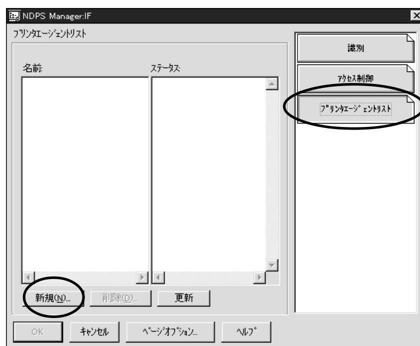
- **パブリックアクセスプリンタ（手順 2 へ）**
  この設定にするとネットワーク上の誰もがプリンタを使用できます。ただし NDS オブジェクトとしては登録されないため、セキュリティやイベント通知などのサービスが一部利用できません。
- **コントロールアクセスプリンタ（手順 3 へ）**
  NDS オブジェクトとして登録されるプリンタで、セキュリティやイベント通知などのサービスが利用できます。アクセス権のあるユーザだけが利用できます。

2 **プリンタエージェントの作成（パブリックアクセスプリンタ）**

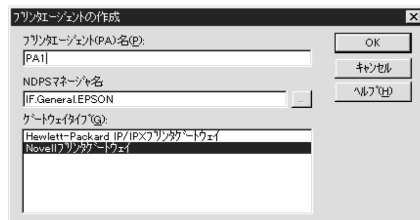
①作成した NDPS マネージャを選択し、メニューの [オブジェクト] - [詳細] 画面を起動します。



② プリンタエージェントリスト ボタンをクリックして、新規 ボタンをクリックします。
新規 ボタンが無効になっている場合は、サーバーコンソールで NDPSM をロードしてください。

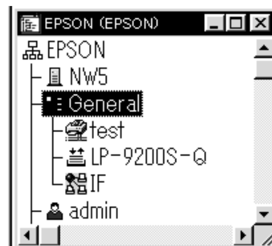


③[プリンタエージェント（PA）名]を入力します。
[ゲートウェイタイプ]は[Novell プリンタゲートウェイ]を選択し、OK ボタンをクリックします。続いて手順4へ進みます。

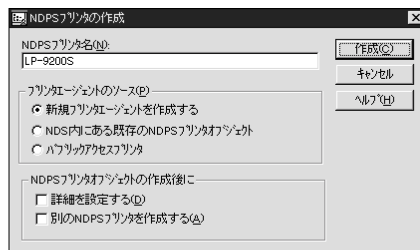


3 プリンタエージェントの作成（コントロールアクセスプリンタ）

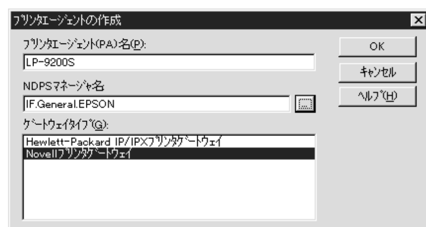
①ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの[オブジェクト]-[作成]-[NDPS Printer]を選択します。



②[NDPS プリンタ名]を入力し、[プリンタエージェントのソース]欄では[新規プリンタエージェントを作成する]を選択して 作成 ボタンをクリックします。それ以外の項目については、NetWare5J のマニュアルを参照してください。



③[NDPS マネージャ名]では作成した NDPS マネージャを選択します。[ゲートウェイタイプ]は[Novell プリンタゲートウェイ]を選択し、OK ボタンをクリックします。続いて手順4へ進みます。



4 プリンタタイプと接続タイプの選択

①[プリンタタイプ]は((なし))を、[ポートハンドラタイプ]はNovell ポートハンドラを選択して OK をクリックします。

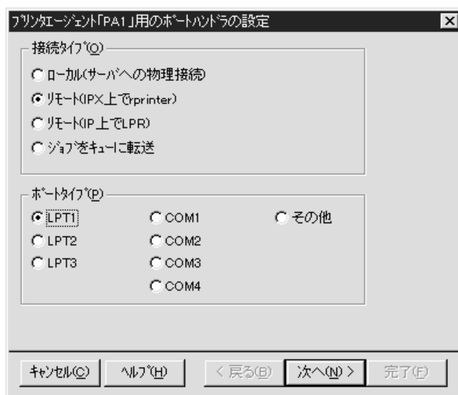


②お使いになる接続タイプとポートタイプを選択し、次へ をクリックします。

ここで選択する[接続タイプ]によって、次の手順へ進んでください。

- [リモート（IPX上でrprinter)]：手順5へ
- [リモート（IP上でLPR)]：手順6へ
- [ジョブをキューに転送]：手順7へ

[接続タイプ]でリモート(IPX上でrprinter)を選択したら、[ポートタイプ]でLPT1を選択してください。



5　（リモート（IPX 上で rprinter））ポートハンドラの設定



I/F カードのネットワークアドレスと MAC アドレスは、I/F カードのステータスシートに印刷されています。

①次の項目を入力し、次へ をクリックします。

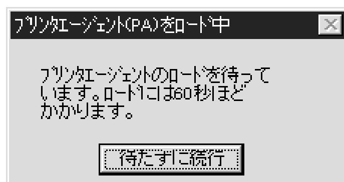
プリンタエージェント「PA1」用のポートハンドラの設定
PSERVERエミュレーション
SAP名(S):
PA1
プリンタ番号(P): 0
ネットワークアドレス制限
ネットワーク(E):
FFFFFFFF
ノード(O):
FFFFFFFFFFFF
キャンセル(C)　ヘルプ(H)　< 戻る(B)　次へ(N) >　完了(F)

設定項目	設定内容
SAP 名	プリンタエージェント名が表示されます。
プリンタ番号	プリンタ番号（0〜254）を設定します。
ネットワーク	I/F カードのネットワークアドレスを入力します。
ノード	I/F カードの MAC アドレスを入力します。

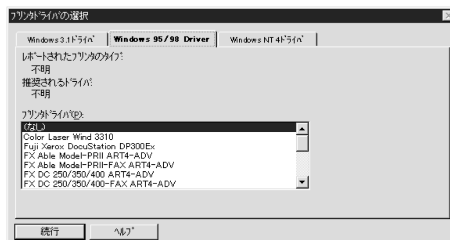
②[割り込み]は[なし]を選択し、完了 をクリックします。

プリンタエージェント「PA1」用のポートハンドラの設定
コントローラタイプ(O):
割り込み
IRQ 3　IRQ 11
IRQ 4　IRQ 12
IRQ 5　IRQ 14
IRQ 7　IRQ 15
IRQ 10　なし(ポーリングモード)
キャンセル(C)　ヘルプ(H)　< 戻る(B)　次へ(N) >　完了(F)

③次の画面が表示されます。④の画面が表示されるまでお待ちください。



④[プリンタドライバ]は（なし）を選択します。この後は、手順8へ進んでください。

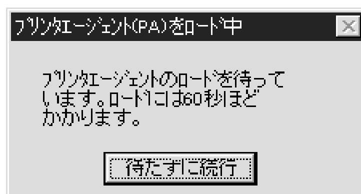


6 （リモート（IP 上で LPR））ポートハンドラの設定

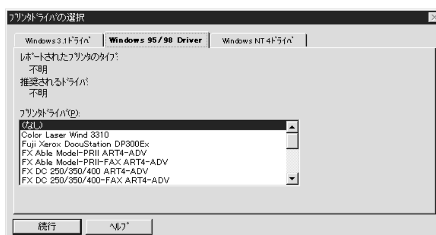
①[ホストアドレス]にはI/F カードの IP アドレスを入力します。
[ホスト名]は、ホスト名を登録してある場合に入力します。プリンタ名は図のように初期値のままで、完了 ボタンをクリックします。



②次の画面が表示されます。③の画面が表示されるまでお待ちください。



③[プリンタドライバ]は（なし）を選択します。



手順 8 へ進んでください。

7

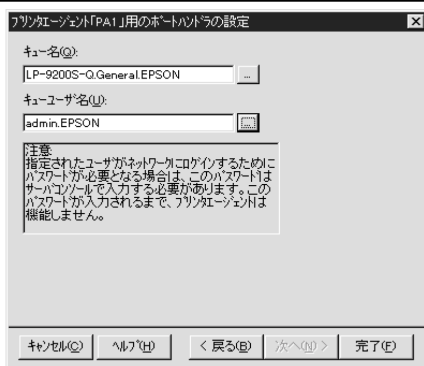
（ジョブをキューに転送）ポートハンドラの設定

この設定は、すでに作成されているキューで、印刷のできる設定が完了していることを前提としています。印刷環境の設定については**「バインダリプリントサーバ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ）」（69 ページ）、「NDS プリントサーバ印刷（NetWare4.1xJ/5J）」（74 ページ）、「リモートプリンタ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J）」（81 ページ）**のいずれかを参照してください。

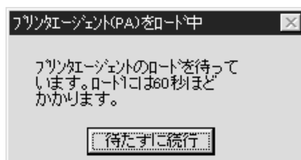
①[キュー名]にはI/Fカードが有効なキューを､[キューユーザ名]には[キュー名]のキューユーザ権限を持つ名前を選択し、完了 ボタンをクリックします。



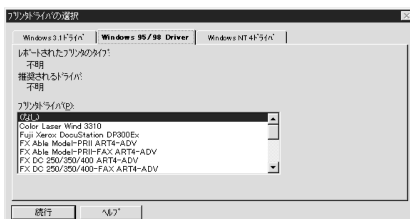
[キュー名]にはあらかじめ作成しておいたプリントキュー名を指定します。モードはプリントサーバ、リモートプリンタのどちらでも構いません。



②次の画面が表示されます。③の画面が表示されるまでお待ちください。

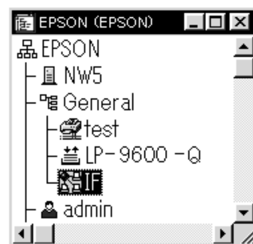


③[プリンタドライバ]は（なし）を選択します。この後は、手順8へ進んでください。



8　設定の確認

設定したNDPSプリンタエージェントを確認します。

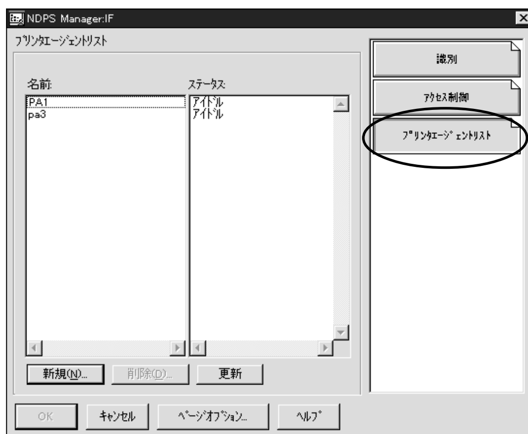


① NWADMINで、作成したNDPSマネージャオブジェクトを選択し、メニュー[オブジェクト]-[詳細]画面を起動します。

② プリンタエージェントリスト ボタンをクリックします。ここで、作成したNDPSプリンタエージェントのステータスが[アイドル]になっていることを確認します。



リモート(IPX上でrprinter)をお使いの場合は、次ページからの設定を行ってから、この画面でステータスが[アイドル]になることを確認してください。



[リモート（IPX上でrprinter)]の場合は、続いて次ページからの設定を行ってください。
[リモート（IP上でLPR)]、[ジョブをキューに転送]の場合は、続いて**「プリンタ設定（クライアント）」（111ページ）**へ進んでください。

NetWare印刷

I/F カードへの設定（[リモート（IPX 上で rprinter）]選択時）

リモート（IPX 上で rprinter）の場合は、前ページに続いて EpsonNet WinAssist から I/F カードを設定します。



- **次の操作は、[リモート（IPX 上で rprinter）]をお使いの場合のみ設定してください。[リモート（IP 上で LPR）]、[ジョブをキューに転送]をお使いの場合は設定不要です。**
- **設定を行うコンピュータに、Client32、IntranetWare Client、Novell Client のいずれかをインストールしておいてください。**

1 サーバへのログイン

I/F カードを装着したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN 権限のあるユーザでログインします。

2 EpsonNet WinAssist の起動

①[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。

②リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。





- **設定する I/F カードは、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ステータスシートおよび I/F カード上のシールで確認できます。**
- **I/F カードの IP アドレスが工場出荷時の設定(192.168.192.168)の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントに I/F カードがあるかを確認してください。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション]（128 ページ）で設定すると、表示されます。**

3 NetWare 設定画面の表示

[NetWare]タブをクリックして、I/F カードの NetWare 情報を設定します。



現在ログインしている NetWare の環境と I/F カードに設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

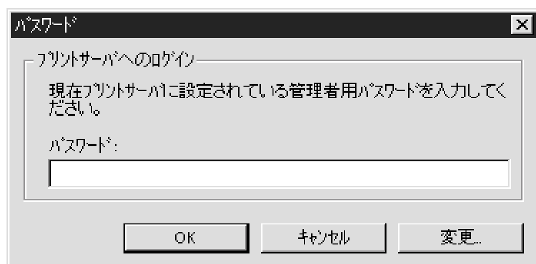
4 基本設定とリモートプリンタ設定

画面の右半分は、[基本設定]の[モード]で選択した値により異なります。
[モード]で[リモートプリンタ]を選択すると下図の表示になります。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ]を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	103 ページの[SAP 名]と同じ名前を、半角英数 47 文字以内で入力します。
プリンタポート番号	プリンタ番号を、0〜254 の数字で設定します。103 ページの[プリンタ番号]と同じ数字を入力します。

5 設定の保存

OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、変更 ボタンをクリックしてください。詳しくは**「パスワードについて」（135 ページ）**を参照してください。工場の出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。



「設定は正常に更新されました。」と表示されたら、更新は完了です。このメッセージが表示されるまでは I/F カードに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

この後は、107 ページの手順 8 を行ってから、次ページへ進んでください。

プリンタ設定（クライアント）

クライアントはプリンタのマニュアルを参照してプリンタドライバをインストールした後、印刷先にプリンタエージェントを指定します。



Novell プリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。

①プリンタのマニュアルを参照して、EPSON プリンタドライバをインストールします。

②[プリンタの追加]で印刷先を設定します。次のオブジェクトを出力先に設定してください。

- **パブリックアクセスプリンタの場合**
  [Ndps パブリックアクセスプリンター]というネットワークグループの下に作成した NDPS プリンタエージェント



- **コントロールアクセスプリンタの場合**
  NDS ツリー内に作成した NDPS プリンタエージェント

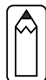




ステータスの表示、通知機能については、NetWare のマニュアルを参照してください。

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップネットワークを使用する場合の注意点を説明します。



本文にある「プライマリサーバ」とは、プライマリタイムサーバ（ネットワーク上でワークステーションなどに時間を提供するサーバ）を指します。

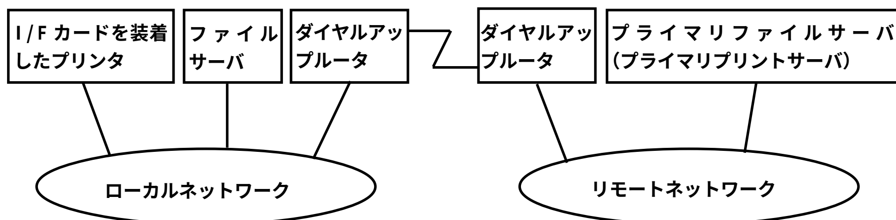
ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合

プリントサーバモードでは、必ず専用線接続で使います。
プリントサーバモードではファイルサーバに対してポーリングを行うため、ルータによる代理応答ができません。このため、ダイヤルアップ接続での使用はできません。

リモートプリンタモードでは、代理応答機能があるルータを使えば、ダイヤルアップ先にプライマリサーバを設置できます。しかし、プライマリサーバがダウンした場合などに不必要なダイヤルアップをしてしまう可能性があるため、ダイヤルアップ専用線接続をおすすめします。

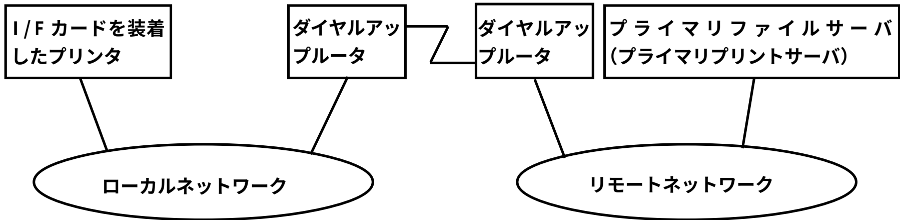
ダイヤルアップ接続をする場合は、次ページからの注意をお読みください。

ローカルネットワークにファイルサーバがある場合



1. 電源投入時
   ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。
   このダイヤルアップは電源投入時の1回のみで、問題はありません。
2. I/F カードが正しく設定されていない場合
   ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが約5分間隔で発生します。
   I/F カードが正しく設定されていないことが原因です。本章にある設定を正しく行うと、この現象は発生しません。
3. 正常動作中（待機）
   NetWare のプロトコル規約により、SPX Watchdog パケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。
4. 正常動作中（印刷）
   印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。
5. 動作中にプライマリサーバがダウンした場合
   定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。これは自動再接続機能が原因です。一度、I/F カードを装着したプリンタの電源を OFF にしてください。
6. ローカルネットワークのファイルサーバがダウンした場合
   ローカルネットワークにファイルサーバがなくなると、ローカルネットワークで NetWare と本 I/F カードの NetWare プロトコルが使えなくなります。この状態ではダイヤルアップは発生しません。ローカルネットワークのファイルサーバが復帰すると、本 I/F カードも自動復帰します。

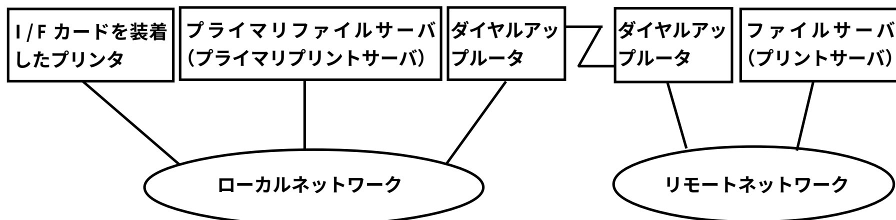
ローカルネットワークにファイルサーバがない場合



ルータの設定によっては、ローカルネットワークにファイルサーバがなくても NetWare プロトコルが使えます。
この場合の注意は、前ページ**「ローカルネットワークにファイルサーバがある場合」**の１から５と同様です。前ページをご覧ください。

ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合

I/F カードを設置したネットワークにプライマリサーバを設置しても、構成によっては不必要なダイヤルアップが発生します。
次の注意点は、プリントサーバモード、リモートプリンタモードで共通です。



1. 電源投入時
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
2. 本 I/F カードが正しく設定されていない場合
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。ただし、誤ってリモートネットワークのファイルサーバ / プリントサーバをプライマリサーバとして設定してしまった場合は、意図しないダイヤルアップが発生するので注意が必要です。この章にある設定を正しく行えば、この問題は発生しません。
3. 正常動作中（待機）
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
4. 正常動作中（印刷）
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
5. 動作中にプライマリサーバがダウンした場合
   定期的にプライマリサーバに接続を試みますが、ダイヤルアップは発生しません。ただし、ルータが SAP パケット(Find Nearest Server)を通過させる設定となっていると不必要なダイヤルアップが発生します。一度、本 I/F カードを装着したプリンタの電源を OFF にするか、ルータで SAP パケット（Find Nearest Server）を通過させないようにしてください。

9 OS/2 印刷

この章では、I/F カードを装着したプリンタを OS/2 Warp3、4(OS/2Warp Connect、OS/2Warp Server を含む)で使用する際の設定方法を説明します。

対応するシステムは次のとおりです。

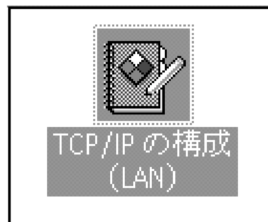
- OS/2 Warp 3、4
- Warp 付属の lprportd (TCP/IP)
- プリンタ共有 (NetBEUI)

TCP/IP 印刷

ここでは、OS/2Warp に標準でサポートされる lprportd を使用して、TCP/IP 印刷をする方法を説明します。

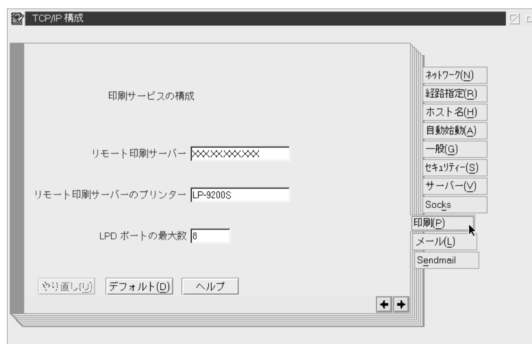
1 [TCP/IP の構成]起動

[OS/2 システム]フォルダを起動し、[システム設定]フォルダから[TCP/IP の構成]アイコンを起動します。



2 [印刷]画面での設定

[印刷]タブをクリックして、次のように設定します。



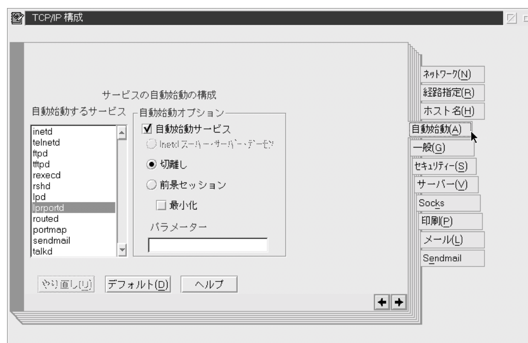
設定項目	設定内容
リモート印刷サーバー	I/F カードの IP アドレスを入力します。
リモート印刷サーバーのプリンター	プリンタ名を入力します。
LPD ポートの最大数	1 以上の値を入力します。



ここでプリンタの設定をしても印刷が行えない場合は、[ホスト名]タブをクリックして[ホスト名]画面での設定をしてください。

3 [自動始動]画面での設定

[自動始動]タブをクリックして、次のように設定します。



設定項目	設定内容
自動始動するサービス	[lprportd]を選択します。
自動始動オプション	[自動始動サービス]をチェックします。
	[切離し]を選択します。

4 TCP/IP 構成終了

[TCP/IP 構成]を保存して終了し、コンピュータを再起動します。

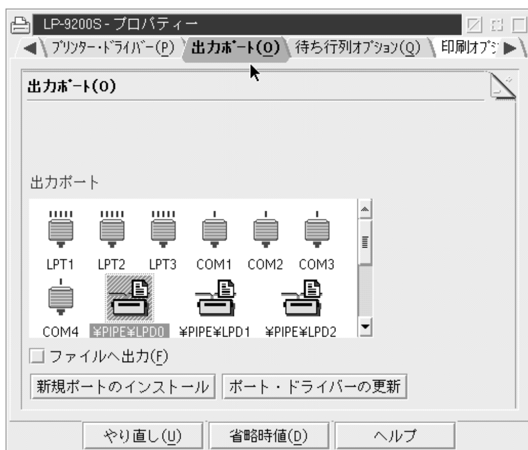
5 プリンタの作成

[OS/2 システム]フォルダの[テンプレート]から、[プリンタ]をデスクトップにドラッグして、プリンタを作成します。

6 ポートの設定

①プリンタアイコンをダブルクリックして、メニューの[プロパティー]画面にある、[出力ポート]タブをクリックします。

②[出力ポート]欄で[\\PIPE\LPD0]～[\\PIPE\LPDn](nはLPDポートの最大数）のどれかを選択し、ダブルクリックします。



③[\PIPE\LPD－設定]画面が表示されます。
[LPDサーバ]欄にI/FカードのIPアドレスを入力します。[LPDプリンター]欄に手順2で登録したプリンタ名を入力します。



④プリンタ設定を終了し、プリンタアイコンを閉じます。これで設定は終了です。

NetBEUI 印刷

I/F カードを装着したプリンタの設定を行います。

1

OS/2 NETBIOS の確認

設定するコンピュータに、[IBM OS/2 NETBIOS]が組み込まれていることを確認します。詳しくはOS/2 のマニュアルを参照してください。

2

プリンタ作成

①プリンタを作成します。

②目的のプリンタをダブルクリックして、[プロパティー]画面にある[出力ポート]タブをクリックします。

③出力ポートを選択します。

3

net use コマンド実行

DOS プロンプトから次のコマンドを実行して、プリンタに接続します。

書式）　net_use_ 出力ポート:_\\I/F カードの NetBIOS 名 \I/F カードのデバイス名（_ は半角スペース）

例）　LPT1 に設定したプリンタと接続する場合
>net_use_LPT1:_\\EP93xxxx\EPSON



I/F カードの NetBIOS 名と I/F カードのデバイス名は、ステータスシートで確認できます。NetBIOS 名とデバイス名を変更する場合は、Windows95/98/NT/2000 から EpsonNet WinAssist/WebAssist を使って設定してください。

10 設定ユーティリティの各機能

この章では、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist のオプション機能を含む各機能の概要を説明します。

EpsonNet WinAssist

Windows から I/F カードの設定をするユーティリティ、EpsonNet WinAssist について説明します。

起動

1 **プリンタの起動**

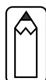
I/F カードを装着したプリンタの電源をオンにします。

2 **EpsonNet WinAssist の起動**

① Windows95/98/NT4.0/2000 は、[スタート]メニューのプログラム[EpsonNet WinAssist]をクリックして起動します。
WindowsNT3.51 は、[EpsonNet WinAssist (共通)]グループの[EpsonNet WinAssist]アイコンをダブルクリックして起動します。

②リスト画面で設定するプリンタを選択して、設定開始 ボタンをクリックします。

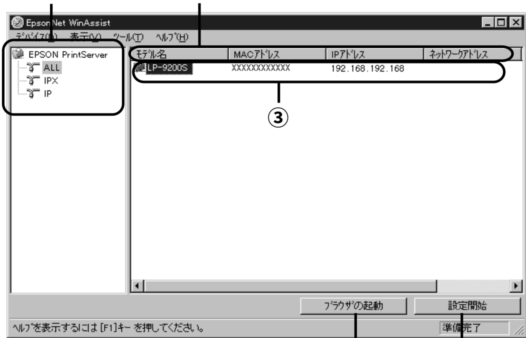




- **設定する I/F カードは、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ステータスシートおよび I/F カード上のシールで確認できます。**
- **I/F カードの IP アドレスが未設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。**
- **ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール]メニューの[探索オプション](127、128 ページ)で設定すると、表示されます。**

リスト画面とメニュー

リスト画面



項目	説明
①ツリービュー	クリックすると、ツリーごとに I/F カード情報を表示します。 **IPX 欄には、NetWare の通信プロトコルである IPX を使用し、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに管理者の権限でログインしていないと、表示されません。**
②項目名	各項目をクリックすると、クリックした項目を元に並べ替えができます。また、項目名ボタンの境界をドラッグすると、各項目の表示領域サイズを調整できます。
③リストビュー	I/F カードの情報を表示します。
④ ブラウザの起動	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動されます。
⑤ 設定開始	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、I/F カードの設定画面が表示されます。

メニューバー

ツールメニューの詳細は、このページから 128 ページの間で説明しています。

項目	説明	
デバイス		
設定	選択した I/F カードの設定を開始します。	
ブラウザの起動	EpsonNet WebAssist を起動します。	
アプリケーションの終了	EpsonNet WinAssist を終了します。	
表示		
最新の情報に更新	プリンタの再検索を行い、リスト画面の一覧表示を最新の情報に更新します。	
ツール		
タイムアウト設定	I/F カードとデータを送受信する際のタイムアウト時間を、2～120 秒の間で設定します。 設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。	
探索オプション	IP	IP の探索オプションを設定します。
	IPX	IPX の探索オプションを設定します。
ヘルプ		
トピックの検索	ヘルプを表示します。	
レビジョン情報	レビジョン情報と著作権情報を表示します。	

ツール - タイムアウト設定

[タイムアウト設定]では、I/F カードとデータを送受信する際に、通信エラーとするまでのタイムアウト時間を設定します。
2 ～ 120 秒の間で設定します。ここで設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。初期値は 6 秒です。



ツール - 探索オプション - IP

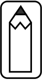
I/F カードを TCP/IP で管理している場合に、ローカルネットワークの外にある I/F カードを表示、設定したいときには、ここで特定のアドレスを設定すると、設定したセグメントにある I/F カードが検索されます。
ここで設定し、保存した値は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を実行するか、EpsonNet WinAssist を再起動したときに有効になります。



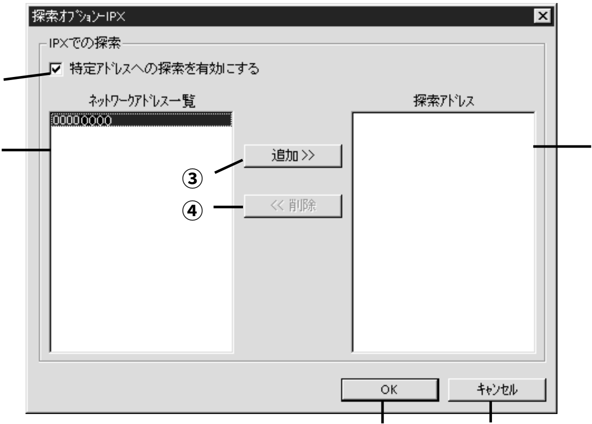
項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	ルータを越えたところにある I/F カードを探索する場合にチェックします。
②IP アドレス	探索する IP アドレスを入力します。(0〜255) ネットワーククラスにより、次のように入力してください。 クラス A:[入力].[255].[255].[255] クラス B:[入力].[入力].[255].[255] クラス C:[入力].[入力].[入力].[255]
③IP アドレス一覧	登録済みの IP アドレスを表示します。
④ 追加	②で IP アドレスを入力したらクリックして追加します。最大 20 個登録できます。 **ローカルアドレスの追加は行わないでください。**
⑤ 削除	使わないアドレスを③で選択してクリックし、削除します。
⑥ OK	設定を保存します。
⑦ キャンセル	設定を取り消します。

ツール - 探索オプション - IPX

I/F カードを IPX（NetWare）で管理している場合に、ローカルネットワークの外にある I/F カードを表示、設定したいときには、ここで I/F カードのネットワークアドレスを設定します。
ここで設定し、保存した値は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を実行するか、EpsonNet WinAssist を再起動したときに有効になります。



- **IPX の探索は、NetWare サーバに管理者の権限でログインしている場合に、行うことができます。**
- **ネットワークアドレスは、I/F カードのステータスシートの[NetWare]欄にある[Network Address]をご覧ください。**
- **ダイヤルアップネットワークをお使いの場合、探索しないアドレスを探索アドレスに登録したままにしておくと、余分な課金が発生するおそれがありますので、ご注意ください。**

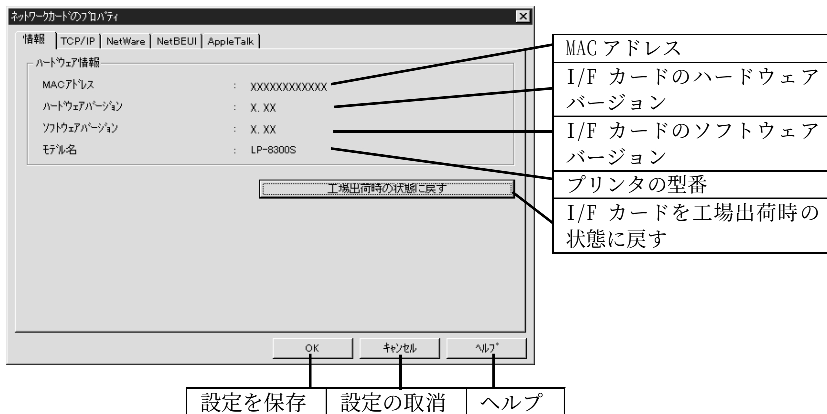


項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	特定のアドレスを探索する場合にチェックします。
②ネットワークアドレス一覧	現在のネットワークアドレスを表示します。
③ 追加	ネットワークアドレス一覧でアドレスを選択してクリックすると追加されます（最大 256 個登録可能）。
④ 削除	探索アドレスから使わなくなったアドレスを選択してクリックすると削除されます。
⑤探索アドレス	探索するネットワークアドレスを表示します。
⑥ OK	設定を保存します。
⑦ キャンセル	設定を取り消します。

設定画面

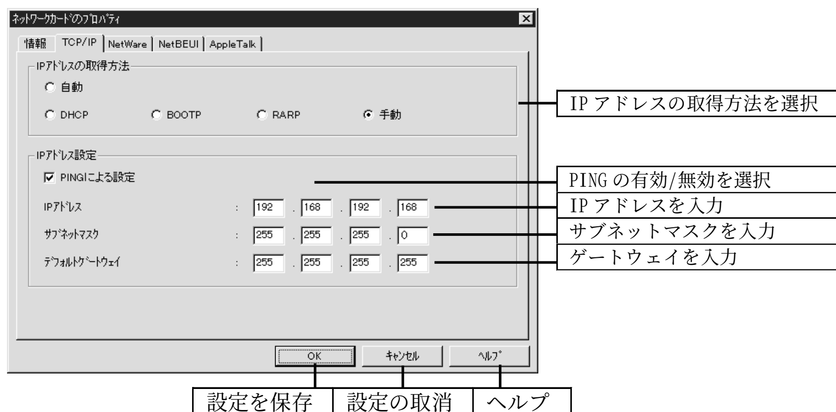
情報

この画面には、I/F カードの設定状態が表示されます。



TCP/IP

I/F カードの TCP/IP 情報を設定します。詳しくは**「4 TCP/IP の設定」**をご覧ください。



NetWare- プリントサーバ

NetWare をプリントサーバで使う場合、この画面で設定します。詳しくは**「8 NetWare 印刷」**をご覧ください。



項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。
②NDS	
ツリー名	NDS ツリー名を設定します。
コンテキスト	NDS コンテキストを設定します。
参照	NDS コンテキストを選択できます。
③プリントサーバ	
プライマリファイルサーバ名	プリントサーバがログインするサーバを選択します。NDS モードの場合は設定不要です。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択または入力します。
プリントサーバパスワード	プリントサーバへログインするためのパスワードを入力します。
プリントサーバパスワードの再入力	プリントサーバパスワードを再入力します。
ポーリング間隔	ポーリング間隔を設定します。
プリントキュー設定	キューの設定をします。
④ OK	設定を保存します。
⑤ キャンセル	設定を取り消します。
⑥ ヘルプ	ヘルプを表示します。

NetWare- プリントサーバ - キューの設定

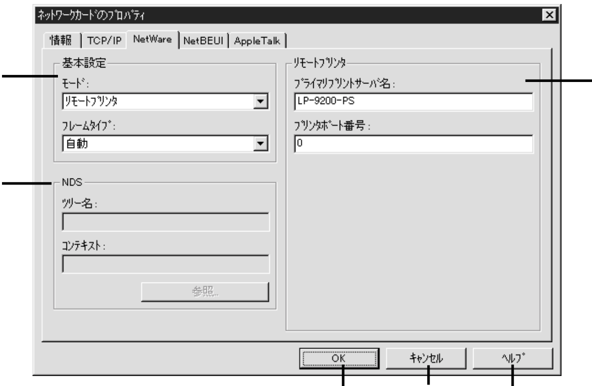
プリントサーバ設定で プリントキュー設定 ボタンをクリックした場合、この画面で設定します。詳しくは**「8 NetWare 印刷」**をご覧ください。



項目	説明
①キュー名	割り当てるキューを表示します。
② 参照	キューの選択、作成、削除をします。
③キュー一覧	キューの一覧を表示します。
④ 追加	割り当てるキューを追加します。
⑤ 削除	キューの割り当てを解除します。
⑥ **OK**	設定を保存します。
⑦ キャンセル	設定を取り消します。

NetWare- リモートプリンタ

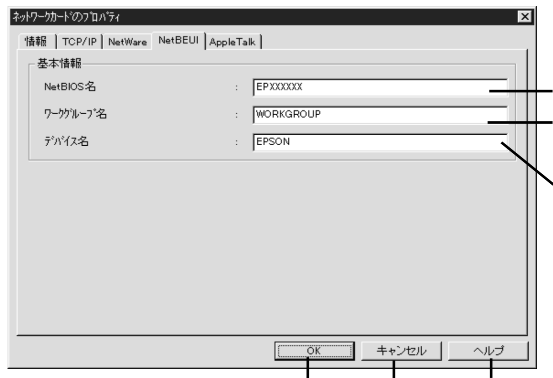
NetWareをリモートプリンタで使う場合、この画面で設定します。詳しくは**「8 NetWare印刷」**をご覧ください。



項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。
②NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
③リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	プライマリプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	プリンタ番号を入力します。
④ OK	設定を保存します。
⑤ キャンセル	設定を取り消します。
⑥ ヘルプ	ヘルプを表示します。

NetBEUI

NetBEUI を設定します。



項目	説明
①NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP I/F カードのシリアル番号の下 6 桁
②ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
③デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。
④ OK	設定を保存します。
⑤ キャンセル	設定を取り消します。
⑥ ヘルプ	ヘルプを表示します。

AppleTalk

AppleTalkの設定をします。

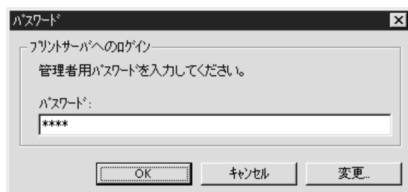


項目	説明
①プリンタ名	プリンタ名を半角英数32文字以内で入力します。 初期値:プリンタ名-I/Fカードのシリアル番号の下6桁
②ゾーン名	ゾーン名を半角英数31文字以内で入力します。
③エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
④ エンティティタイプの設定	ここでの設定は不要です。
⑤ネットワーク番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は[自動]を選択します。
⑥手動設定時のネットワーク番号	上の欄で[手動]を選択した場合に、0〜65534の番号を入力します。
⑦ OK	設定を保存します。
⑧ キャンセル	設定を取り消します。
⑨ ヘルプ	ヘルプを表示します。

設定の保存

各設定画面で設定を保存する方法を説明します。

設定画面で OK ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。



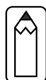
「設定は正常に更新されました。」と表示されたら更新は完了です。このメッセージが表示されるまではI/Fカードに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードについて

EpsonNet WinAssistでは、I/Fカードの設定を保護するためのパスワードを設定できます。各設定画面で OK をクリックしたり、情報画面で 工場出荷時の状態に戻す をクリックすると、パスワード入力画面が表示されます。

① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、変更 ボタンをクリックします。
初めてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

② 変更 ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数20文字以内で入力して、OK をクリックします。大文字小文字は区別されます。



- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **新しいパスワードは、①のパスワード入力画面で OK ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者パスワード]画面で設定した直後は、パスワード入力画面で[現在のパスワード]を入力してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、I/Fカードを工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「I/Fカードの初期化」（204ページ）を参照してください。**
- **EpsonNet WinAssistのパスワード設定は、PRIFNW1/2/2ACに対しては使用できません。**

管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:

新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの再入力:

注意:
管理者ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更は設定送信後に有効となります。
ここでOKを押してもすぐには変更されません。

OK　ｷｬﾝｾﾙ

EpsonNet WinAssistの削除

EpsonNet WinAssistの削除は次の手順で行います。

Windows95/98/NT4.0/2000

Windows95の画面で説明します。

①[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]を開きます。

②[アプリケーションの追加と削除]を開きます。

③[セットアップと削除]画面で[EpsonNet WinAssist]を選択し、追加と削除 ボタン（Windows2000は 変更/削除 ボタン）をクリックします。



④「’EpsonNet WinAssist’とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。

WindowsNT3.51

①[EpsonNet WinAssist（共通)]グループにある[アンインストール]をダブルクリックして起動します。

②「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、はい をクリックします。

③「アンインストールが完了しました。」と表示されたら終了です。

EpsonNet MacAssist

Macintosh から I/F カードの設定をするユーティリティ、EpsonNet MacAssist について説明します。

起動

1 **プリンタドライバのインストール**

各プリンタ同梱のプリンタドライバをインストールしておきます。

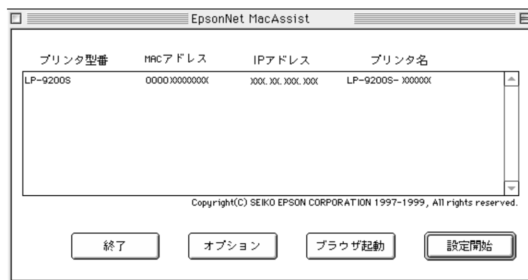
2 **プリンタの起動**

I/F カードを装着したプリンタの電源をオンにします。

3 **EpsonNet MacAssist の起動**

①[EpsonNet MacAssist]アイコンをダブルクリックして起動します。

②リスト画面で、設定するプリンタを選択して 設定開始 ボタンをクリックします。

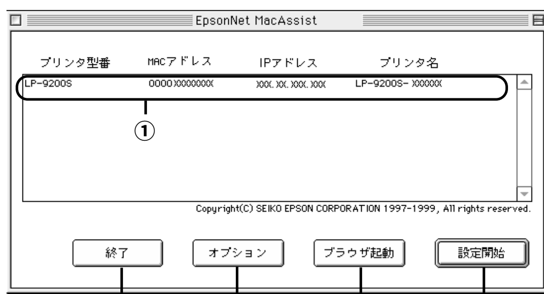




- **設定する I/F カードは、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスはステータスシートおよび I/F カード上のシールで確認できます。**
- **お使いのコンピュータのゾーン外にあるプリンタは、[オプション]画面の[ゾーン選択]（140 ページ）で設定すると、表示されます。**

リスト画面とオプション

リスト画面



項目	説明
①リストビュー	I/F カードの情報を表示します。
② 終了	EpsonNet MacAssist を終了します。
③ オプション	2 つの機能があります。詳しくは次ページをご覧ください。
④ ブラウザ起動	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動します。ブラウザが起動すると EpsonNet MacAssist は終了します。
⑤ 設定開始	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、I/F カードの設定画面が表示されます。

オプション - タイムアウト時間

リスト画面で オプション ボタンをクリックすると表示されます。
EpsonNet MacAssist で 1 ゾーンあたりの通信に使用するタイムアウトのベース時間を、3 ～ 99 秒の間で設定します。初期値は 5 です。
ここでの設定は、EpsonNet MacAssist を再起動したときに有効になります。

オプション

タイムアウト時間 : 5 sec
(3 ～ 99 sec)

ゾーン選択

キャンセル　OK

オプション - ゾーン選択

上のオプション画面で ゾーン選択 ボタンをクリックすると表示されます。
お使いのコンピュータのゾーン外にある I/F カードを表示、設定したいときは、ここでゾーンを追加すると、そのゾーンについても検索されます。ここでの設定は、EpsonNet MacAssist を再起動したときに有効になります。

探索ゾーンの選択

ゾーン一覧　探索ゾーン

nw

追加 >>

<< 削除

キャンセル　OK



ゾーン名は最大 2000 まで表示されます。

検索したいゾーンを追加するときは、[ゾーン一覧]でゾーンを選択して 追加 ボタンをクリックします。検索が不要になったゾーンは、[探索ゾーン]で選択して 削除 ボタンをクリックします。 OK をクリックして、設定を保存します。

設定画面

IP アドレスの設定と AppleTalk の設定を行います。

項目	説明
①IP アドレスの設定	
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。
②AppleTalk の設定	
プリンタ名	I/F カードを装着しているプリンタ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値:プリンタ名-I/F カードのシリアル番号の下 6 桁
エンティティタイプ	I/F カードを装着しているプリンタのエンティティタイプを表示します。
ゾーン名	AppleTalk のゾーンを選択します。初期状態ではアスタリスク（*）が表示されます。
ネットワーク番号設定	AppleTalk のネットワーク番号の設定方法を選択します。通常は[自動]を選択します。
ネットワーク番号	上の欄で[手動]を選択した場合に、0～65534 の番号を入力します。
③ 工場出荷時状態に戻す	I/F カードを工場出荷時の設定に戻します。
④ キャンセル	設定を取り消します。
⑤ 送信	設定を更新します。

設定の保存

設定画面で設定を保存する方法を説明します。

送信 ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。

現在のプリントサーバに設定されている管理者用パスワードを入力してください。

パスワード:

変更　キャンセル　OK

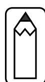
「設定は正しく行われました。」と表示されたら更新は完了です。
このメッセージが表示されるまではI/Fカードに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードについて

EpsonNet MacAssistでは、I/Fカードの設定を保護するためのパスワードを設定できます。設定画面で 送信 をクリックしたり、工場出荷時状態に戻す をクリックすると、パスワード入力画面が表示されます。

① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、変更 ボタンをクリックします。
はじめてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

② 変更 ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数20文字以内で入力して、 OK をクリックします。大文字小文字は区別されます。



- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **新しいパスワードは、①のパスワード入力画面で OK ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者パスワード]画面で設定した直後は、パスワード入力画面で[現在のパスワード]を入力してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、I/Fカードを工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「I/Fカードの初期化」（204ページ）を参照してください。**
- **EpsonNet MacAssistのパスワード設定は、PRIFNW1/2/2ACに対しては使用できません。**

管理者用パスワード

現在のパスワード：

新しいパスワード：

新しいパスワードの再入力：

注意：
管理者パスワードの変更は送信設定後に有効となります。
ここでOKを押してもすぐには変更されません。

キャンセル　OK

EpsonNet WebAssist

I/F カードの設定には、EpsonNet WinAssist/MacAssist のほかに、Web ブラウザを使ったユーティリティ、EpsonNet WebAssist を使うことができます。

起動



- **お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください。**
- **コンピュータと I/F カードに TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。**
- **EpsonNet WinAssist/MacAssist と EpsonNet WebAssist から、同時に同じ I/F カードに対して設定をしないでください。**
- **お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。**

1 **プリンタの起動**

I/F カードを装着したプリンタの電源をオンにします。

2 **EpsonNet WebAssist の起動**

EpsonNet WinAssist/MacAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

- EpsonNet WinAssist/MacAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。
- ブラウザを起動して I/F カードの IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist は起動しないでください。

書式)http://I/F カードの IP アドレス /

例） http://192.168.100.201/

オープニング画面

EpsonNet WebAssist を起動した時の画面について、説明します。

インデックスとメニュー



情報
基本情報
NetWare
TCP/IP
AppleTalk
NetBEUI
IPP
SNMP

設定
ネットワーク
NetWare
TCP/IP
AppleTalk
NetBEUI
IPP
SNMP

オプション
管理者情報
リセット
パスワード
ホームページの更新

EPSON

基本情報	I/F カードの情報とプリンタの状態を表示します。
NetWare	NetWare の情報を表示します。
TCP/IP	TCP/IP の情報を表示します。
AppleTalk	AppleTalk の情報を表示します。
NetBEUI	NetBEUI の情報を表示します。
IPP	IPP の情報を表示します。
SNMP	SNMP の情報を表示します。

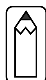
NetWare	NetWare を設定します。
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
NetBEUI	NetBEUI を設定します。
IPP	IPP を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。

管理者情報	管理者名と、このページからリンクする任意の URL を設定します。
リセット	I/F カードのリセットおよび工場出荷時設定をします。
パスワード	ネットワークの設定を保護するために、パスワードを設定します。
ホームページの更新	EpsonNet WebAssist を更新します。

EPSON	ホームページ「I love EPSON」へ

インターフェイスカード情報

I/F カードの情報と、プリンタの状態を表示します。



- **MAC アドレスは、I/F カード上およびステータスシートでも確認できます。**
- **プリンタステータスは自動的には更新されません。現在のステータスを知りたいときは、ステータス更新 ボタンをクリックして最新の情報に更新してください。**

インターフェイスカード情報

管理者名	
インターフェイスカード型番	PRIFNW1S
MACアドレス	XXXXXXXXXXXX
ハードウェアバージョン	X. XX
ソフトウェアバージョン	X. XX
モデル名	LP-9200S
	印刷可能または印刷中

ステータス更新

各項目の意味については、次ページを参照してください。

項目	説明	
管理者名	I/F カードの管理者名を表示します。	
インターフェイスカード型番	I/F カードの型番を表示します。	
MAC アドレス	I/F カードの MAC アドレスを表示します。	
ハードウェアバージョン	I/F カードのハードウェアバージョンを表示します。	
ソフトウェアバージョン	I/F カードのソフトウェアバージョンを表示します。	
モデル名	プリンタモデル名を表示します。	
信号	プリンタの状態を表示します。	
	緑	印刷可能または印刷中
	黄	・紙残量少 ・トナー/インク残量少 ・警告
	赤	・紙詰まり ・紙なし ・トナー/インクなし ・カバーオープン ・オフライン ・エラー
ステータス更新	クリックすると、プリンタの最新情報を表示します。	

情報

[情報]では、現在の I/F カードやプリンタ、およびネットワークの状態の表示のみ行います。

[情報]の各項目をクリックしたときに表示される内容は、[設定]-[ネットワーク]の各項目をクリックしたときに設定できる内容と同じです。

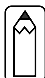
[基本情報]で表示される項目については、前項「インターフェイスカード情報」を参照してください。

[NetWare]、[TCP/IP]、[AppleTalk]、[NetBEUI]、[IPP]、[SNMP]で表示される項目については、次項「ネットワーク」のそれぞれの説明を参照してください。

ネットワーク

ネットワーク設定画面について説明します。

NetWare



- **EpsonNet WebAssist には、プリントサーバモードでの EpsonNet WinAssist のような、プリントサーバ / キュー / プリンタを新規に作成する機能はありません。EpsonNet WebAssist でオブジェクトを設定するときは、EpsonNet WinAssist や PCONSOLE、NWADMIN で作成済みのオブジェクトを入力してください。**
- **[NetWare]ではすべての項目が入力可能ですが、お使いの NetWare の動作モードによって、設定の必要な項目が異なります。以下の説明をご覧になり、各動作モードで必要な項目のみ設定してください。**

NetWare 基本設定

NetWare

NetWare基本設定

NetWare	Enable
フレームタイプ	Auto
動作モード	NDS Print Server
NDSツリー名	EPSON
NDSコンテキスト	epson

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>NetWare</td><td colspan="2">[Enable]を選択します。
[Disable]は NetWare を使用しない場合や、ダイヤルアップルータで NetWare を[Enable]にしておくと不都合がある場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>フレームタイプ</td><td colspan="2">使用するフレームタイプを選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">動作モード</td><td colspan="2">お使いのモードにあわせて選択します。[NDS Remote Printer]は使用しないでください。</td></tr>
<tr><th>お使いのモード</th><th>選択する項目</th></tr>
<tr><td>4.1xJ/5J NDS
プリントサーバ</td><td>NDS Print Server</td></tr>
<tr><td>3.xJ/4.1xJ バインダリ
プリントサーバ</td><td>Bindery Print Server</td></tr>
<tr><td>リモートプリンタ</td><td>Bindery Remote Printer</td></tr>
<tr><td>NetWare を使用しない</td><td>Standby</td></tr>
<tr><td>NDS ツリー名</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ、ツリー名を半角英数 31 文字以内で入力します。リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
<tr><td>NDS コンテキスト</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ入力します。
NDS コンテキストを半角英数 255 文字以内で入力します。先頭に「.」は付けないでください。
リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
</table>

プリントサーバ

[動作モード]で[NDS Print Server]または[Bindery Print Server]を選択した場合は、プリントサーバを設定します。

プリントサーバ

プライマリファイルサーバ名	HOST
プリントサーバ名	LP-9200S-XXXXXX
ポーリング間隔(5-90)	5 sec
NetWareパスワード	

項目	説明
プライマリファイルサーバ名	[Bindery Print Server]の場合のみ入力します。プリントサーバがログインするファイルサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。 初期値：プリンタ名-I/F カードの MAC アドレスの下 6 桁
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を、5～90 秒以内で設定します。
NetWare パスワード	通常は設定不要です。I/F カードがプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で設定します。

リモートプリンタ

[動作モード]で[Bindery Remote Printer]を選択した場合は、リモートプリンタを設定します。

リモートプリンタ

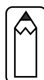
プライマリプリントサーバ名	LP-9200S-PS
プリンタポート番号(0-254)	0

送信

項目	説明
プライマリプリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリンタポート番号	リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。
送信	設定を保存します。

TCP/IP

このページは、EpsonNet WebAssist を使って I/F カードの TCP/IP 情報を変更する場合にのみご覧ください。



IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

TCP/IP

IPアドレスの取得方法	Manual
PINGによる設定	OFF
IPアドレス	XXX.XX.XXX.XXX
サブネットマスク	255.255.255.255
デフォルトゲートウェイ	255.255.255.255

送信

項目	説明
IPアドレスの 取得方法	IPアドレスの取得方法を、Manual/RARP/BOOTP/DHCPから選択します。 **RARP/BOOTP/DHCP を使用するにはそれぞれのプロトコル用サーバが必要です。対応サーバのないい環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。** これらの環境がない場合は、[Manual]を選択して各アドレスを設定します。
PINGによる設定	この項目は、[IP アドレスの取得方法]が[Manual]の場合に有効になります。 IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定する場合は[ON]を、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistから設定する場合はARP/PINGコマンドからIP アドレスが変更されないよう、[OFF]を選択してください。
IPアドレス	I/FカードのIPアドレスを入力します。 **ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。**設定するアドレスは、**「困ったときは」（205 ページ）**を参照してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は[255.255.255.0]です。
デフォルト ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータのIPアドレスを入力します。 初期値は[255.255.255.255]です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。
送信	設定を保存します。

AppleTalk

AppleTalk

AppleTalk	Enable
プリンタ名	LP-9200S-XXXXXX
エンティティタイプ	EPSONPAGEJ4
ゾーン名	*
ネットワーク番号設定	Auto
Manual設定時の ネットワーク番号(0-65534)	65534

送信

項目	説明
AppleTalk	[Enable]を選択します。
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値：プリンタ名-I/F カードの MAC アドレスの下 6 桁
エンティティタイプ	エンティティタイプを表示します。
ゾーン名	ゾーン名を半角英数 31 文字以内で入力します。
ネットワーク番号設定	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は[Auto]を選択します。
Manual 設定時のネットワーク番号	上の欄で[Manual]を選択した場合に、0 から 65534 の値を入力します。
送信	設定を保存します。

NetBEUI

NetBEUI

NetBEUI Enable
NetBIOS名 EPXXXXXX
ワークグループ名 WORKGROUP
デバイス名 EPSON
送信

項目	説明
NetBEUI	[Enable]を選択します。
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP I/F カードの MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名、またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使えません。
送信	設定を保存します。

IPP

EpsonNet Internet Printからプリンタにアクセスするための、情報の表示および設定をします。プリンタをEpsonNet Internet Printで使用する場合は、まずこの画面で情報を設定してください。

IPP

IPP URL http://192.168.100.201:631/EPSON_IPP_Printer
プリンタ名 EPSON_IPP_Printer
ロケーション

送信

項目	説明
IPP URL	EpsonNet Internet PrintからアクセスするときのURLを表示します。 書式）http:// I/F カードの IP アドレス:631/下記の項目で設定したプリンタ名
プリンタ名	EpsonNet Internet Print を使うためのプリンタ名を入力します。 半角英数127文字以内で入力します。
ロケーション	プリンタの設定場所を、半角英数 64 文字以内で入力します。

SNMP

SNMP コミュニティやトラップ情報の設定ができます。IP トラップと IPX トラップは、それぞれ２つまで設定できます。

SNMP- コミュニティ

項目	説明
コミュニティ	コミュニティ名を表示します。
Read Only	public と表示されます。
Read/Write	MIB Read/Write 権を持つコミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。
送信	設定を保存します。

SNMP- IP トラップ

項目	説明
トラップ	IP トラップの使用の許可/禁止を選択します。初期値は Disable です。
アドレス	トラップ送信先の IP アドレスを入力します。
コミュニティ名	コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。
送信	設定を保存します。

SNMP- IPX トラップ

SNMP

IPXトラップ－トラップ1

トラップ	Disable
アドレス	00000000:000000000000
コミュニティ名	

送信

項目	説明
トラップ	IPX トラップの使用の許可/禁止を選択します。初期値は Disable です。
アドレス	トラップ送信先の IPX アドレスを入力します。 書式）ネットワークアドレス:ノードアドレス（MAC アドレス）
コミュニティ名	コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。
送信	設定を保存します。

オプション

オプション設定画面について説明します。

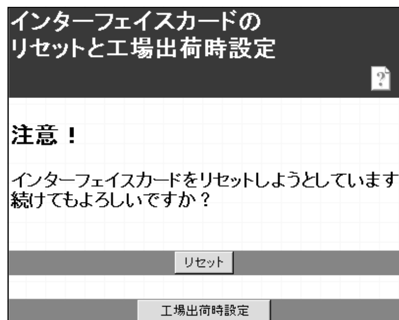
管理者情報

I/F カードの管理者名を設定できます。また、よく使う任意の URL を設定すると、インデックスの[Favorite（名前は変更可能）]からリンクすることができます。パスワードを設定してある場合は、パスワードの入力が必要です。

項目	説明
管理者名	I/F カードの管理者名を、半角英数 128 文字以内または全角 64 文字以内で入力します。
お気に入り名	リンク名を半角英数 20 文字以内または全角 10 文字以内で入力します。
お気に入り URL	リンクしたい URL を半角英数 64 文字以内で入力します。ftp:へのリンクはできません。
説明	リンク先の説明を半角英数 64 文字または全角 32 文字以内で入力します。入力した内容は本画面でのみ表示します。
送信	設定を保存します。

リセット

I/F カードのリセットおよび工場出荷時設定をします。
終了のメッセージが表示されたら、更新は完了です。



項目	説明
リセット	I/F カードの設定を有効にします。各設定の終了画面で 今すぐリセット をクリックするか、プリンタの電源を再投入した場合は、ここでのリセットは不要です。
工場出荷時設定	I/F カードのすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

パスワード

パスワードはI/Fカードの設定内容を保護するためのものです。ここで設定したパスワードは、各設定画面でI/Fカードの設定を更新するときに使います。半角英数20文字以内で入力します（大文字・小文字が区別されます）。入力したパスワードは“＊”で表示されます。
はじめてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

パスワード

旧パスワード

新パスワード

パスワードの再入力

送信

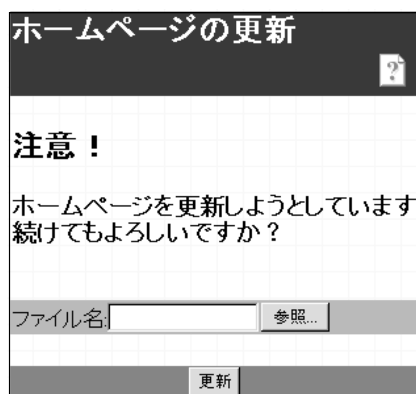
項目	説明
旧パスワード	旧パスワードを入力します。
新パスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワードの再入力	新しいパスワードを再入力します。
送信	設定を保存します。



- **パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。**
- **パスワードを忘れてしまった場合は、I/Fカードを工場出荷時の設定に戻す必要があります。「I/Fカードの初期化」（204ページ）を参照してください。**

ホームページの更新

通常はここでの設定は不要です。



項目	説明
ファイル名	ファイル名を入力します。同梱の CD-ROM をセットして 参照 ボタンをクリックし、CD-ROM ドライブの[IndexJ.pac]ファイルを選択します。
更新	指定したファイルの EpsonNet WebAssist に更新します。通常は使用しないでください。

設定の保存

各設定画面で設定を保存する方法を説明します。

1 **パスワードの入力**

［送信］ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistで共通です。パスワードの設定方法は、**「パスワード」（160ページ）**をご覧ください。

ネットワーク パスワードの入力

認証情報を入力してください。

OK

キャンセル

リソース：　EPSON TYPE-B NETWORK I/F CARD SET

ユーザー名(U):

パスワード(P):　******

このパスワードを保存する(S)

2 **設定終了**

「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、EpsonNet WebAssistを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

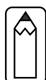
設定は正常に更新されました！

設定を有効にするためにはリセットの送信

またはプリンタの電源の再投入をしてください。

今すぐリセット

その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。



IPアドレスを変更した場合は、ここでリセットすると設定したIPアドレスが有効になります。引き続きEpsonNet WebAssistを使う場合は、EpsonNet WebAssistの再起動が必要です。設定したIPアドレスをURLに入力し、EpsonNet WebAssistを再起動してください。

11 EpsonNet Direct Print

この章では、Windows から TCP/IP（LPR）印刷をするためのソフトウェア、EpsonNet Direct Print について説明します。

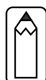
対応するシステムは次のとおりです。

・ Windows95/98
・ WindowsNT4.0
・ Windows2000

機能の概要

EpsonNet Direct Printは、WindowsからTCP/IP（LPR）印刷をするためのユーティリティです。
次のような特長を持っています。

- EpsonNet Direct PrintをコンピュータにインストールしWindowsからLPRプリンタを設定することで、TCP/IP（LPR）印刷が可能になります。
- ルータを越えた場所にあるプリンタも、LPRプリンタとして設定できます。



本製品に同梱されているEpsonNet Direct PrintはVer.2です。
Windows2000をご使用の場合は、本製品に同梱のEpsonNet Direct Printを使用してください。
旧バージョンのEpsonNet Direct Printは、Windows2000では使用できません。

動作環境

EpsonNet Direct Print は次の環境で動作します。

対象機種

IBM PC/AT 互換機

CPU

Pentium200MHz 以上（PentiumII 以上を推奨）

HDD、RAM

・HD の空きが 20MB 以上

・RAM 32MB 以上

対象 OS

・Windows95（サービスパック 1 以上 /OSR2 以上を推奨）

・Windows98

・WindowsNT4.0（サービスパック 3 以上）

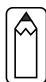
・Windows2000



PRIFNW1/2/2AC および LP-9600/9300 に同梱されている EPSON プリンタウィンドウ!2 は、EPSON TCP/IP プリンタ（LPR プリンタ）を設定できます。この EPSON TCP/IP プリンタは、EpsonNet Direct Print による LPR プリンタと共存できます。

インストール

EpsonNet Direct Printは次の手順でインストールします。Windows95の画面を例に説明します。



EpsonNet Direct PrintのVersion1.0とVersion2.0の両方を、同じコンピュータにインストールすることはできません。すでにインストールされているバージョンと異なるものをインストールする場合、注意のメッセージが表示されますので、インストールされているバージョンを削除してください。

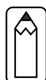
1 **環境設定**

インストールするコンピュータがネットワークに接続されており、TCP/IPが正しく設定されていることを確認します。

また、使用するプリンタに装着されたI/Fカードに、初期値(192.168.192.168)以外のIPアドレスが設定されていることを確認します。

2 **インストールの開始**

①同梱のソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。自動的に[EPSONインストールプログラム]が起動します。



[EPSONインストールプログラム]が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内のCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

②[EpsonNet Direct Printのインストール]をクリックして 次へ ボタンをクリックします。

3 **インストール**

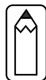
[ようこそ]の画面が表示されますので 次へ をクリックします。この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。

インストールが終了すると、ネットワークコンピュータ（Windows2000は[マイネットワーク]）に、EPSONのLPRネットワークコンピュータのグループアイコン[Epson_lpr]が作成されます。続いてプリンタを設定してください。

プリンタの設定

EpsonNet Direct Print をインストールしたら、次の手順で LPR 印刷をするプリンタを設定します。



- **標準で検索できるのは、同一ネットワーク上のプリンタのみです。**
- **ここで作成したプリンタは、Windows のプリンタフォルダ内でプリンタアイコンをダブルクリックしたときに表示される画面から、印刷の一時停止、印刷の中止、印刷中のジョブ削除をすることはできません。**

探索範囲の設定

プリンタ（I/F カード）の探索範囲を設定します。

1 **設定画面の起動**

[ネットワークコンピュータ]画面で[Epson_lpr]を選択します。

WindowsNT4.0 は[ネットワークコンピュータ]-[ネットワーク全体]-[EpsonPeripheralNetwork]で、Windows2000 は[マイネットワーク]-[ネットワーク全体]で[全内容]のリンクをクリック -[EpsonPeripheralNetwork]で[Epson_lpr]が表示されます。



[Epson_lpr]を選択したら、マウスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。

2 **設定**

次の画面が表示されたら、プリンタを探索する範囲を設定します。

探索範囲を設定したら、「プリンタの設定（方法 1）」または「プリンタの設定（方法 2）」に進んでください。



設定項目	設定内容	
ローカルセグメント	設定に使うコンピュータと同じセグメントのプリンタ（I/F カード）だけを探索する場合に、チェックします。	
特定ネットワークセグメント	ルータを越えたところにあるプリンタ（I/F カード）を探索する場合にチェックします。	
	IP アドレス	探索するプリンタ（I/F カード）の IP アドレスを入力します。
	サブネットマスク	探索するプリンタ（I/F カード）のサブネットマスクを入力します。
OK	設定を保存します。	
キャンセル	設定を取り消します。	
適用	画面を表示したままで設定を保存します。	

プリンタの設定（方法1）

ネットワークコンピュータからプリンタを設定する方法です。

1

プリンタの表示

[ネットワークコンピュータ]画面で[Epson_lpr]を選択します。

WindowsNT4.0は[ネットワークコンピュータ]-[ネットワーク全体]-[EpsonPeripheralNetwork]で、Windows2000は[マイネットワーク]-[ネットワーク全体]で[全内容]のリンクをクリック-[EpsonPeripheralNetwork]で[Epson_lpr]が表示されます。

[Epson_lpr]を選択したら、マウスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。「探索範囲の設定」で設定した範囲のEPSONプリンタが、次の形式で表示されます。

プリンタに装着したI/FカードのIPアドレス（プリンタ名）

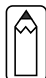


2

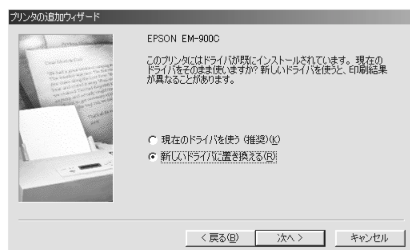
プリンタのインストール

①印刷に使うプリンタをダブルクリックします。

②プリンタウィザードが起動します。画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールします。



次の画面が表示された場合は、必ず[新しいドライバに置き換える]を選択してください。



プリンタの設定（方法2）

プリンタの追加からプリンタを設定する方法です。

1 **プリンタの表示**

① Windowsの[プリンタ]画面で、[プリンタの追加]をダブルクリックし、プリンタウィザードを起動します。

②[ネットワークプリンタ]を選択します。

③ネットワークパスの指定画面で 参照 をボタンをクリックし、プリンタの参照画面で[Epson_lpr]をクリックします。（Windows2000は[Epson Peripheral Network]をクリックします。）「探索範囲の設定」で設定した範囲のEPSONプリンタが、次の形式で表示されます。
プリンタに装着したI/FカードのIPアドレス（プリンタ名）または、
\\Epson_lpr\IPアドレス（プリンタ名）（Windows2000の場合）



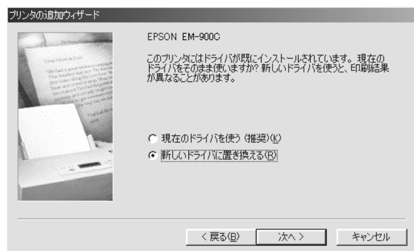
2 **プリンタのインストール**

①印刷に使うプリンタをダブルクリックします。

②プリンタウィザードが起動します。画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールします。



次の画面が表示された場合は、必ず[新しいドライバに置き換える]を選択してください。



印刷方式の設定

「プリンタの設定」でインストールしたプリンタの、印刷方式を選ぶことができます。

1 **設定画面の起動**

①[プリンタ]画面でプリンタアイコンを選択し、右クリックします。メニューから[プロパティ]を選択します。
Windows2000は、[マイネットワーク]で[Epson_lpr]をダブルクリックします。表示されたプリンタを右クリックして、[プロパティ]を選択すると、次ページの画面が表示されます。

②プロパティの画面で、[詳細]タブにある ポートの設定 ボタンをクリックします。WindowsNT4.0は、[ポート]タブの ポートの構成 ボタンをクリックします。
ボタンをクリックしたとき、「このポートに対して設定する項目はありません」と表示された場合は、 OK ボタンをクリックしてこのメッセージを閉じ、次に進んでください。



2 設定

次の画面が表示されたら、用途により印刷方式を切り替えます。



設定項目	設定内容	
LPR 印刷	標準印刷	印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
	拡張印刷	印刷データを直接プリンタに送信します。標準印刷よりも高速に印刷できます。
高速印刷	LPR 印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。 最も高速に印刷したい場合に、選択します。 本項目は、プリンタの機種によっては選択できません。この場合、本項目はグレーアウト表示になります。	

EpsonNet Direct Printの削除

EpsonNet Direct Printを削除する場合は、次の手順に従ってください。
Windows95を例に説明します。

1 **削除画面の起動**

[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]にある、[アプリケーションの追加と削除]画面を開きます。

2 **削除**

[EpsonNet Direct Print]を選択して、 追加と削除 ボタン（Windows2000は 変更 / 削除 ボタン）をクリックします。

「'EpsonNet Direct Print'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、 はい をクリックします。

削除が終了したら、コンピュータを再起動してください。

12 EpsonNet Internet Print

この章では、インターネットに接続されているプリンタに直接印刷をするユーティリティ、EpsonNet Internet Print について説明します。

対応するシステムは次のとおりです。（Windows2000 には対応していません。）

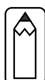
・ Windows95/98

・ Windows4.0 Server/Workstation

機能の概要

EpsonNet Internet Print は次のような特長を持つユーティリティです。

- EpsonNet Internet Print は、インターネットに接続されているプリンタに対して、直接印刷を行うためのユーティリティです。
- TCP/IP が設定され、インターネットにアクセスできる Windows95/98/NT4.0 から、プリンタの設定や印刷が実行できます。
- プロキシサーバによる中継印刷もできます。



- **プリンタに同梱されているユーティリティのうち、EPSON プリンタウィンドウ!2(または EPSON プリンタウィンドウ!3)は、コンピュータに接続されているプリンタの状態を監視するユーティリティです。**
  このユーティリティは IPP(Internet Printing Protocol)に対応していないため、インターネットに接続されているプリンタは監視できません。
- **EPSON プリンタウィンドウ!3 がインストールされている環境で EpsonNet Internet Print を使用する場合、プリンタのプロパティをクリックすると通信エラーのメッセージが表示される場合があります。**
  この場合は、対象となるプリンタドライバのプロパティで、[環境設定]タブにある[オプション情報を手動で設定する]をクリックしてください。
- **EPSON プリンタウィンドウ!3 を使用している場合、EpsonNet Internet Print で印刷を実行すると「通信エラーが発生しました」と表示されます。この場合は、次のようにしてください。**
  - **Windows95/98 の場合:対象となるプリンタドライバのプロパティで、[ユーティリティ]タブにある[プリンタをモニタする]のチェックを外してください。**
  - **WindowsNT4.0 の場合:対象となるプリンタドライバを右クリックして、[ドキュメントの既定値]を選択します。[ユーティリティ]タブにある[プリンタをモニタする]のチェックを外してください。**

動作環境

EpsonNet Internet Printは次の環境で動作します。

対象機種

- EpsonNet Internet Printが添付されているプリンタ

対象OS

- Windows95/98
- WindowsNT4.0 Server/Workstation

Windows2000には対応していません。

コンピュータ

- Intel社製品、x86シリーズおよびその互換機を搭載したコンピュータ

インストール

EpsonNet Internet Printは次の手順でインストールします。Windows95の画面を例に説明します。

1 環境設定

インストールするコンピュータに、TCP/IPがインストールされ、IPアドレスが設定されていることを確認します。

また、使用するプリンタに装着したI/Fカードに、IPアドレスが設定されていることを確認します。

2 インストールの開始

①同梱のCD-ROMをコンピュータにセットします。



[EPSONインストールプログラム]が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内のCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

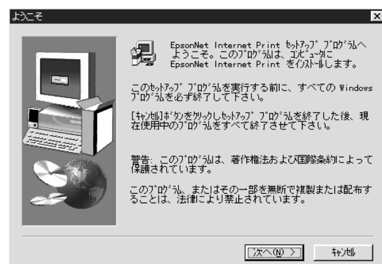
②次の画面が表示されたら、[EpsonNet Internet Printのインストール]をクリックして 次へ ボタンをクリックします。



3 インストール

[ようこそ]の画面が表示されますので 次へ をクリックします。この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。



使い方

インターネット直接印刷をするプリンタは、次の手順で設定します。

Windows95/98

Windows95/98は次の手順で設定します。

1 コンピュータの設定確認

設定に使うコンピュータに、TCP/IPが組み込まれ、正しく設定されていることを確認します。**「TCP/IPの組み込み」（26ページ）**を参照してください。

2 プリンタの設定確認

ここでの設定内容は、手順4で使います。

①設定するプリンタに装着されたI/Fカードに、IPアドレスが設定されていることを確認します。**「IPアドレスの設定・変更」(32ページ)**を参照してください。

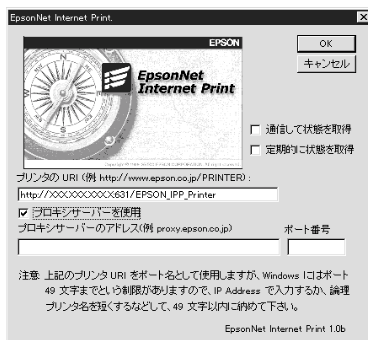
② EpsonNet WebAssistを使って、設定するプリンタに、インターネット直接印刷のための設定をします。**「IPP」（155ページ）**を参照してください。

3 EpsonNet Internet Printの起動

Windows[スタート]メニューの[プログラム]-[EpsonNet Internet Print]-[Add EpsonNet Internet Print Port]をクリックして起動します。

4 プリンタポートの追加

次の画面が表示されます。ここで設定したアドレスが、インターネット直接印刷のポートになります。



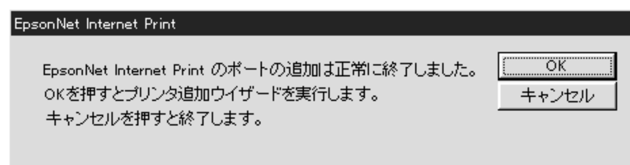
設定項目	設定内容
プリンタの URI	印刷先プリンタのアドレスを、次の書式で設定します。半角英数 49 文字以内で入力してください。 書式）http://プリンタの持っているサーバ名（IP アドレスまたはサーバ名）：631/プリンタ名 例）http://192.168.100.201:631/EPSON_IPP_Printer 631 は印刷先のポート番号です。入力しなくても構いません。入力する場合は必ず 631 と入力してください。 [プリンタの持っているサーバ名]にホスト名を使用して印刷できない場合は、IP アドレスを使用してください。
プロキシサーバーを使用	プロキシサーバーを使用する場合は、チェックを付けて、次の欄にアドレスを入力します。これをチェックすると、すべての通信をプロキシサーバーを経由して行います。
プロキシサーバーのアドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。半角英数 127 文字以内で入力してください。 アドレスの先頭に http://は付けないでください。
ポート番号	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
通信して状態を取得	チェックを付けると、OK をクリックした時に、プリンタと通信して、設定したプリンタが存在するかどうかを確認します。 この場合、最大 5 分の時間がかかります。 本項目は、ポート作成時のみ設定できます。
定期的に状態を取得	定期的にプリンタの状態を取得する場合は、チェックを付けます。 印刷中は 5 秒に 1 回、それ以外のときは 20 秒に 1 回、状態の取得を行います。 チェックを付けると、印刷中はエラー発生時に Windows 上にメッセージが表示されます。 それ以外のときは、プリンタアイコンをダブルクリックするとプリンタの状態が表示されます。
OK	設定を保存します。
キャンセル	設定を取り消します。



- ダイヤルアップルータを使用してインターネットに接続している場合など、[定期的に状態を取得]にチェックを付けていると、定期的にダイヤルアップを行うために、余分な課金が発生する可能性があります。ご注意ください。
- [通信して状態を取得]をチェックして OK をクリックしたときに、エラーが表示されることがあります。この場合は、プリンタの電源がオンになっているか、ネットワークに正しく接続しているかを確認してください。
- 上記の設定は、プリンタの作成後も設定、変更できます。プリンタのプロパティで、詳細タブの ポートの設定 ボタンをクリックしてください。
- プリンタの電源がオフであったり、ネットワークに問題がある等で、プリンタが正常に認識できない場合、[定期的に状態を取得]にチェックを付けても、チェックが自動的に外れます。この場合は、プリンタやネットワークの状態を確認して、再度[定期的に状態を取得]にチェックを付けてください。

5 設定の保存

設定を保存すると、次の画面が表示されます。 OK をクリックして、次の手順へ進みます。



6 プリンタの追加

①プリンタ追加ウィザードが表示されます。[ローカルプリンタ]をクリックします。



②使用するプリンタを、画面に表示される[製造元]と[プリンタ]の一覧から選択します。

③次の画面が表示されたら、[新しいドライバに置き換える]を選択します。



④プリンタで使用するポートの一覧が表示されます。追加したプリンタのURIを選択してください。後は、画面の指示に従ってインストールします。
EPSONプリンタウィンドウ!2またはEPSONプリンタウィンドウ!3のインストールを確認する画面が表示された場合は、キャンセルをクリックして終了してください。





プリンタのプロパティの[詳細]タブで、ここで設定したポートを削除した場合、同じ名前をポート名（プリンタのURI）として設定することはできません。ただし、コンピュータを再起動すると、同じ名前が設定できるようになります。

WindowsNT4.0

WindowsNT4.0 は次の手順で設定します。

1 コンピュータの設定確認

設定に使うコンピュータに、TCP/IP が組み込まれ、正しく設定されていることを確認します。**「TCP/IP の組み込み」（26 ページ）**を参照してください。

2 プリンタの設定確認

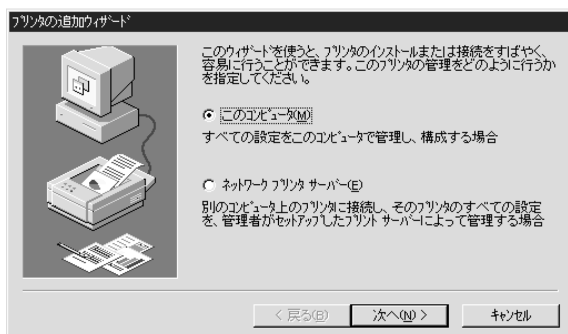
ここでの設定内容は、手順 4 で使います。

①設定するプリンタのネットワーク I/F に、IP アドレスが設定されていることを確認します。**「IP アドレスの設定・変更」（32 ページ）**を参照してください。

② EpsonNet WebAssist を使って、設定するプリンタに、インターネット直接印刷のための設定をします。**「IPP」（155 ページ）**を参照してください。

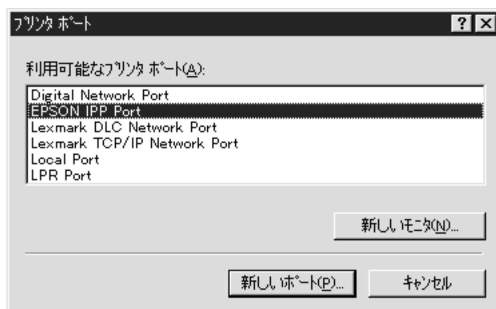
3 プリンタの追加の起動

マイコンピュータのプリンタ内にある、[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。次の画面で、[このコンピュータ]をクリックします。

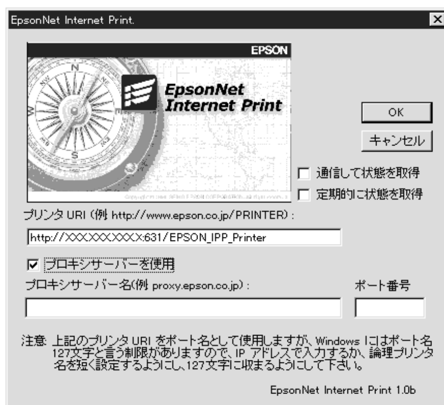


4 **プリンタポートの追加**

①[ポートの追加]ボタンをクリックして、利用可能なプリンタポートから、[EPSON IPP Port]を選択します。その後、新しいポート ボタンをクリックします。



②次の画面が表示されます。ここで設定したアドレスが、インターネット直接印刷のポートになります。各項目を設定して、OK をクリックします。



設定項目	設定内容
プリンタ URI	印刷先プリンタのアドレスを、次の書式で設定します。半角英数 127 文字以内で入力してください。 書式）http://プリンタの持っているサーバ名（IP アドレスまたはサーバ名）：631/プリンタ名 例）http://192.168.100.201:631/EPSON_IPP_Printer 631 は印刷先のポート番号です。入力しなくても構いません。入力する場合は必ず 631 と入力してください。 [プリンタの持っているサーバ名]にホスト名を使用して印刷できない場合は、IP アドレスを使用してください。
プロキシサーバーを使用	プロキシサーバーを使用する場合は、チェックを付けて、次の欄にアドレスを入力します。 これをチェックすると、すべての通信をプロキシサーバーを経由して行います。
プロキシサーバー名	プロキシサーバーのアドレスを入力します。半角英数 256 文字以内で入力してください。 アドレスの先頭に http://は付けないでください。
ポート番号	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
通信して状態を取得	チェックを付けると、OK をクリックした時に、プリンタと通信して、設定したプリンタが存在するかどうかを確認します。 この場合、最大 5 分の時間がかかります。 本項目は、ポート作成時のみ設定できます。
定期的に状態を取得	定期的にプリンタの状態を取得する場合は、チェックを付けます。 印刷中は 5 秒に 1 回、それ以外のときは 20 秒に 1 回、状態の取得を行います。 チェックを付けると、印刷中はエラー発生時に Windows 上にメッセージが表示されます。 それ以外のときは、プリンタアイコンをダブルクリックするとプリンタの状態が表示されます。
OK	設定を保存します。
キャンセル	設定を取り消します。



- **ダイヤルアップルータを使用してインターネットに接続している場合など、[定期的に状態を取得]にチェックを付けていると、定期的にダイヤルアップを行うために、余分な課金が発生する可能性があります。ご注意ください。**
- **[通信して状態を取得]をチェックして OK をクリックしたときに、エラーが表示されることがあります。この場合は、プリンタの電源がオンになっているか、ネットワークに正しく接続しているかを確認してください。**
- **上記の設定は、プリンタの作成後も設定、変更できます。プリンタのプロパティで、ポートタブの ポートの構成 ボタンをクリックしてください。**

5 プリンタのインストール

使用するプリンタドライバを選択します。後は、画面の指示に従ってインストールします。

EPSON プリンタウィンドウ!2 または EPSON プリンタウィンドウ!3 のインストールを確認する画面が表示された場合は、キャンセル をクリックして終了してください。

EpsonNet Internet Printの削除

EpsonNet Internet Printの削除は、次の手順で行います。EpsonNet Internet Printを削除する前に、EpsonNet Internet Printで作成したポートを削除してください。

1 **コントロールパネルの起動**

マイコンピュータのコントロールパネルにある[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。

2 **削除**

[セットアップと削除]画面でEpsonNet Internet Printを選択し、追加と削除 ボタンをクリックします。後は、画面の指示に従って削除します。

13 Windows2000インターネット印刷

この章では、Windows2000 のMicrosoft Windows® 2000 インターネット印刷と、インターネット印刷機能を使ってEPSON プリンタの現在の状態を表示するユーティリティ、Printer Status Page について説明します。
Printer Status Page は、Windows2000 用のEPSON プリンタドライバに含まれているユーティリティです。Windows2000 にプリンタドライバをインストールすると、同時にPrinter Status Page もインストールされます。

対応するシステムは次のとおりです。

・ Windows2000 Server/Professional（日本語）

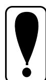
機能の概要

Windows2000 インターネット印刷

- Microsoft Windows® 2000 インターネット印刷は、Windows2000 の OS に実装されている新機能です。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタへ印刷ができます。

Printer Status Page

- Printer Status Page は、Microsoft Windows® 2000 インターネット印刷機能を使って、Web ブラウザから EPSON プリンタの現在の状態を確認するユーティリティです。
  Windows2000 のネットワークで使用できます。
- Printer Status Page は、次ページ以降にある EPSON 製プリンタの Windows2000 用プリンタドライバに含まれています。本章にある手順で Windows2000 にプリンタドライバをインストールすると、同時に Printer Status Page もインストールされます。



プリンタに同梱の取扱説明書に記載されている方法でプリンタドライバをインストールした場合、プリンタドライバのみインストールされ、Printer Status Page はインストールされません。

動作環境

インターネット印刷と Printer Status Page は、次の環境で動作します。

サーバ

OS	条件
Windows2000 Server	インターネットインフォメーションサービス（IIS）Ver.5.0 以降が動作していること
Windows2000 Professional	インターネットインフォメーションサービス（IIS）Ver.5.0 以降が動作していること

クライアント、ブラウザ

OS	条件
Windows2000 Server/ Professional	・ブラウザは、Microsoft Internet Explorer Ver.4.01 サービスパック 2 以降 ・256 色以上が表示可能であること

プリンタ

Printer Status Pageを持つWindows2000用プリンタドライバが用意されているEPSON製プリンタは次のとおりです。(2000年2月現在)
Windows2000用プリンタドライバがプリンタに同梱されていない場合は、プリンタに同梱の取扱説明書にある、最新プリンタドライバの入手方法の説明を参照してください。
また、プリンタに「Microsoft Windows2000をお使いのお客様へ」というご案内が同梱されている場合は、それも参照してください。

LP-1700/1700S/1800/1900
LP-8200/8300/8300S/8300F/8400/8400F/8400FX/8600/8600F/8600FX
LP-9200/9200S/9200SX
LP-9300/9600/9600S(ネットワークI/F標準装備)
LP-8000C
LP-8200C/8400FN/8400FXN/8600FN/8600FXN/1900N
(ネットワークI/F標準装備)
EM-900C
EM-900CN(ネットワークI/F標準装備)
MJ-6000C/8000C
PM-5000C/9000C/7000C

ネットワークI/F

Printer Status Pageを使用するためには、次のI/Fカードまたはネットワーク I/Fで、ネットワークにプリンタを接続する必要があります。(2000年2月現在)

- PRIFNW1S/2S/2SAC
- 次のプリンタに標準装備のネットワークI/F
  LP-9600/9600S/9300/8200C
  LP-8400FN/8400FXN/8600FN/8600FXN/1900N
  EM-900CN

環境設定

インターネット印刷およびPrinter Status Pageを使うコンピュータと、Printer Status Pageで管理するEPSONプリンタの設定をします。

サーバおよびクライアント

・ Windows2000に、インターネットインフォメーションサービス（IIS）があることを確認します。

①マイコンピュータのコントロールパネルで、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックし、[Windowsコンポーネントの追加と削除]アイコンをクリックします。

②Windowsコンポーネントの画面で、[インターネットインフォメーションサービス（IIS)]にチェックが付いていることを確認します。
チェックがない場合は、チェックを付けてインストールします。

・ Webブラウザをインストールしてください。

・ コンピュータがネットワークに接続され、TCP/IPが正しく設定されていることを確認してください。

プリンタ

Printer Status Pageで管理するプリンタの設定をします。Printer Status Pageを使用しない場合は、ここでの設定は不要です。

1

ネットワークへの接続

プリンタに装着したI/Fカードまたはプリンタに標準装備のネットワークI/Fがネットワークに接続され、TCP/IPが正しく設定されていることを確認します。

2

プリンタの設定

プリンタを追加します。プリンタを追加すると、Printer Status Pageも自動的にインストールされます。

追加の方法は、**「Standard TCP/IP Portでの接続(Windows2000)」(46ページ)**と、下記の注意事項を参照してください。



- **プリンタドライバは、プリンタの追加ウィザードの中でインストールしてください。プリンタドライバのSetup.exeを直接起動しないでください。**
- **プリンタドライバは、プリンタに同梱されているプリンタドライバのCD-ROMからインストールしてください。**
- **ポートの設定では、[Standard TCP/IP Port]を選択してください。**
- **プリンタの追加で、[プリンタ共有]画面が表示されたら、[共有する]を選択してください。**

起動と表示

インターネット印刷および Printer Status Page の起動と表示画面について説明します。

インターネット印刷画面

起動

1 **サーバの指定**

Internet Explorer を起動して、①～③いずれかの書式で URL を指定します。

書式） **① http://Windows2000 サーバのホスト名（DNS 名）/Printers**
② http://Windows2000 サーバのコンピュータ名（WINS 名）/ Printers
③ http://Windows2000 サーバの IP アドレス /Printers

①の例）http://Server/Printers

2 プリンター覧

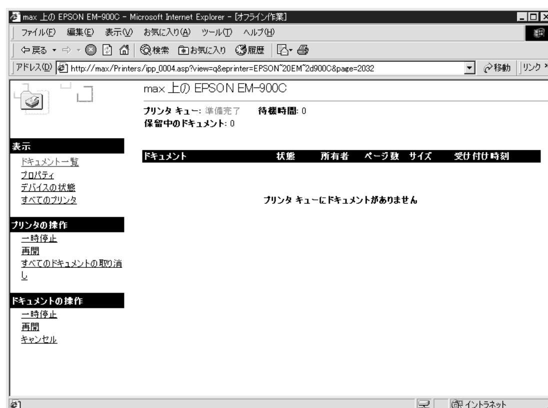
プリンタの一覧が表示されます。使用するプリンタをクリックしてください。



項目	内容
プリンタ名	共有プリンタのプリントキュー名です。
状態	プリントキューの状態です。
場所	プリンタを追加するときに指定した場所が表示されます。
ジョブ	プリントジョブの数を表示します。
モデル	プリンタモデル名です。
コメント	プリンタを追加するときに指定した、コメントが表示されます。

インターネット印刷画面

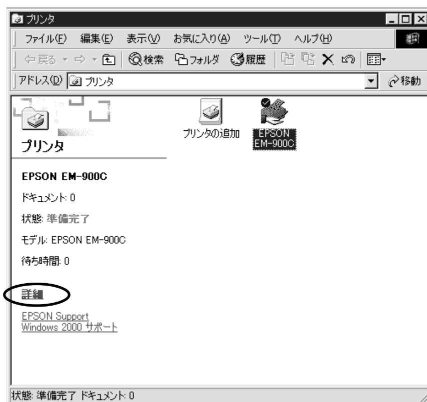
プリンタを選択すると、次の画面が表示されます。画面の左にあるメニューから、印刷の制御ができます。詳しくは、Windows2000のマニュアルおよびHELPをご覧ください。
この画面からPrinter Status Page画面を表示することもできます。メニューの[デバイスの状態]をクリックしてください。



Printer Status Page 画面

起動

Windows2000 のプリンタフォルダでプリンタを選択し、画面左の[詳細]をクリックします。



デバイスの状態

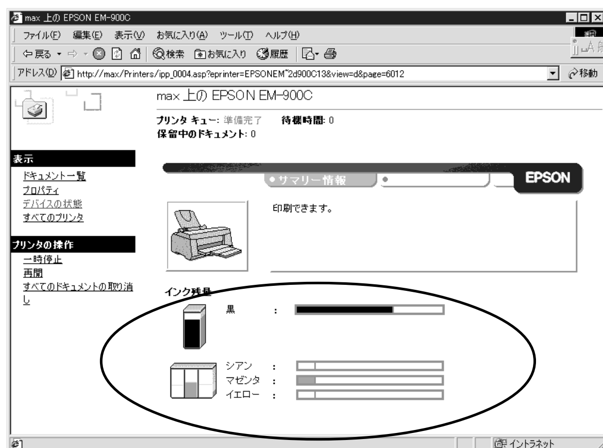
画面の上半分に、EPSON プリンタの状態を表示します。表示内容は、プリンタにより異なります。



項目	内容
プリンタイメージ	プリンタの状態とイメージ画像を表示します。プリンタにエラーが発生した場合は、エラー情報を表示します。
ステータスメッセージ	プリンタの状態をメッセージで表示します。
[サマリー情報]タブ	タブをクリックすると、プリンタの消耗品や用紙残量を表示します。
[ネットワーク情報]タブ	タブをクリックすると、プリンタまたは I/F カードのネットワーク情報を表示します。

サマリー情報

プリンタの消耗品（トナー、インク等）と用紙残量情報を表示します。実際に表示される項目は、プリンタにより異なります。



ページプリンタ	
項目	**内容**
用紙残量	
給紙装置名	トレイ、カセットなど、給紙装置の名称を表示します。
用紙サイズ	給紙装置にセットされた用紙のサイズを表示します。
残量	用紙の残量を表示します。残量が少ないときは、グラフを赤色で表示します。
トナー残量	
トナー残量	トナーの残量を表示します。カラープリンタの場合は、黒以外のトナーの残量も表示します。残量が少ないときは、色名表示の左のアイコンが点滅します。
感光体ライフ	感光体の寿命を表示します。感光体がトナーと別体の場合にのみ、表示されます。
オイルロール	オイルロールの残量をゲージで表示します。カラープリンタのみ表示します。
廃トナーボックス	廃トナーの使用量をゲージで表示します。カラープリンタのみ表示します。

インクジェットプリンタ	
項目	**内容**
給紙	現在選択されている給紙方法を表示します。
用紙残量	
給紙装置名	給紙装置の名称を表示します。
用紙サイズ	給紙装置にセットされた用紙のサイズを表示します。
用紙種類	給紙装置にセットされた用紙の種類を表示します。
用紙残量	用紙の残量を表示します。
インク残量	各色のインク残量を表示します。 インク残量が少ないときは、注意アイコンを表示します。インクエンドのときは、エラーアイコンを表示します。

ネットワーク情報

プリンタに装着されたI/Fカードまたはプリンタに標準装備のネットワークI/Fの情報を表示します。見たいタブをクリックしてください。



項目	内容
Ethernet	I/F カードおよびネットワーク I/F の情報を表示します。
TCP/IP	I/F カードおよびネットワーク I/F の TCP/IP 情報を表示します。
NetWare(R)	I/F カードおよびネットワーク I/F の NetWare 情報を表示します。
AppleTalk(R)	I/F カードおよびネットワーク I/F の AppleTalk 情報を表示します。
NetBEUI	I/F カードおよびネットワーク I/F の NetBEUI 情報を表示します。
SNMP	I/F カードおよびネットワーク I/F の SNMP 情報を表示します。

14 付録

I/F カードの初期化方法などを説明します。

I/F カードの初期化

次のような場合は、必ず I/F カードを初期化して、工場出荷時の状態に戻してください。

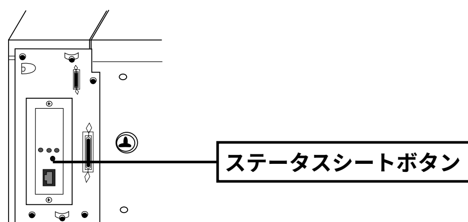
・　I/F カードの取り付け後、初めてプリンタの電源を入れるとき
・　I/F カードを違うプリンタに取り付けるとき
・　I/F カードに誤った設定をしたり、I/F カードが誤動作をして、I/F カードが設定ユーティリティに表示されなくなったとき

初期化の手順は次のとおりです。

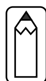
1 **I/F カードの初期化**

①I/F カードを装着したプリンタの電源が入っていないことを確認します。

②I/F カードのステータスシートボタンを押しながらプリンタの電源を入れます。ステータスシートボタンは 5 秒以上押し続けます。



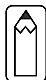
③I/F カードの緑と赤のランプが点滅し始めたら、ボタンから指を離します（初期化作業中であることを表します）。ランプの点滅が終わったら初期化は完了です。



設定ユーティリティから I/F カードを初期化することもできます。詳しくは「10 設定ユーティリティの各機能」をご覧ください。

2 **ステータスシートの印刷**

初期化完了後、ステータスシートボタンを押してステータスシートを印刷します。ステータスシートは 2 枚印刷されます。シートの内容を確認してください。



プリンタの電源を入れた直後にステータスシートボタンを押すと、I/F カードの現在の状態がステータスシートに反映されない場合があります。この場合は、しばらく待ってから、もう一度ステータスシートボタンを押してください。

困ったときは

ここでは、トラブルが発生した時の処置について、OS毎に説明します。

全OS共通

I/Fカードの設定ができない/ネットワーク印刷ができない

処置）

まず、I/Fカードのステータスシートボタンを押してステータスシートが印刷できるかどうかご確認ください。（**「2ハードウェアの準備」**参照）
ステータスシートの印刷ができない場合は、プリンタ本体の[I/Fキリカエ]が、[ジドウ]もしくは[オプション]、[I/Fコテイ]になっているか確認してください。ステータスシートの印刷が可能な場合は、ステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないかをご確認ください。

設定するIPアドレスが分からない

処置）

IPアドレスは、外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う際にはJPNIC(http://www.nic.ad.jp/index-j.html)に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者へご相談ください。
IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行なわないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918で規定されています）。

プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254
ただし、I/FカードのIPアドレスに[192.168.1.255]は使用できません。

EpsonNet WinAssistが起動できない

処置）

EpsonNet WinAssistのインストール後に、OS上でプロトコルやサービスの追加、削除を行うと、EpsonNet WinAssistが起動しなくなります。EpsonNet WinAssistを削除し、再度インストールをしてください。

EpsonNet WinAssistの起動時に「TCP/IPプロトコルが利用できません」と表示される

このメッセージは、次のような場合に表示されます。

- コンピュータにTCP/IPが組み込まれていない場合
- コンピュータのIPアドレスが正しく設定されていない場合
- DHCPサーバからアドレスを取得する設定下で、DHCPサーバがない場合

処置）

OK ボタンをクリックするとEpsonNet WinAssistが起動しますが、TCP/IPの設定はできません。お使いのコンピュータの状態を確認して、TCP/IPの組み込みとIPアドレスの設定をしてください。設定方法は**「4 TCP/IPの設定」**をご覧ください。

EpsonNet WinAssist/MacAssistで設定情報を送信すると、「設定情報の送受信が完了していません」というメッセージが表示される

ダイヤルアップルータをお使いの場合に、この現象が発生することがあります。

処置）

EpsonNet WinAssist/MacAssistがインストールされているコンピュータで[MS-DOSプロンプト]を起動し、次のコマンドを実行してください。

書式） **>ROUTE_ADD_I/Fカードの IP アドレス _ 設定するコンピュータの IP アドレス（_ は半角スペース）**

例） **>ROUTE_ADD_192.168.192.168_11.22.33.44**

EpsonNet WebAssistが起動できない

処置）

EpsonNet WebAssistを実行するには、まずEpsonNet WinAssist/MacAssistかpingコマンドを使用して、I/FカードのIPアドレスを設定する必要があります(**「4 TCP/IPの設定」**参照)。現在の設定は、ステータスシートの[IP Address]欄で確認できます。

EpsonNet WebAssistで英語が表示される

処置）

[Home Page Update]で、EpsonNet WebAssistをアップデートする必要があります。アップデートの方法は、**「ホームページの更新」（161ページ）**をご覧ください。

ARP/PING コマンドで I/F カードの IP アドレスを設定できない

処置 1)

EpsonNet WinAssist（34 ページ）/WebAssist（152 ページ）の[TCP/IP]設定画面で、[PING による設定]を有効に設定してください。

処置 2)

ping コマンドを実行後、「Reply from (IP address): ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PING コマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

EpsonNet WinAssist の[モデル名]に何も表示されず、[IP アドレス]に[NONE]と表示される

処置 1)

I/F カードの IP アドレスが初期値の場合、[モデル名]と[IP アドレス]が表示されない場合がありますが、I/F カードの設定は行えます。I/F カードの設定を行うと、正しく表示されるようになります。

処置 2)

EpsonNet WinAssist[表示]メニューの[最新の状態に更新]を実行してください。

処置 3)

EpsonNet WinAssist[ツール]メニューの[タイムアウト設定]で、タイムアウト時間を大きい値に設定してください。この場合、EpsonNet WinAssist の動作が遅くなります。ご注意ください。

IP アドレスの変更を行っていないのに IP アドレスが変わってしまう

処置)

EpsonNet WinAssist または WebAssist で次のように設定してください。

EpsonNet WinAssist の場合は、[TCP/IP]画面で、[IP アドレスの取得方法]を[手動]にし、[PING による設定]のチェックを外します。
EpsonNet WebAssist の場合は、[TCP/IP]画面で、[IP アドレスの取得方法]を[Manual]にし、[PING による設定]を[OFF]に設定します。

NetWare サーバ経由の印刷で、クライアントでは印刷が終了するが、プリンタから出力されない

処置）

サーバでキュー / プリントサーバのユーザに、印刷を行なおうとしているユーザが登録されているか確認してください。また、NetWare サーバに I/F カードがログインしているかどうか確認してください。

Windows95 で NetWare の NDS プリントサーバまたはリモートプリンタモードを使用したとき正しく印刷できない

次の環境を使ったとき、正常に印刷できないことがあります。

- Windows95(バージョン OSR2.1(USB 対応))で NDS キューへ印刷する場合
- プリンタ:LP-1700S/9200S/9200SX/8300/8400、MJ-930C/3000C/6000C(ドライバのバージョンが 2.x 以前の場合)

処置）

次の手順に従ってください。

① 設定するプリンタのプロパティを開きます。

② [詳細]画面の[プリンタポートの割り当て]ボタンをクリックします。

③ デバイス名を[LPT ポート]、パス名を[\\ サーバ名 \ プリントキュー名]に設定し、OK ボタンをクリックします。



EpsonNet WinAssist/WebAssist が正しく起動しない

処置）

Microsoft の Service for NetWare Directory Service がインストールされているマシンでは、EpsonNet WinAssist/WebAssist が正常に起動しない場合があります。
NDS サービスをご利用の場合は Novell クライアントサービスをインストールしてください。

EpsonNet WinAssist のリスト画面で、IPX グループにプリンタが表示されない

処置）

次の項目を確認してください。

- プリンタの電源がオンになっているか
- I/F カードが、EpsonNet WinAssist を使用しているコンピュータと同一セグメントにあるか（同一セグメントにない場合は、ツールメニューの探索オプションで設定してください）
- NetWare サーバの IPX にバインドしている Ethernet フレームタイプと I/F カードに設定してあるフレームタイプが同じになっているか

EpsonNet WinAssist の起動に時間がかかる

コンピュータに Novell クライアントサービスなどをインストールしている場合や、Microsoft 社製 NetWare クライアントをインストールしている場合、ダイヤルアップネットワークに IPX を使用するため、EpsonNet WinAssist の動作が遅くなる場合があります。これらが必要でない場合は、使用しない設定にしてください。

処置）

① [マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]で、IPX/SPX 互換プロトコルを使用しないネットワークアダプタを選択して、[プロパティ]を起動します。

② [バインド]タブを選択して、使用しない IPX/SPX 互換プロトコルや、Novell NetWare クライアント用プロトコルのチェックを外します。

付録

セレクタにプリンタが表示されない

処置）

次のことを確認してください。

- Open Transport搭載機種の場合：
  コントロールパネルの[AppleTalk]で[Ethernet]が選択されているか
- Open Transport非搭載機種の場合：
  コントロールパネルの[ネットワーク]で[EtherTalk]が選択されているか

セレクタでAppleTalkが[使用]になっているか、HUB、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせてご確認ください。

同梱のEPSON Print!2について

処置）

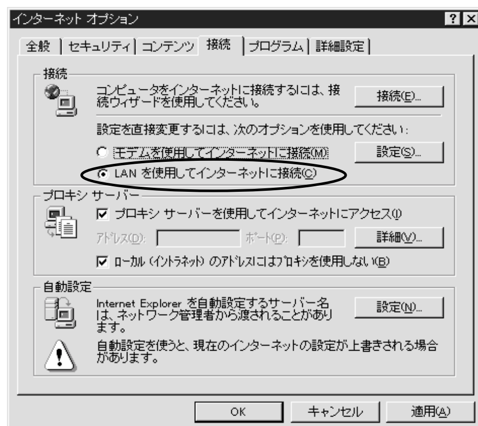
本製品に同梱されているEPSON Print!2は、Macintosh用プリンタドライバが同梱されていないプリンタをお使いになるためのものです。
EPSON Print!2のAT-24ESC/Pのみサポートしております。当社VPシリーズプリンタでお使いになる場合に使用してください。
それ以外の機種では、プリンタ同梱のプリンタドライバをご使用ください。

Windows95/98 環境

Windows から EpsonNet Direct Print を使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置)

インターネットの設定で[起動時にダイヤルアップでインターネットに接続]（インターネットエクスプローラ 4.0x の場合は[モデムを使用してインターネットに接続]）が設定されていると、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、この設定を変更しないと Windows 起動後の最初の印刷時には、毎回メッセージが表示されます。
この設定を変更後、インターネットに接続する場合は、再度[インターネットオプション]で[LAN を使用してインターネットに接続]を選択するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。



Windows95/98 からネットワーク接続された MJ 系プリンタに印刷する時、「ファイルが開けません」と表示され印刷できない

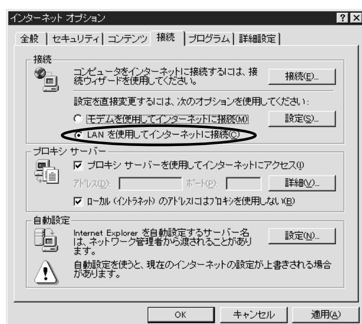
処置)

EPSON スプールマネージャ(EPSPMGRx.EXE)のキューセットアップダイアログで[ローカルプリンタへスプール]を選択し、[プリントマネージャを使用する]にチェックを入れてください。

WindowsからEpsonNet Direct Printを使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）

インターネットの設定で[起動時にダイヤルアップでインターネットに接続]（インターネットエクスプローラ4.0xの場合は[モデムを使用してインターネットに接続]）が設定されていると、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、この設定を変更しないとWindows起動後の最初の印刷時には、毎回メッセージが表示されます。
この設定を変更後、インターネットに接続する場合は、再度[インターネットオプション]で[LANを使用してインターネットに接続]を選択するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。



NTFSを使用しているWindowsNT Server3.51経由で、クライアントからTCP/IP印刷ができない

処置）

WindowsNTServerの\\WINNT35\SYSTEM32\SPOOL\PRINTERSのディレクトリで、アクセス権の設定変更が必要です。詳しくは**「LPR Portでの接続（WindowsNT3.51）」（50ページ）**をご覧ください。

WindowsNT Server3.51/4.0経由で、管理者以外のクライアントから印刷できない

処置）

ファイルサーバ上でプリンタのアクセス権リストから[Creater Owner]が削除されている場合、もしくは[Creater Owner]の権利が[印刷]か[アクセス権なし]に設定されている場合にこの現象となります。正しく印刷するには、[Creater Owner]の権利を[文書 / ドキュメントの管理]に設定する必要があります。初期設定は[文書 / ドキュメントの管理]です。

用語集

A

AppleTalk

すべてのMacintoshに標準で付属する、LANシステムの規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Macintoshの標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP

Address Resolution Protocol。TCP/IPプロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストのIPアドレスからMACアドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持しているIPアドレスとMACアドレスの対応法を変更する場合にも使う。

D

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータのIPアドレスやデフォルト・ゲートウェイなどのTCP/IP関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いているIPアドレスを自動的に割り当てる。

DNS

Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、そのIPアドレスとの対応付けを行う仕組み。IPアドレスは4桁の8ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名からIPアドレスへの変換を行う。変換を行うサーバをDNSサーバという。

E

EtherTalk

Macintosh 用の LAN を実現するためのシステムの一つ。Ethernet のケーブルを使って運用する AppleTalk ネットワークのこと。Ethernet インターフェイスを接続し、コントロールパネルで EtherTalk を選択すればよい。

H

HUB

ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

I

IPP

Internet Printing Protocol。IPP を使うことにより、インターネットを経由しての印刷が可能となる。

IPX

Internetwork Packet Exchange。Novell 社の NetWare のプロトコル。

IP アドレス

IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号(アドレス)のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR

Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB

Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP(Simple Network Management Protocol)マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト(管理対象)を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB をもつ。

N

NDPS

Novell Distributed Print Services。米 Novell 社の NetWare が提供する分散プリント機能。NDPS によりプリンタ管理に要するコストの削減や、ネットワークを利用するユーザや管理者の生産性を引き上げることができる。

NDS

Novell Directory Services。米 Novell 社の NetWare4.0 以降に搭載されているディレクトリ・サービス機能。ユーザやサーバ、プリンタなどの共有資源を一元管理できる。各資源はツリー状のネットワーク構造で論理的に配置することができる。
一度 NetWare にログインすれば、それ以降はそれぞれの NetWare サーバにログインすることなく、ネットワーク全体のサーバやプリンタなどが使えるようになる。

NetBEUI

通信プロトコルの１つ。ネットワーク・アドレスの設定が不要だが、ルータを越えての使用はできない。

NetBIOS

パソコン・ネットワーク用の通信プロトコルと API の規約。

NetWare

米Novellが開発したパソコンLAN用ネットワークOS。IPX/SPXと呼ぶ独自プロトコルを使用する。

NWADMIN

NetWare 4.xのファイルシステム管理ツール。ネットワーク管理者はツリー内のすべてのオブジェクトを管理できる。オブジェクトの作成、オブジェクトのプロパティの変更、コンテキスト上から別の場所へのコンテキストの移動が行える。また、ファイルシステム、ディレクトリサービスのトラスティ、ツリーにあるすべてのオブジェクトの有効な権利を確認できる。

P

PCONSOLE

NetWare3.xのプリントサービス設定、管理ツール。

PING

TCP/IPが実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対してpingコマンドを実行し、正常にTCP/IPが実装されているか確認する。

S

SNMP

Simple Network Management Protocol。 TCP/IPネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、HUB、ルーターなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などと言われる。

T

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

エ

エンティティタイプ

オブジェクトのタイプ。これにより、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

ケ

ゲートウェイ

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内LANとインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内LANからはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。

コ

コンテキスト

NetWareのNDSで、ディレクトリツリー内の各オブジェクトの配置を示すもの。会社名、組織名、部門名などの要素から構成される。

サ

サブネットマスク

TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット(255.255.255.0)が標準で使用される。

ソ

ゾーン名

AppleTalk で設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

ツ

ツイストペアケーブル

10BASE-T 規格のケーブル。2 本のケーブルを対にしたものが寄り合わさっている。Ethernet の 10Base-T や電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。

ネ

ネットワーククラス

IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられる。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

ハ

バインダリ

NetWare3.xで、ユーザ、グループ、ワークグループなどの構成要素を定義しているデータベース。NetWare4.x以降は、バインダリの代わりにNDSを使用。

フ

フレームタイプ

ネットワーク上の通信（Workstation←packet→Client)で、パケットに定義されているもの。サーバがサポートするフレームタイプにあわせて、設定する。

プロキシサーバ

インターネットと接続する際に、セキュリティを確保するために設置されるサーバ。

ホ

ポート番号

TCPやUDPが備える機能で、複数アプリケーションを同一コンピュータまたはサーバ上で扱うための仕組み。サーバやパソコンは、インターネットから受信したパケットを、ポート番号によって引き渡すアプリケーションを特定する。

ポーリング

NetWareの、プリンタ環境設定オプションの1つ。ポートドライバ(NPRINTER)が定期的にデータポートを確認（ポーリング）し、データポートがプリンタにデータを転送する準備ができているかを調べる。

索引

記号

A

C

E

I

L

M

N

P

S

T

W

イ

エ

オ

カ

キ

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

ロ

ワ